

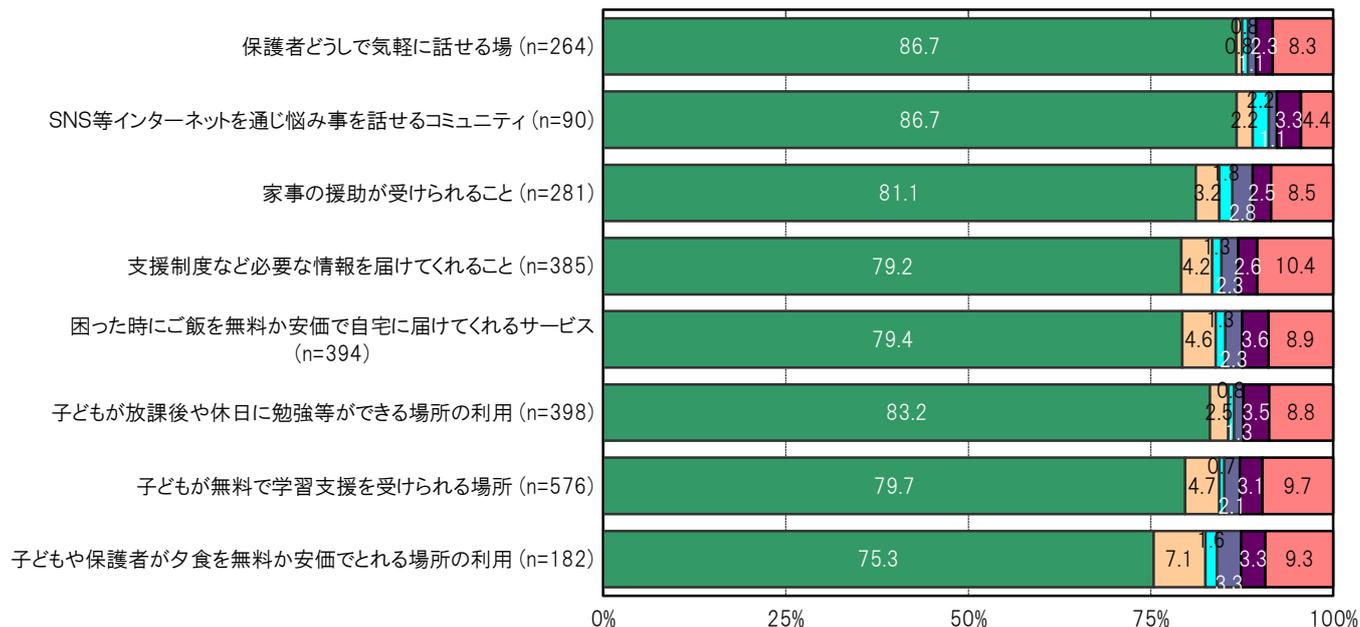
A-201.身近にあると良いと思うもの別にみた支援制度を利用しない理由／ひとり親家庭等就業・自立支援センター〔保護者 問24e〕

大阪市鶴見区の身近にあると良いと思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「制度の対象外」79.4%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」4.6%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.3%、「利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから」2.3%、「それ以外の理由」3.6%となっている。

大阪市鶴見区の身近にあると良いと思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「制度の対象外」79.7%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」4.7%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」0.7%、「利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから」2.1%、「それ以外の理由」3.1%となっている。

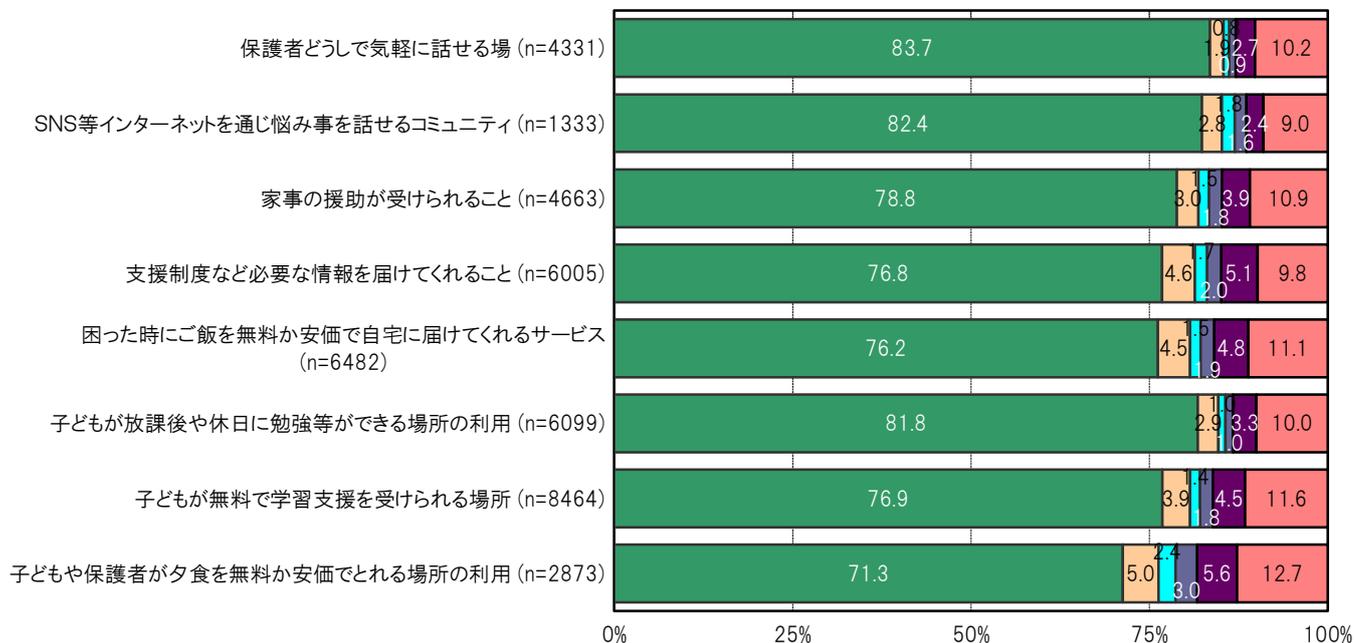
〔大阪市鶴見区／身近にあると良いと思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



〔大阪市24区／身近にあると良いと思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



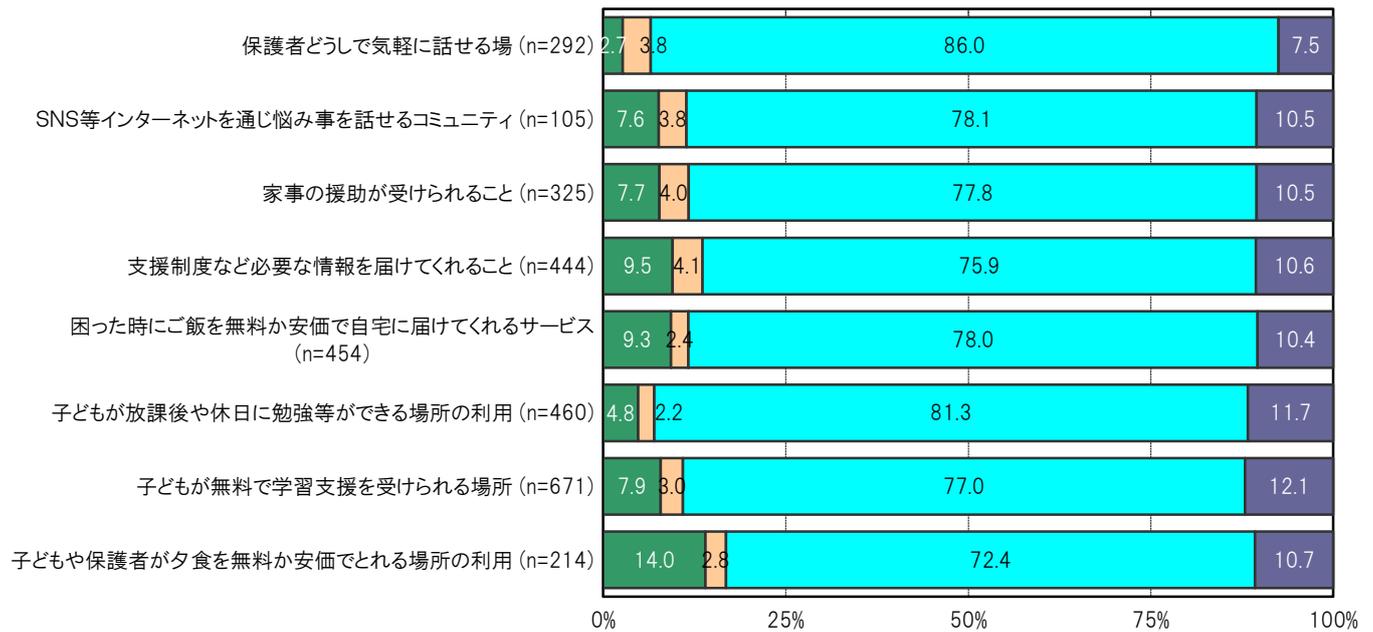
**A-202.身近にあると思うもの別にみた支援制度の利用状況／
低所得世帯への世帯生活支援特別給付金〔保護者 問24f〕**

大阪市鶴見区の身近にあると思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「現在利用している」9.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」2.4%、「利用したことがない」78.0%、となっている。

大阪市鶴見区の身近にあると思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「現在利用している」7.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」3.0%、「利用したことがない」77.0%、となっている。

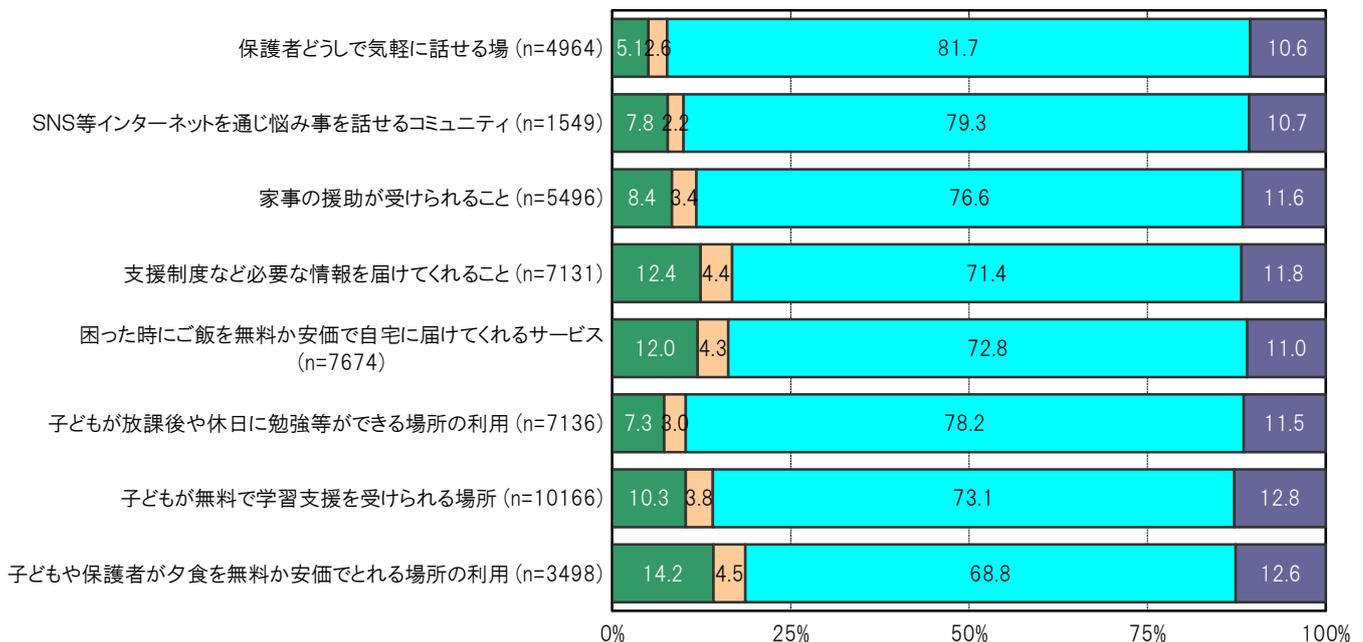
〔大阪市鶴見区／身近にあると思うもの別〕

■現在利用している ■現在利用していないが、以前利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



〔大阪市24区／身近にあると思うもの別〕

■現在利用している ■現在利用していないが、以前利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



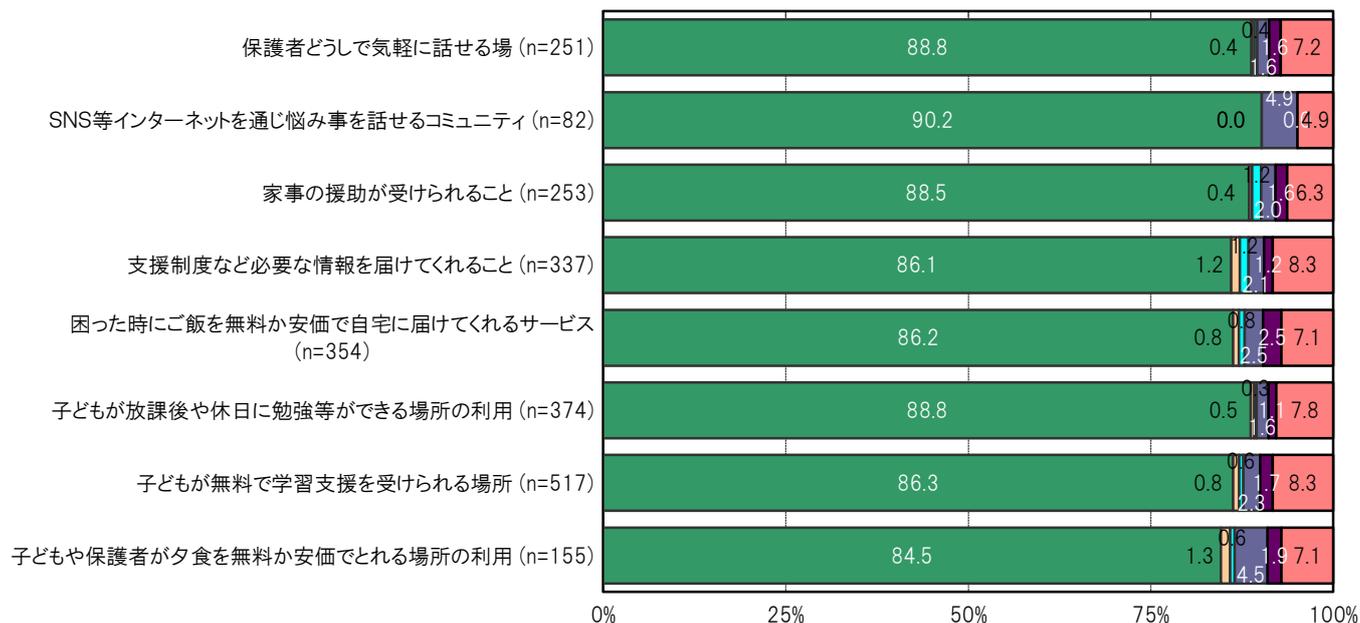
**A-203.身近にあると思うもの別にみた支援制度を利用しない理由／
低所得世帯への世帯生活支援特別給付金〔保護者 問24f〕**

大阪市鶴見区の身近にあると思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「制度の対象外」86.2%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」0.8%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」0.8%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」2.5%、「それ以外の理由」2.5%となっている。

大阪市鶴見区の身近にあると思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「制度の対象外」86.3%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」0.8%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」0.6%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」2.3%、「それ以外の理由」1.7%となっている。

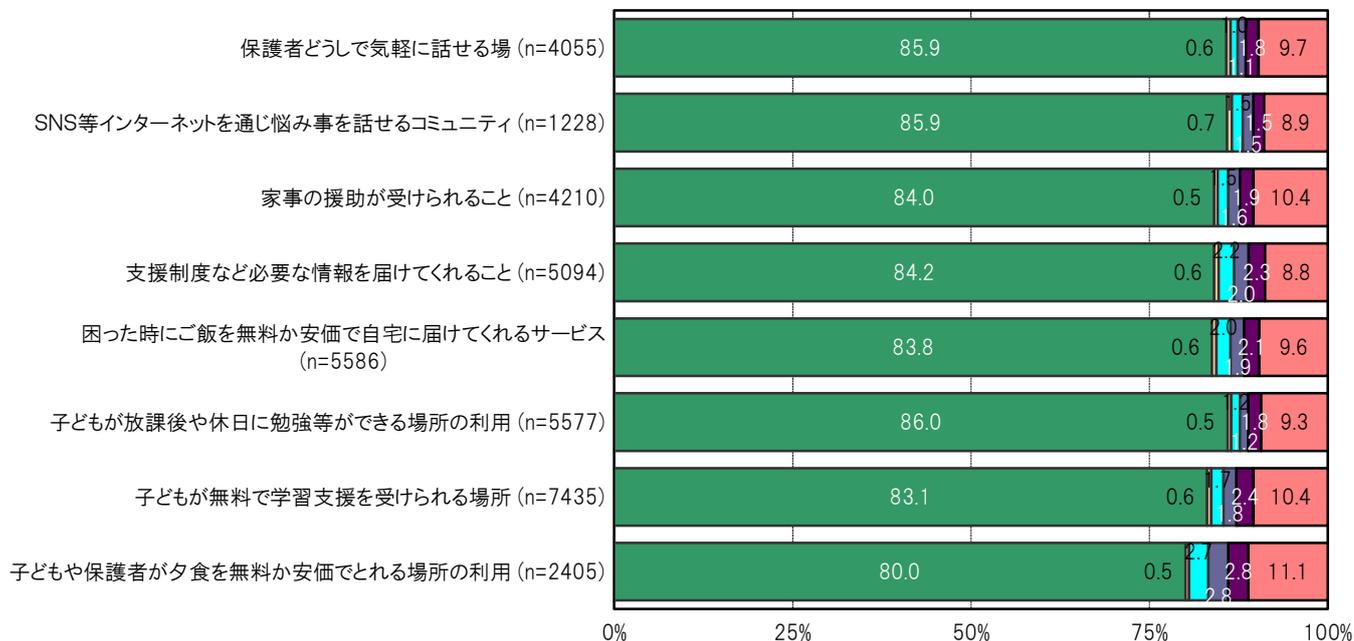
〔大阪市鶴見区／身近にあると思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



〔大阪市24区／身近にあると思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



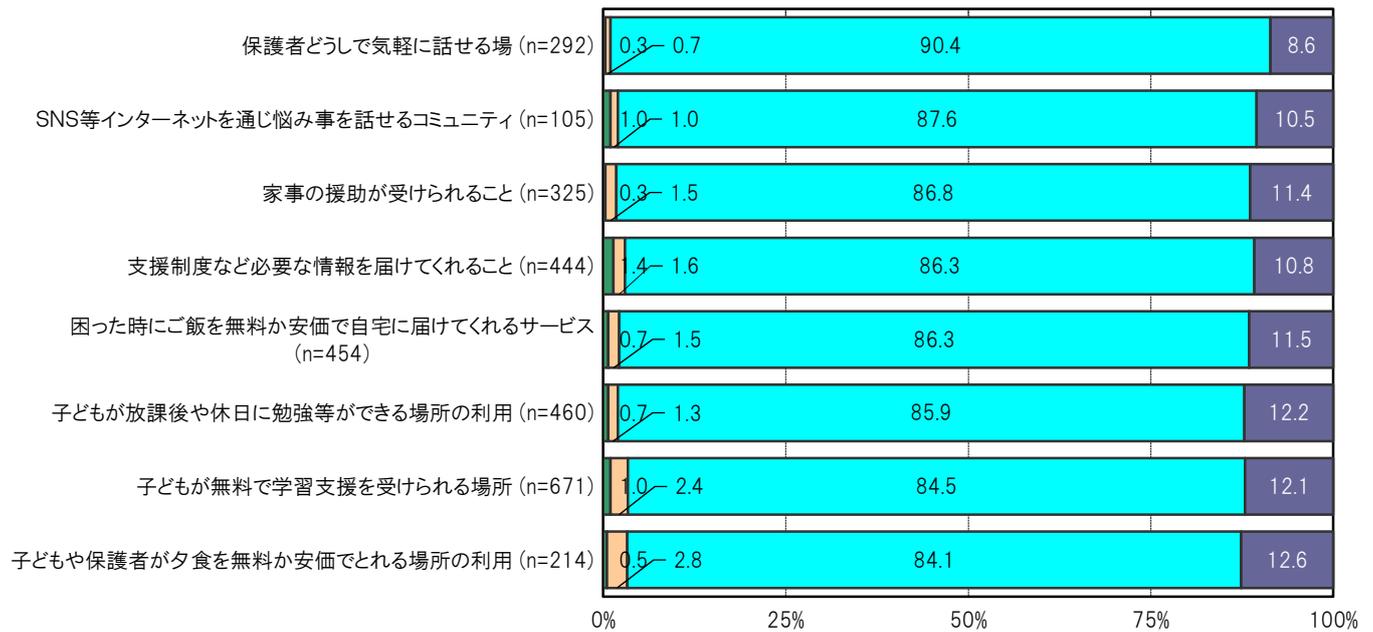
**A-204.身近にあると思うもの別にみた支援制度の利用状況／
新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金【保護者 問24g】**

大阪市鶴見区の身近にあると思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「現在利用している」0.7%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」1.5%、「利用したことがない」86.3%、となっている。

大阪市鶴見区の身近にあると思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「現在利用している」1.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」2.4%、「利用したことがない」84.5%、となっている。

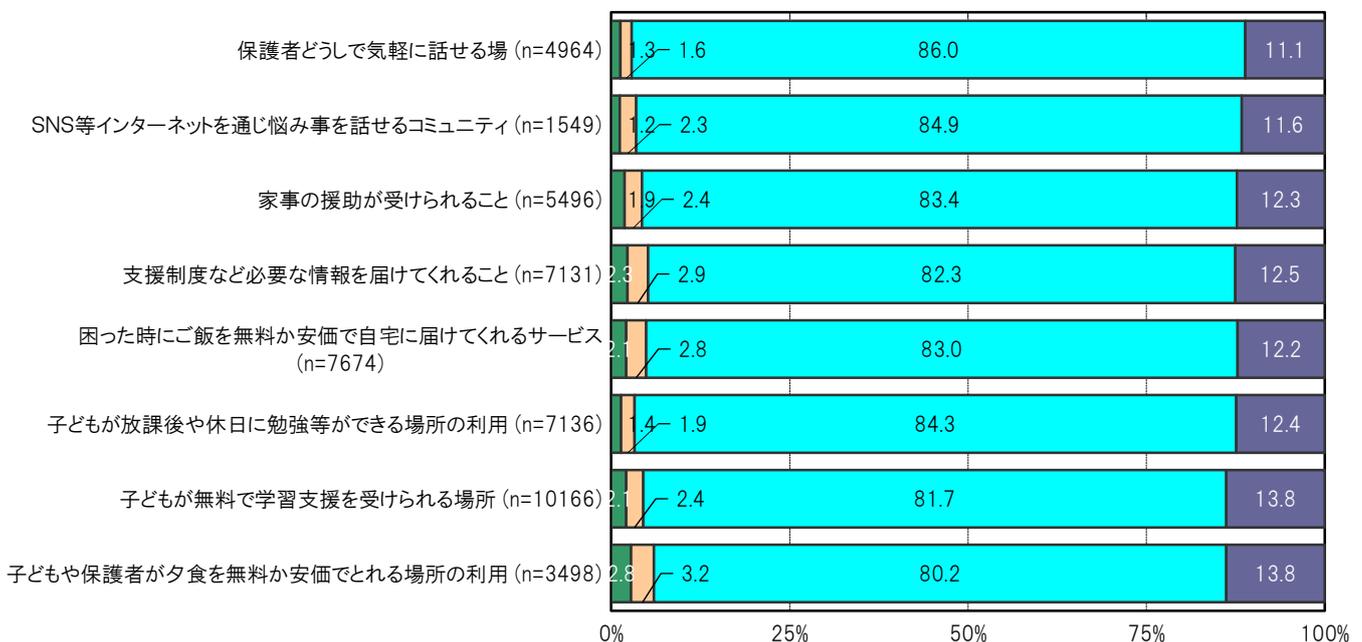
〔大阪市鶴見区／身近にあると思うもの別〕

■現在利用している ■現在利用していないが、以前利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



〔大阪市24区／身近にあると思うもの別〕

■現在利用している ■現在利用していないが、以前利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



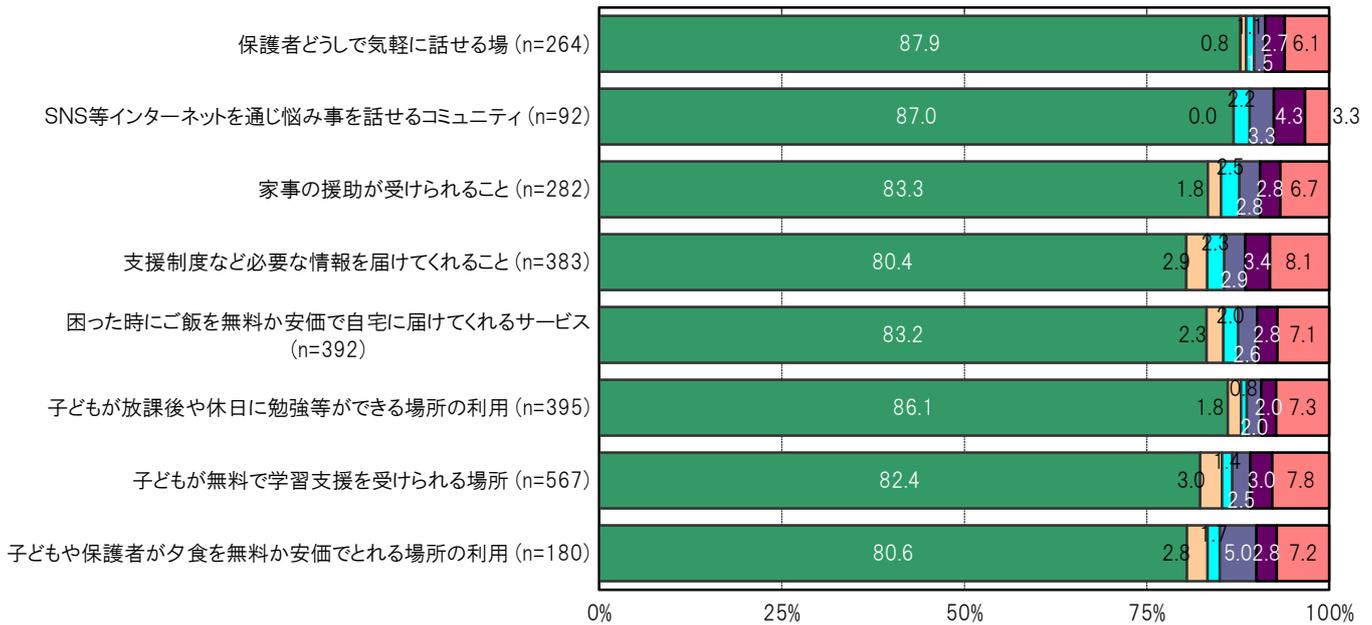
**A-205.身近にあると良いと思うもの別にみた支援制度を利用しない理由／
新型コロナウイルスに伴う生活福祉資金【保護者 問24g】**

大阪市鶴見区の身近にあると良いと思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「制度の対象外」83.2%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」2.3%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」2.0%、「利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから」2.6%、「それ以外の理由」2.8%となっている。

大阪市鶴見区の身近にあると良いと思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「制度の対象外」82.4%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」3.0%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.4%、「利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから」2.5%、「それ以外の理由」3.0%となっている。

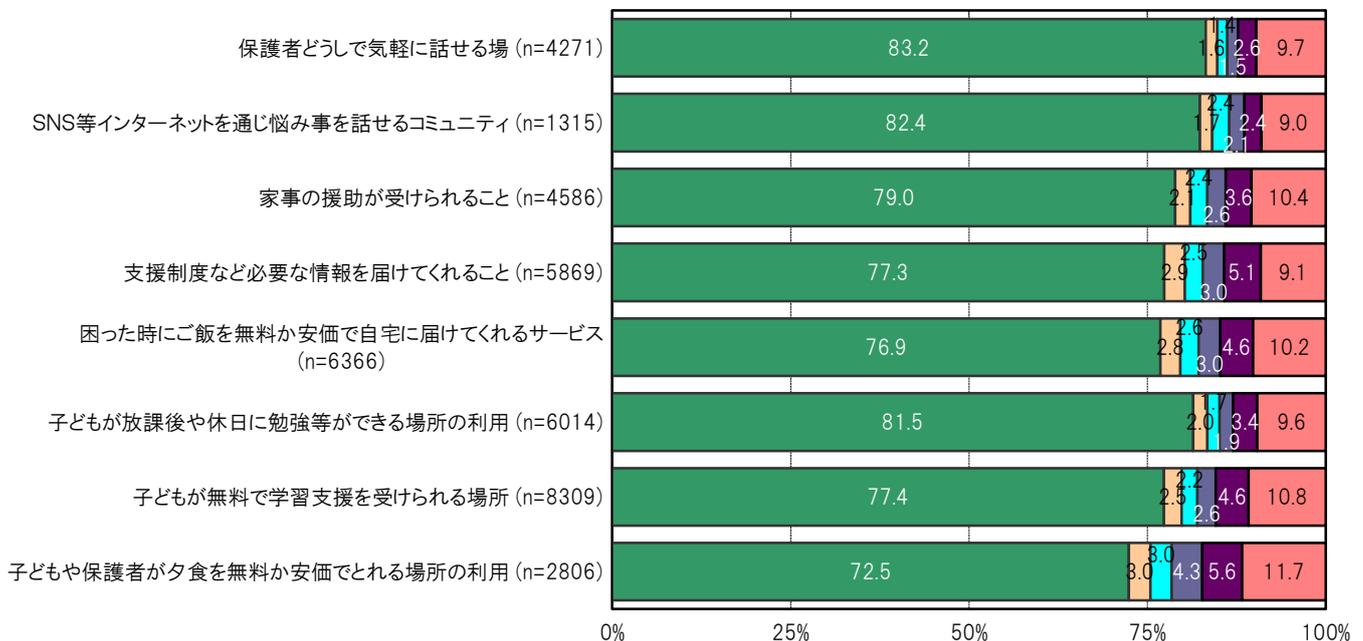
〔大阪市鶴見区／身近にあると良いと思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



〔大阪市24区／身近にあると良いと思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



〔家庭状況(制度等)に関する考察〕

就学援助の利用状況については、全体で、「現在利用している」が12.4%となっている。困窮度Ⅰでは、56.9%、困窮度Ⅱでは、30.4%を占めている。次にひとり親世帯を対象とする児童扶養手当の利用状況は、全体で59.8%、困窮度Ⅰで81.7%、困窮度Ⅱで66.7%となっている。生活保護制度の利用状況は、全体で1.2%と低水準にとどまっている。困窮度Ⅰでは、3.1%、困窮度Ⅱでは1.8%となっている。今回調査の回答者から一定層の貧困層が漏れ落ちている可能性についても留意しておく必要があるが、社会保障制度の捕捉率を上げるためにも、就学援助や生活保護制度については、入学前も含めあらゆる機会を通じて周知を行うなどの施策が求められる。支援ニーズを把握した段階で、担当部署につないでいくなどの伴走型の支援体制が必要である。

ひとり親世帯について、特に母子世帯に着目すると、養育費の「取り決めをしており、受け取っている」世帯は、全体で37.0%にとどまっている。「取り決めをしておらず、受け取っていない」と回答した割合は、困窮度Ⅰで50.0%、困窮度Ⅱで40.0%となっており、経済状況が悪化している可能性がある。離婚で生活が激変し対応に追われるなかで、身体的・心理的負担が重なり、養育費の取り決めについての優先順位が下がってくる可能性がある。社会的孤立に陥らないよう、母親の状態を配慮しながら、相談支援窓口につなげていく支援体制が求められる。

初めて親となった年齢と最終学歴について、「10代」の母親で、中学校卒業が16.7%、高等学校中途退学が36.7%、「10代」の父親で、中学校卒業が12.5%、高等学校中途退学が31.3%と、他の年齢階層に比べて高くなっている。特に、初めて親となった年齢が「10代」の母親に着目すると、「自分の体や気持ちについて気になること」で、「不安な気持ちになる」が50.0%、「ねむれない」と「やる気が起きない」が35.3%と、他の年齢階層に比べて高くなっている。妊娠・出産しても、学修継続や学び直しの機会が確保できる支援体制の整備や、母親が安定した気持ちで子育てができるための社会資源の充実が求められている。

住宅形態別に家計の状況を見ると、「府営・市営の住宅」において「赤字である」と回答した者の割合が47.7%と半数弱を占める。同様に、府営・市営の住宅については、「子どもの将来のための貯蓄状況」についても「貯蓄をしたいが、できていない」が73.8%と経済的余裕のなさが示されている。家賃負担が生活費を圧迫しないよう、家賃補助制度や子育て世帯を対象とした住居提供など生活支援の施策が求められる。

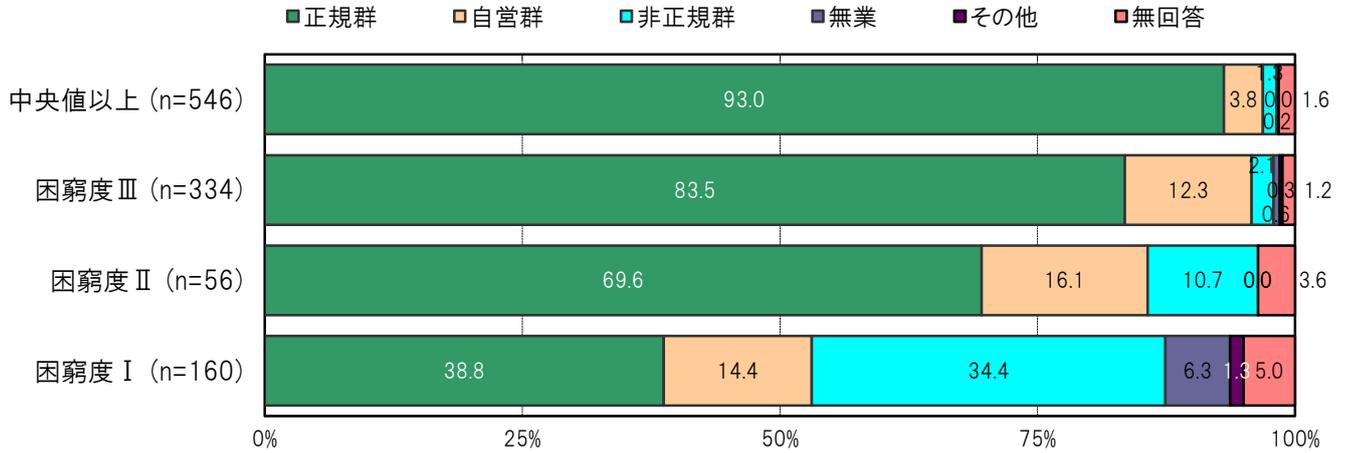
3-3.雇用

A-206.困窮度別にみた就労状況【保護者 就労状況】

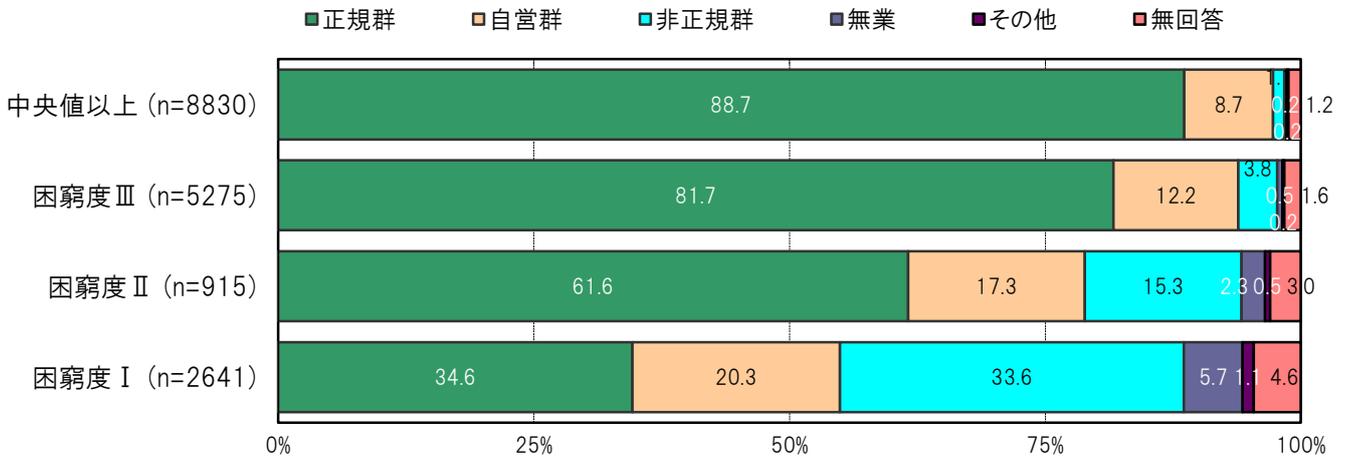
大阪市鶴見区の困窮度Ⅰ群においては、「正規群」38.8%、「自営群」14.4%、「非正規群」34.4%、「無業」6.3%、「その他」1.3%となっている。

大阪市鶴見区の中央値以上群においては、「正規群」93.0%、「自営群」3.8%、「非正規群」0.0%、「無業」0.2%、「その他」0.0%となっている。

〔大阪市鶴見区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

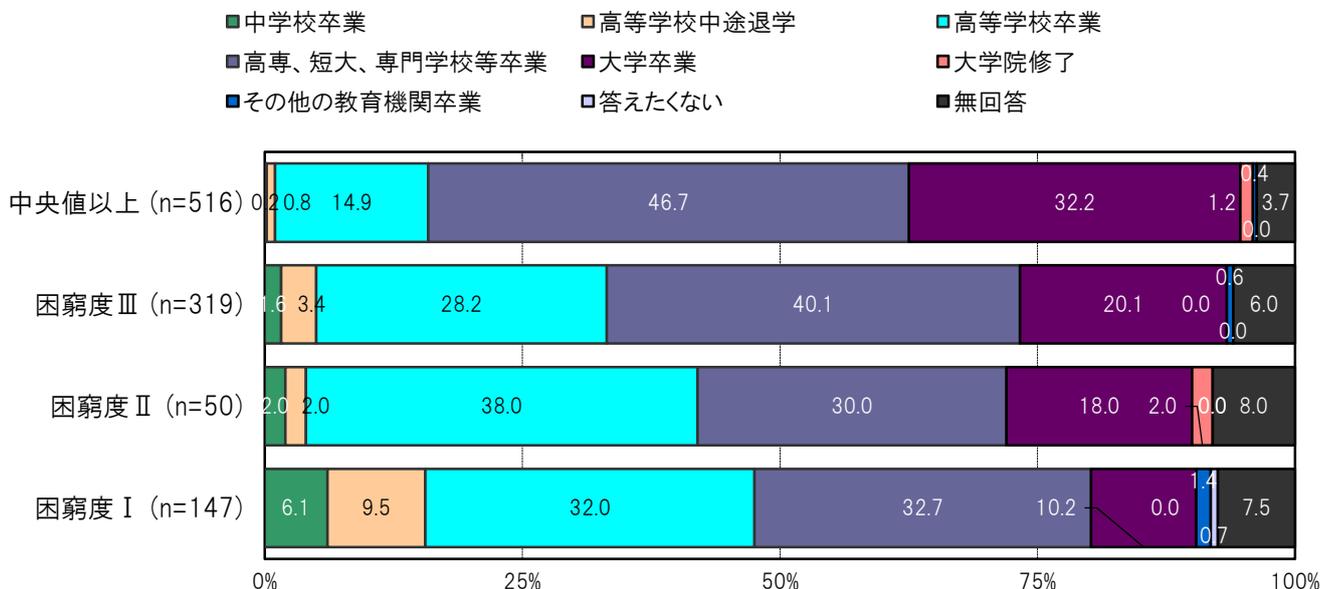


A-207. 困窮度別にみた母親の最終学歴【保護者 問9】

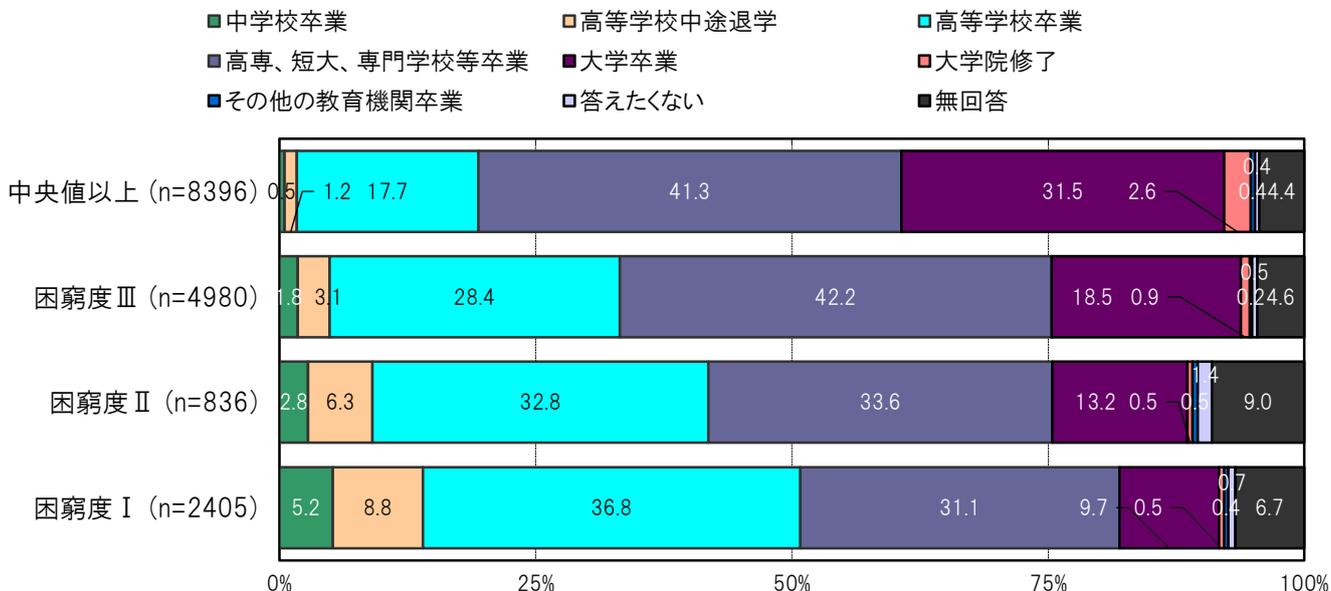
大阪市鶴見区の困窮度Ⅰ群においては、「中学校卒業」6.1%、「高等学校中途退学」9.5%、「高等学校卒業」32.0%、「高専、短大、専門学校等卒業」32.7%、「大学卒業」10.2%、「大学院修了」0.0%、「その他の教育機関卒業」1.4%、「答えたくない」0.7%となっている。

大阪市鶴見区の中央値以上群においては、「中学校卒業」0.2%、「高等学校中途退学」0.8%、「高等学校卒業」14.9%、「高専、短大、専門学校等卒業」46.7%、「大学卒業」32.2%、「大学院修了」1.2%、「その他の教育機関卒業」0.4%、「答えたくない」0.0%となっている。

〔大阪市鶴見区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

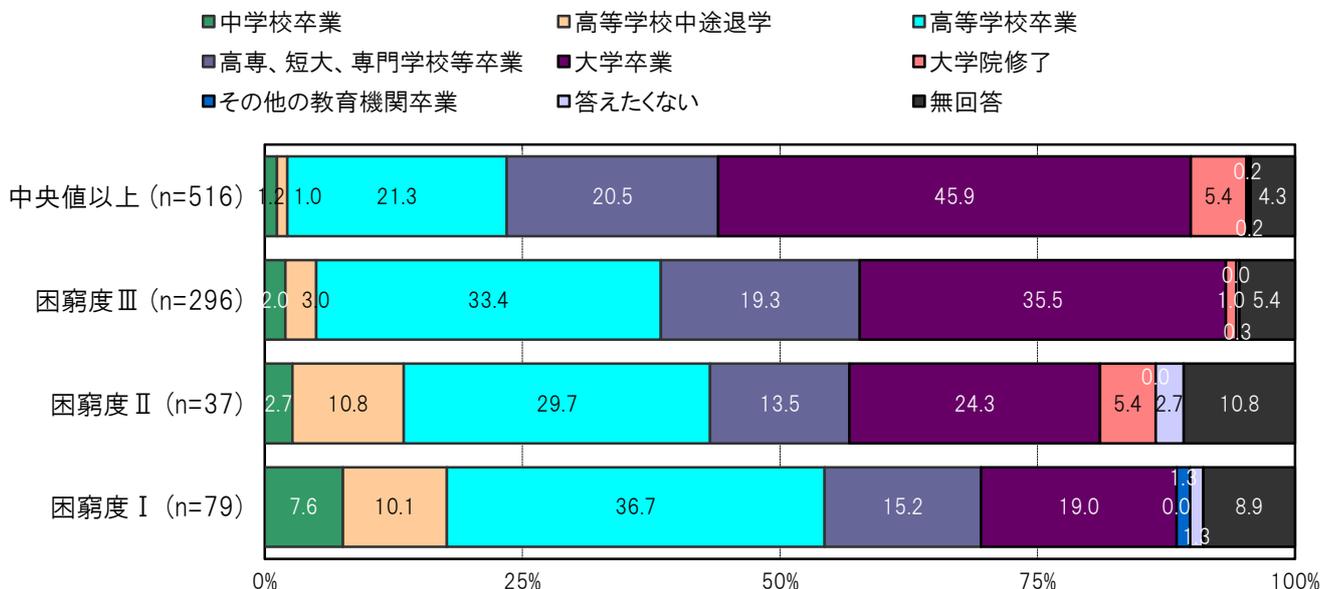


A-208. 困窮度別にみた父親の最終学歴【保護者 問9】

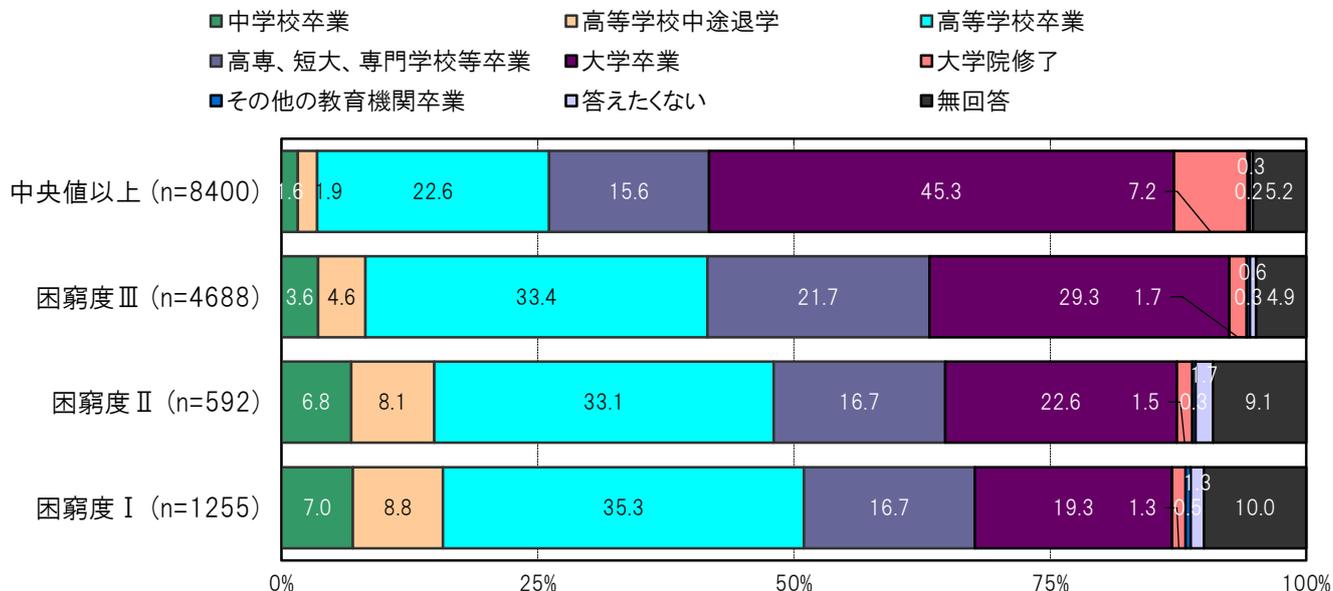
大阪市鶴見区の困窮度Ⅰ群においては、「中学校卒業」7.6%、「高等学校中途退学」10.1%、「高等学校卒業」36.7%、「高専、短大、専門学校等卒業」15.2%、「大学卒業」19.0%、「大学院修了」0.0%、「その他の教育機関卒業」1.3%、「答えたくない」1.3%となっている。

大阪市鶴見区の中央値以上群においては、「中学校卒業」1.2%、「高等学校中途退学」1.0%、「高等学校卒業」21.3%、「高専、短大、専門学校等卒業」20.5%、「大学卒業」45.9%、「大学院修了」5.4%、「答えたくない」4.3%となっている。

〔大阪市鶴見区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

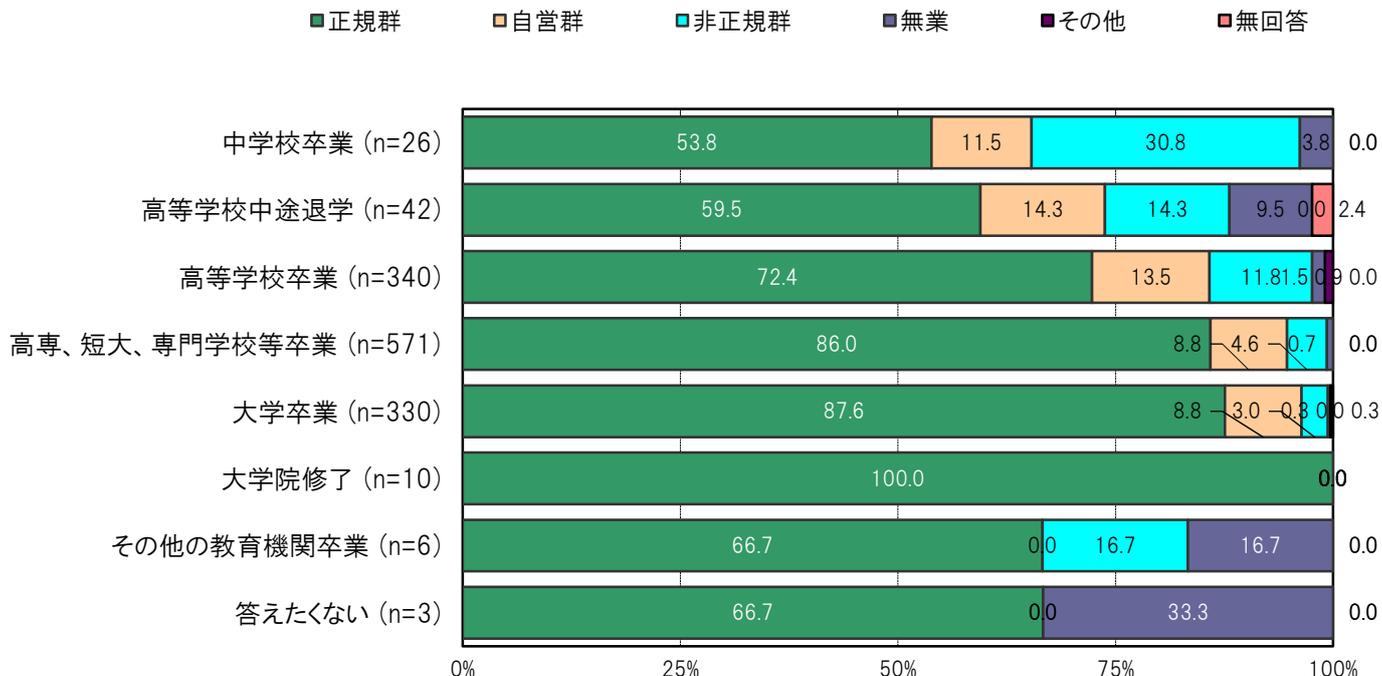


A-209.母親の最終学歴別にみた就労状況〔保護者 就労状況〕

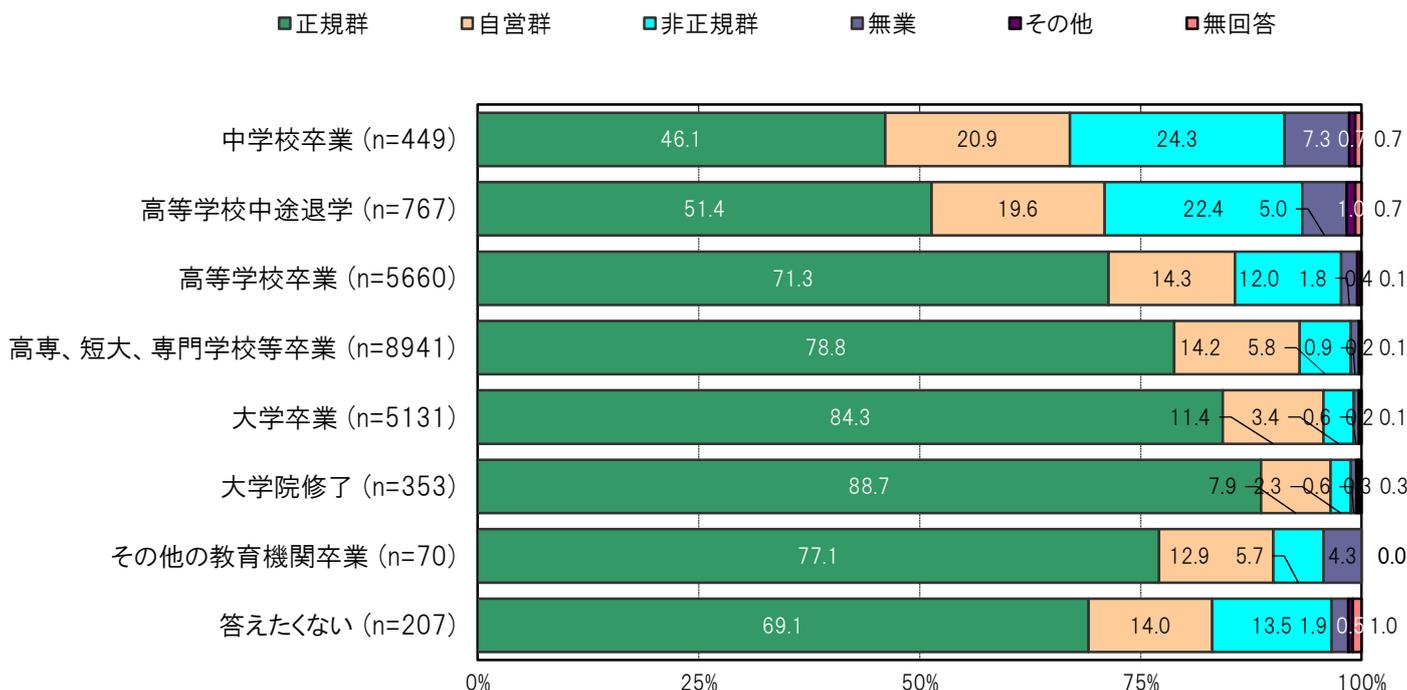
大阪市鶴見区の母親の最終学歴／高専、短大、専門学校等卒業群においては、「正規群」86.0%、「自営群」8.8%、「非正規群」4.6%、「無業」0.7%、「その他」0.0%となっている。

大阪市鶴見区の母親の最終学歴／大学卒業群においては、「正規群」87.6%、「自営群」8.8%、「非正規群」3.0%、「無業」0.3%、「その他」0.0%となっている。

〔大阪市鶴見区／母親の最終学歴別〕



〔大阪市24区／母親の最終学歴別〕

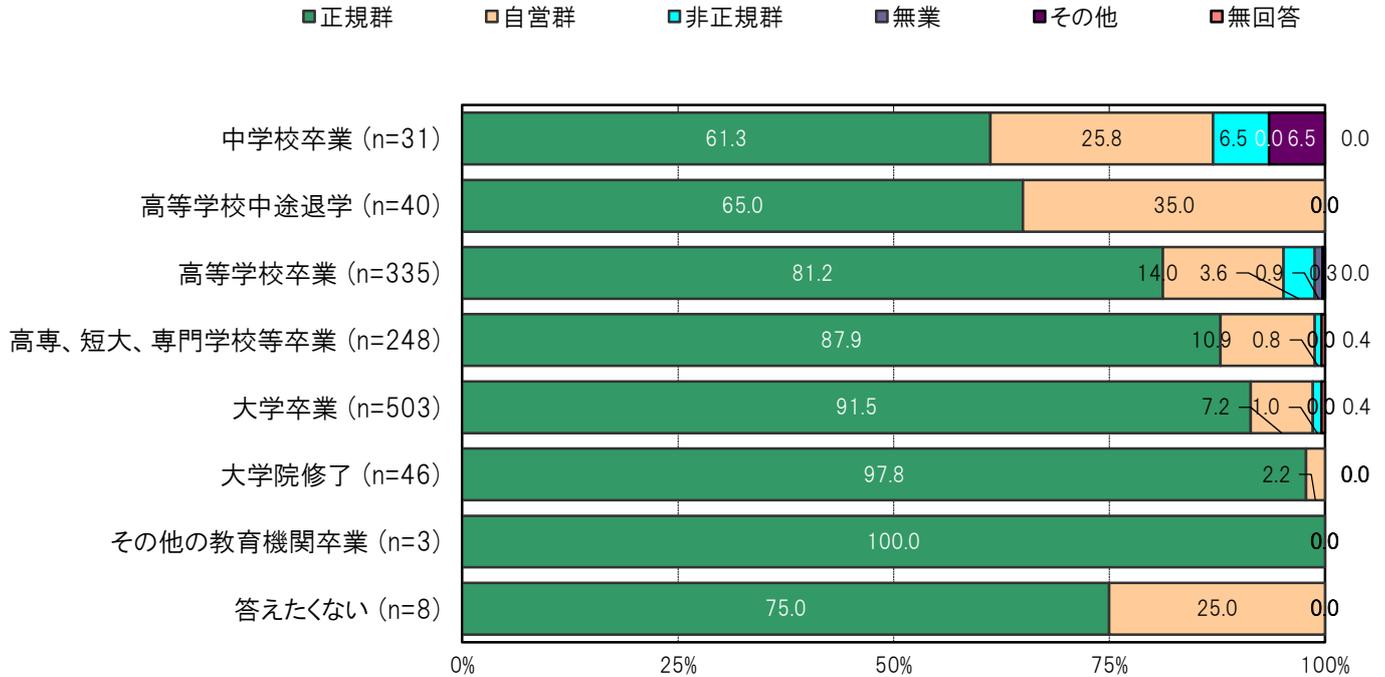


A-210.父親の最終学歴別にみた就労状況〔保護者 就労状況〕

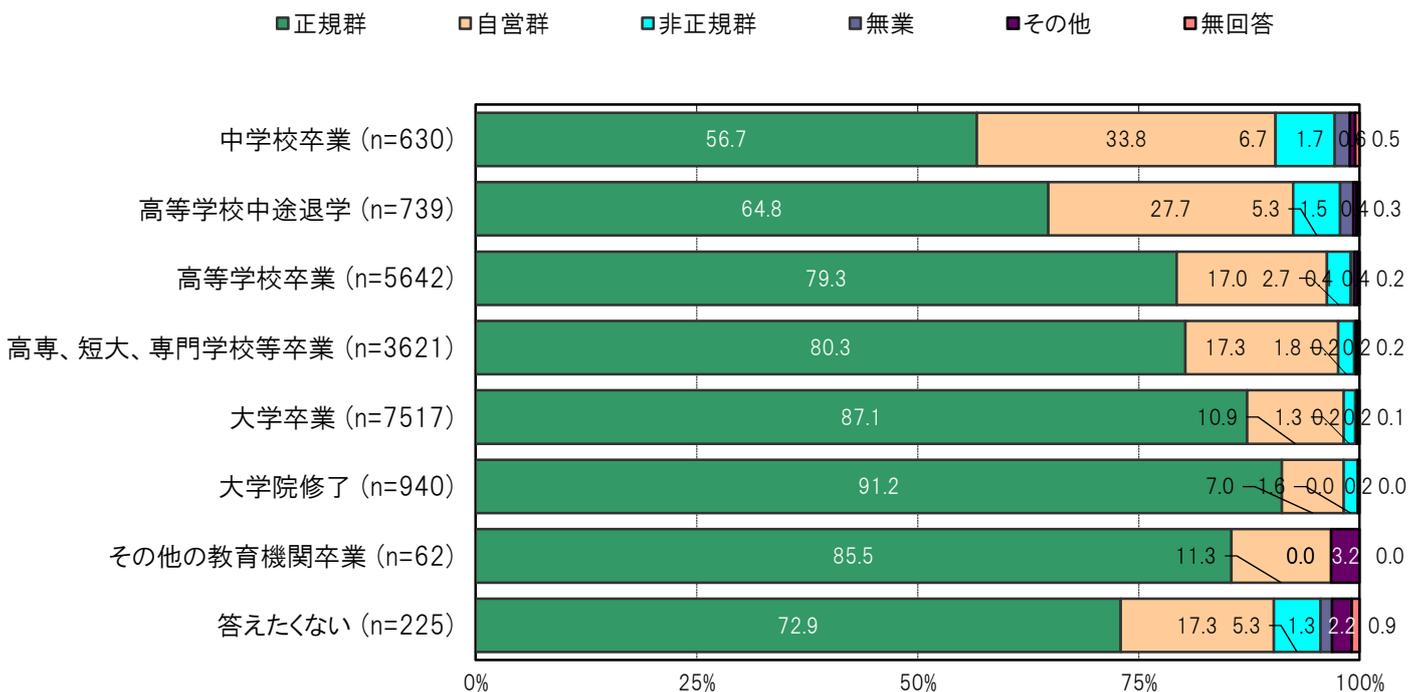
大阪市鶴見区の父親の最終学歴／高専、短大、専門学校等卒業群においては、「正規群」87.9%、「自営群」10.9%、「非正規群」0.8%、「無業」0.0%、「その他」0.0%となっている。

大阪市鶴見区の父親の最終学歴／大学卒業群においては、「正規群」91.5%、「自営群」7.2%、「非正規群」1.0%、「無業」0.0%、「その他」0.0%となっている。

〔大阪市鶴見区／父親の最終学歴別〕



〔大阪市24区／父親の最終学歴別〕

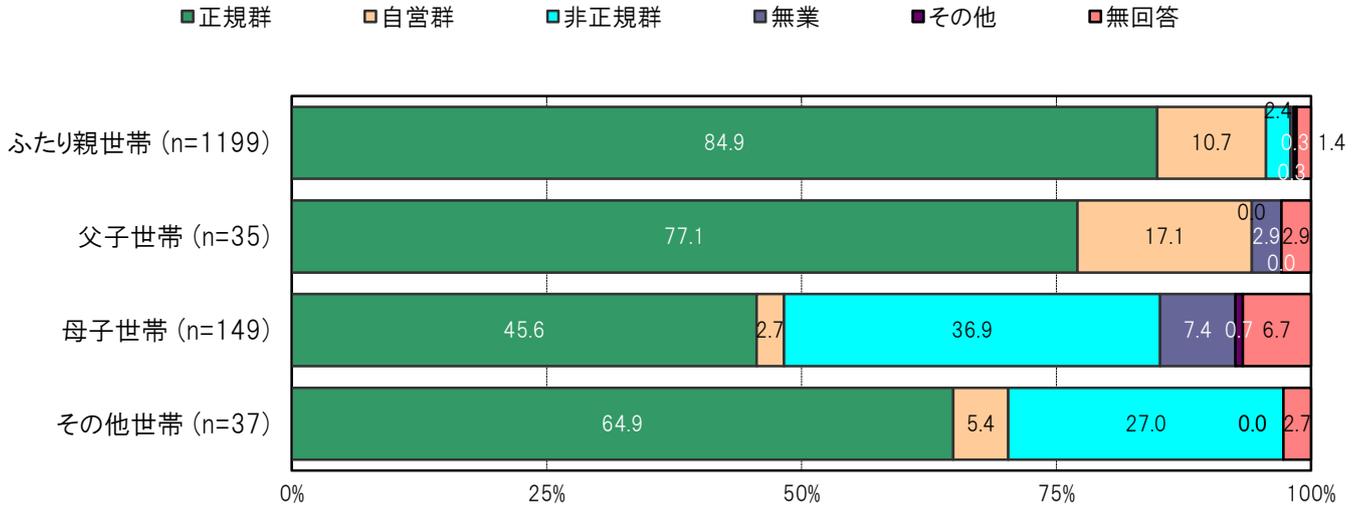


A-211.世帯構成別に見た就労状況【保護者 就労状況】

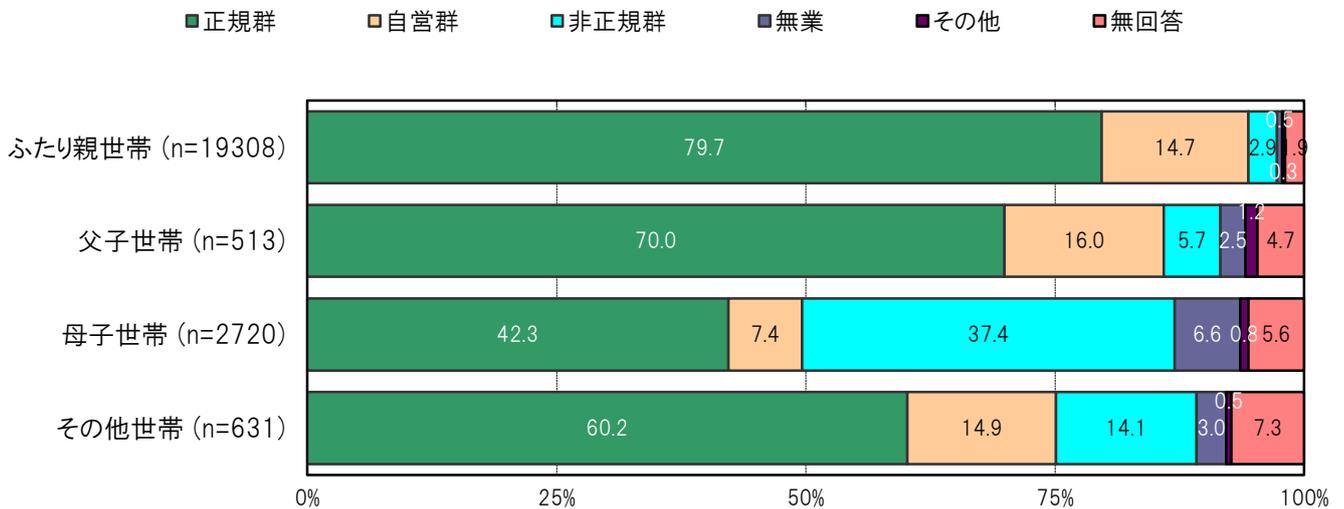
大阪市鶴見区の世帯状況／ふたり親世帯群においては、「正規群」84.9%、「自営群」10.7%、「非正規群」2.4%、「無業」0.3%、「その他」0.3%となっている。

大阪市鶴見区の世帯状況／母子世帯群においては、「正規群」45.6%、「自営群」2.7%、「非正規群」36.9%、「無業」7.4%、「その他」0.7%となっている。

〔大阪市鶴見区／世帯構成別〕



〔大阪市24区／世帯構成別〕

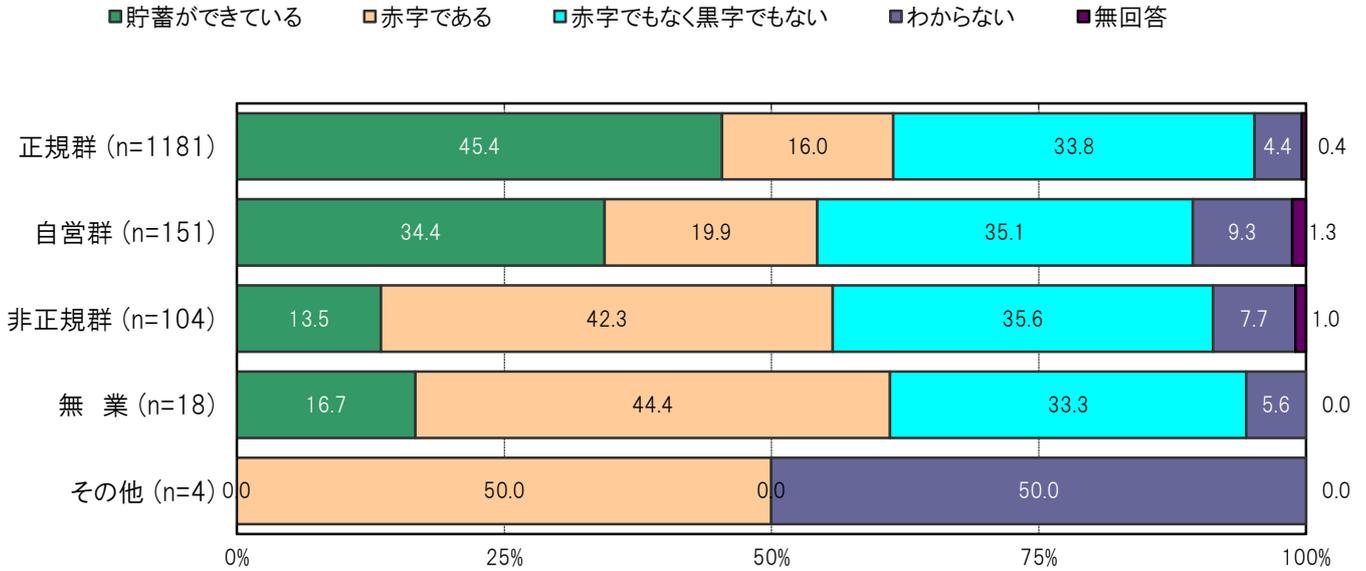


A-212.就労状況別にみた2022年の家計状況【保護者 問7(1)】

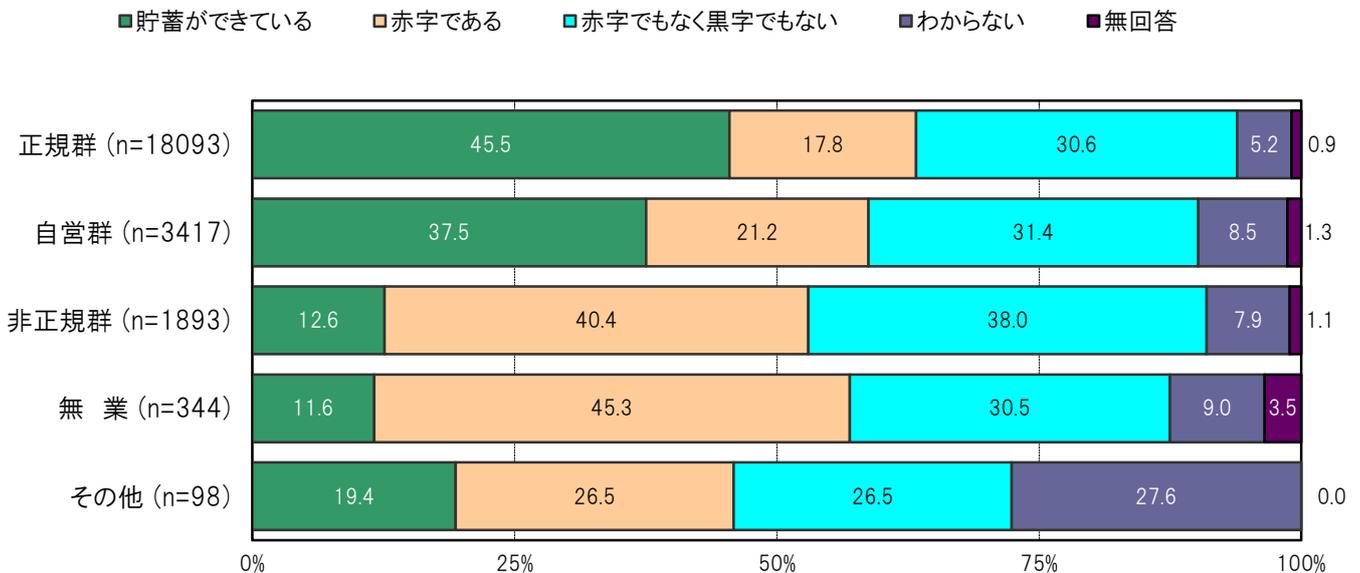
大阪市鶴見区の就労状況／正規群においては、「貯蓄ができています」45.4%、「赤字である」16.0%、「赤字でもなく黒字でもない」33.8%、「わからない」4.4%となっている。

大阪市鶴見区の就労状況／自営群においては、「貯蓄ができています」34.4%、「赤字である」19.9%、「赤字でもなく黒字でもない」35.1%、「わからない」9.3%となっている。

〔大阪市鶴見区／就労状況別〕



〔大阪市24区／就労状況別〕



〔雇用に関する考察〕

はじめに、困窮度別の保護者の就労状況と最終学歴について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間で差が大きい項目に着目して述べる。親/保護者の就労状況を困窮度別に見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「正規」群（93.0%対38.8%）が50ポイント以上高く、大きな開きがある。一方、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「非正規」群（34.4%対1.3%）が30ポイント以上高くなっている。また、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「自営」群（14.4%対3.8%）が10ポイント以上高くなっている。母親の最終学歴を困窮度別に見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「高等学校卒業」群（32.0%対14.9%）が2倍以上である。一方で、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、大学以上（「大学卒業」と「大学院修了」）群（33.4%対10.2%）が3倍以上である。同様に、父親の最終学歴においても、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「高等学校卒業」群（36.7%対21.3%）が約15ポイント高くなっている。また、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、大学以上（「大学卒業」と「大学院修了」）群（51.3%対19.0%）が30ポイント以上高くなっている。これらの結果から、経済的に困難な世帯の保護者の雇用形態が所得階層の分布に反映されていることがわかる。また、困窮度が高い群では親の最終学歴が低い傾向が見られる。

次に、保護者の最終学歴別に就労状況を確認する。母親の最終学歴別に見ると、「大学卒業」群は「高等学校卒業」群と比べ、「正規」群（87.6%対72.4%）が約15ポイント高くなっている。同様に父親の最終学歴別で見ると、「大学卒業」群は「高等学校卒業」群と比べ、「正規」群（91.5%対81.2%）が約10ポイント高くなっている。この結果から、学歴が高い群ほど正規雇用の割合が高いことを示唆している。

さらに、世帯構成別に親/保護者の就労状況を確認すると、ふたり親世帯は母子世帯と比べ、「正規」群（84.9%対45.6%）が約40ポイント高くなっている。また、父子世帯は母子世帯と比べ、「正規」群（77.1%対45.6%）が30ポイント以上高くなっており、母子世帯の正規雇用の割合の低さが顕著である。さらに、母子世帯は、「非正規」群（36.9%）の割合が他の世帯構成に比べて極めて高くなっており、不安定な就労状況にあることが示唆される。

最後に、保護者の就労状況別に見る家計の状況に着目すると、「正規」群は「非正規」群と比べ、「貯蓄ができています」（45.4%対13.5%）が3倍以上と、大きな差があることが確認できる。一方で、「非正規」群は「正規」群と比べ、家計状況が「赤字である」（42.3%対16.0%）は25ポイント以上高くなっている。この結果から、保護者が正規雇用であるほど、貯蓄ができるなど生活が安定している傾向が見られる。

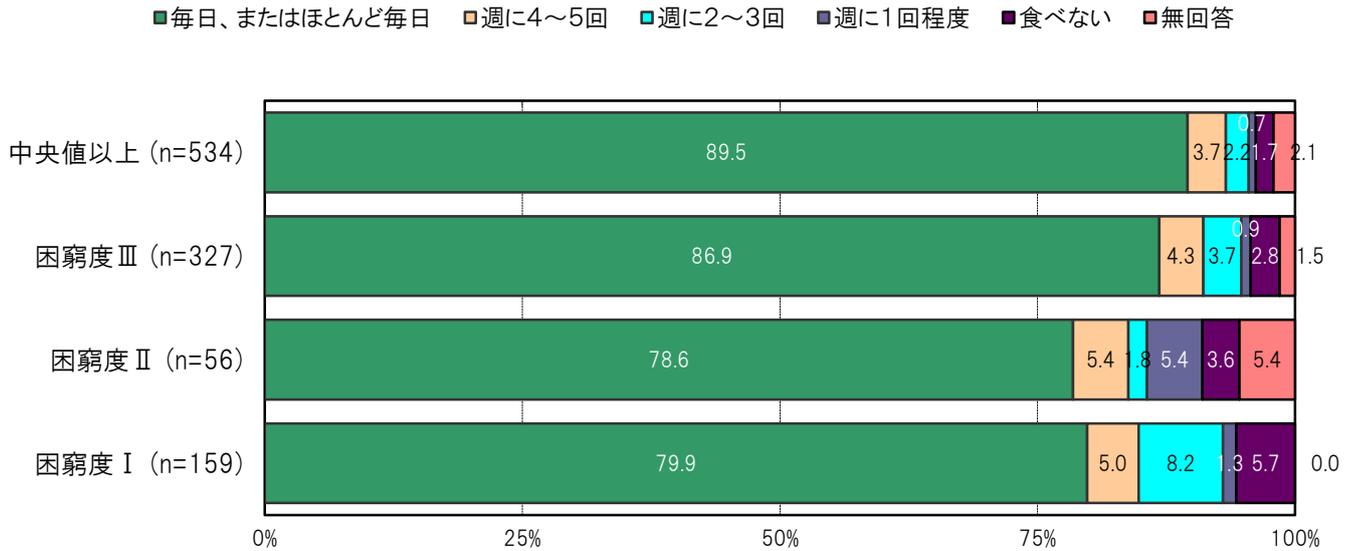
3-4.健康

A-213.困窮度別にみた朝食を食べる頻度〔子ども 問4(1)〕

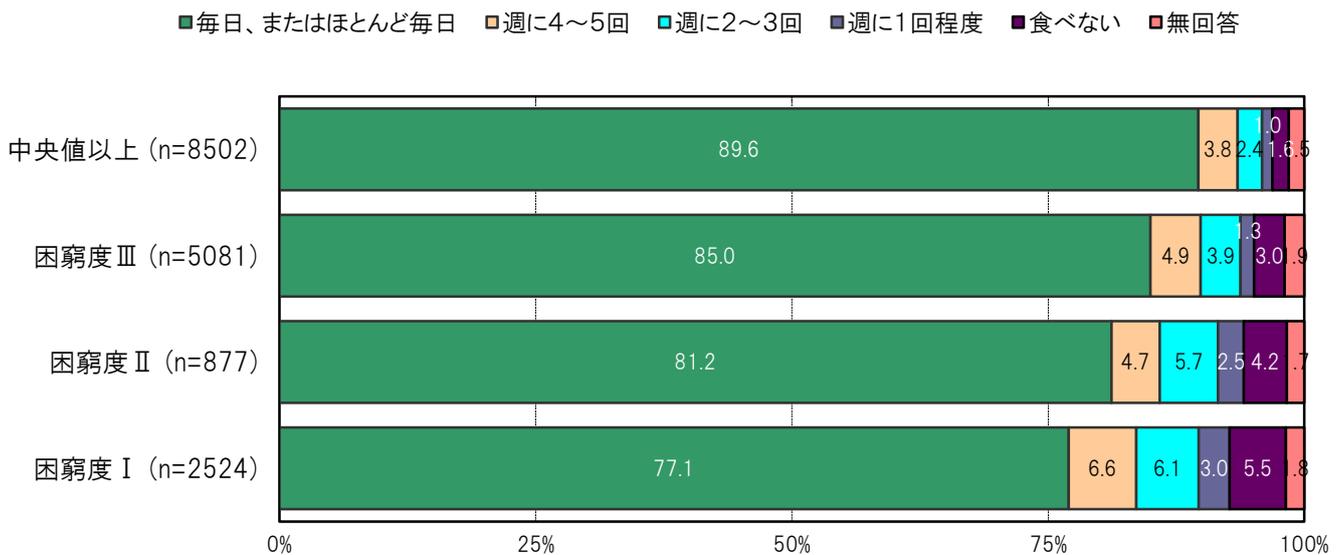
大阪市鶴見区の困窮度Ⅰ群においては、「毎日、またはほとんど毎日」79.9%、「週に4～5回」5.0%、「週に2～3回」8.2%、「週に1回程度」1.3%、「食べない」5.7%となっている。

大阪市鶴見区の中央値以上群においては、「毎日、またはほとんど毎日」89.5%、「週に4～5回」3.7%、「週に2～3回」2.1%、「週に1回程度」0.7%、「食べない」2.1%となっている。

〔大阪市鶴見区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

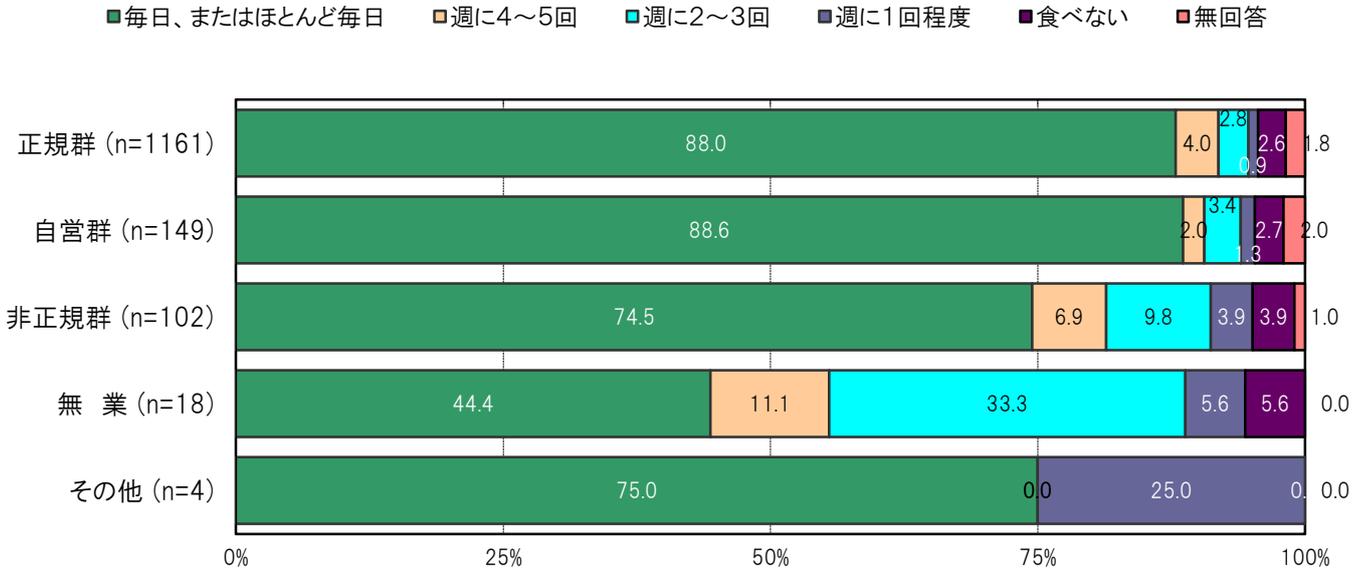


A-214.就労状況別にみた朝食を食べる頻度【子ども 問4(1)】

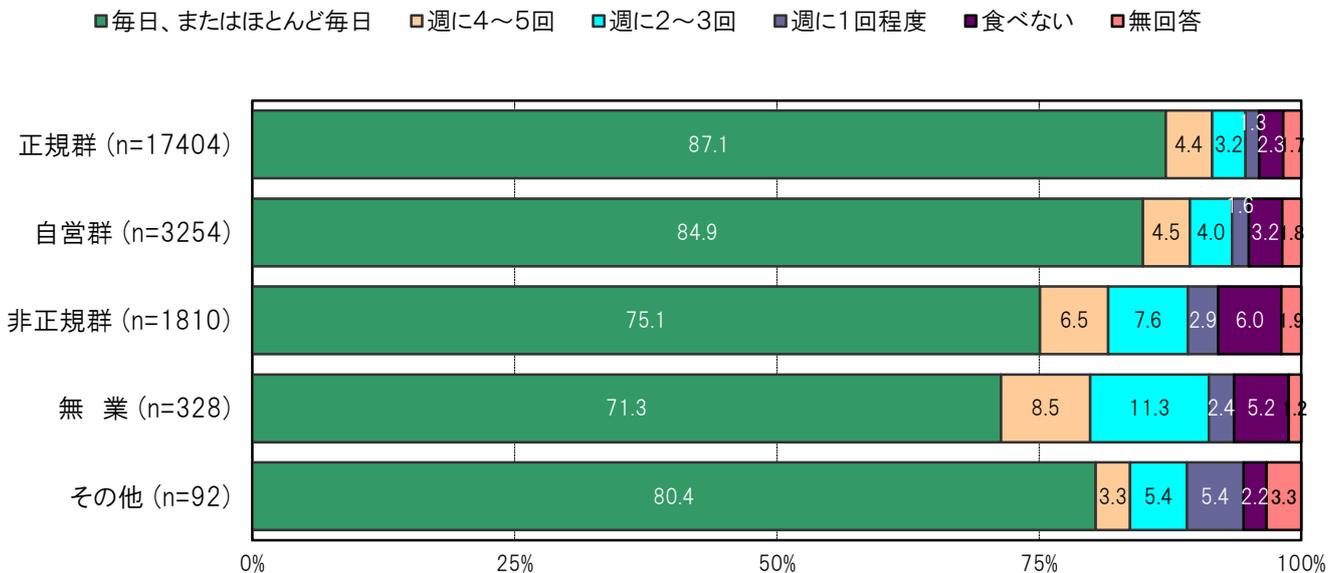
大阪市鶴見区の就労状況／正規群においては、「毎日、またはほとんど毎日」88.0%、「週に4～5回」4.0%、「週に2～3回」2.8%、「週に1回程度」0.9%、「食べない」2.6%となっている。

大阪市鶴見区の就労状況／自営群においては、「毎日、またはほとんど毎日」88.6%、「週に4～5回」2.0%、「週に2～3回」3.4%、「週に1回程度」1.3%、「食べない」2.7%となっている。

〔大阪市鶴見区／就労状況別〕



〔大阪市24区／就労状況別〕

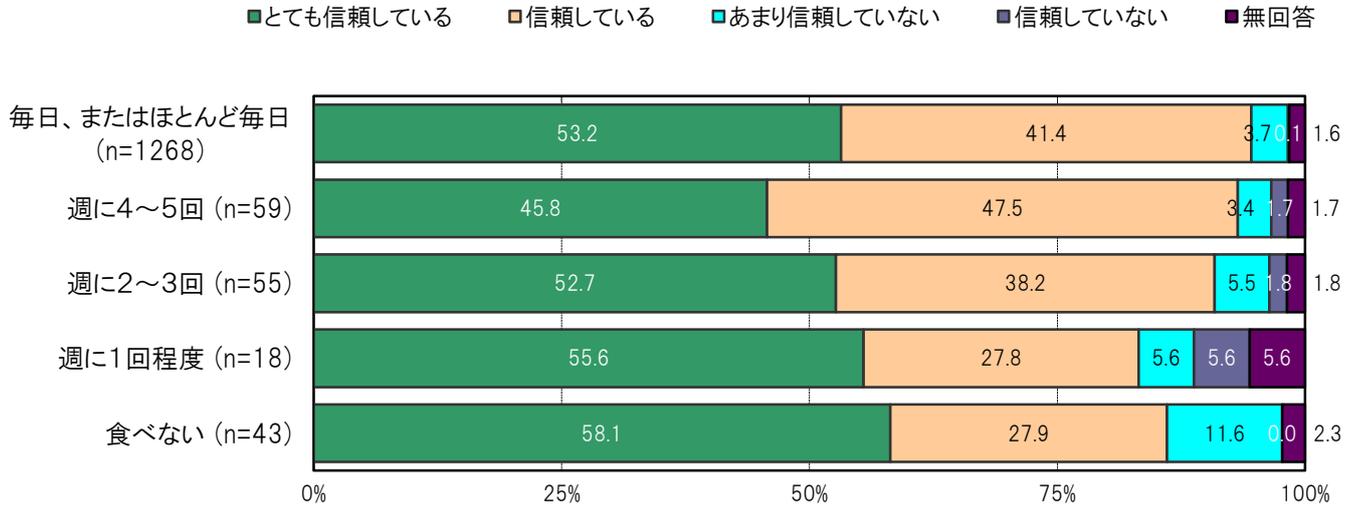


A-215.朝食を食べる頻度別 子どもを信頼しているか【保護者 問14(1)】

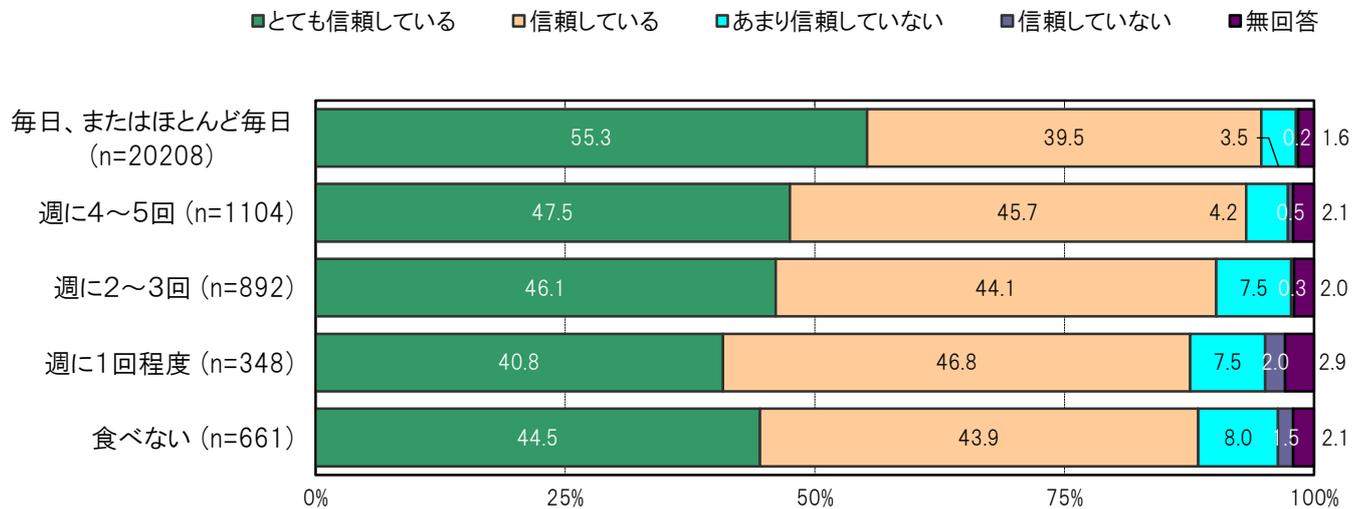
大阪市鶴見区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「とても信頼している」53.2%、「信頼している」41.4%、「あまり信頼していない」3.7%、「信頼していない」0.1%となっている。

大阪市鶴見区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「とても信頼している」45.8%、「信頼している」47.5%、「あまり信頼していない」3.4%、「信頼していない」1.7%となっている。

〔大阪市鶴見区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

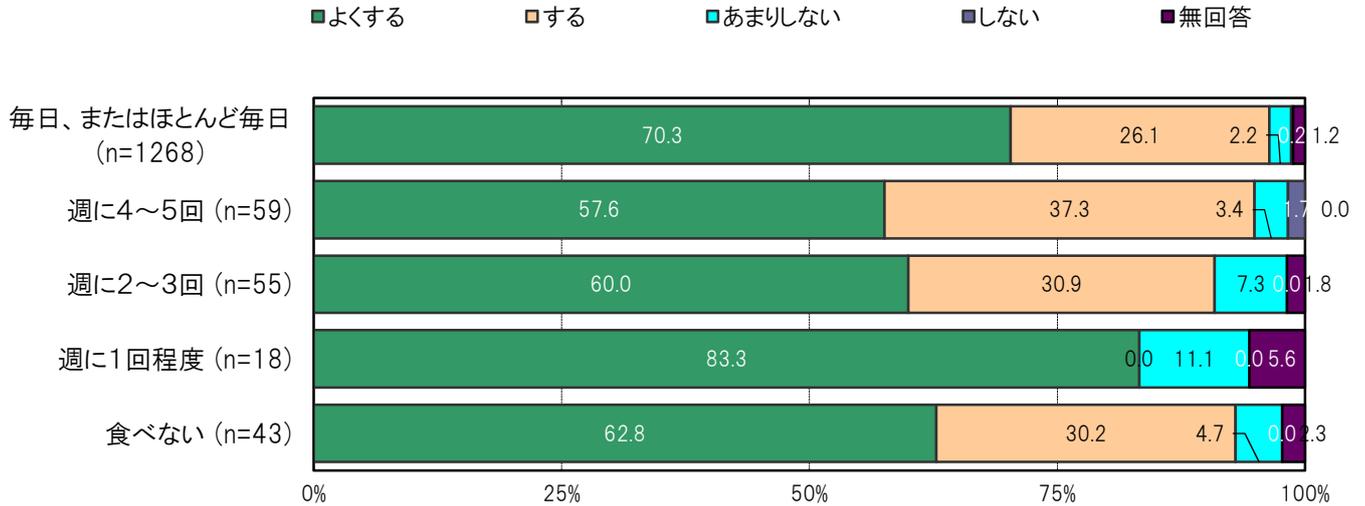


A-216.朝食を食べる頻度別 子どもとよく会話をするか【保護者 問14(2)】

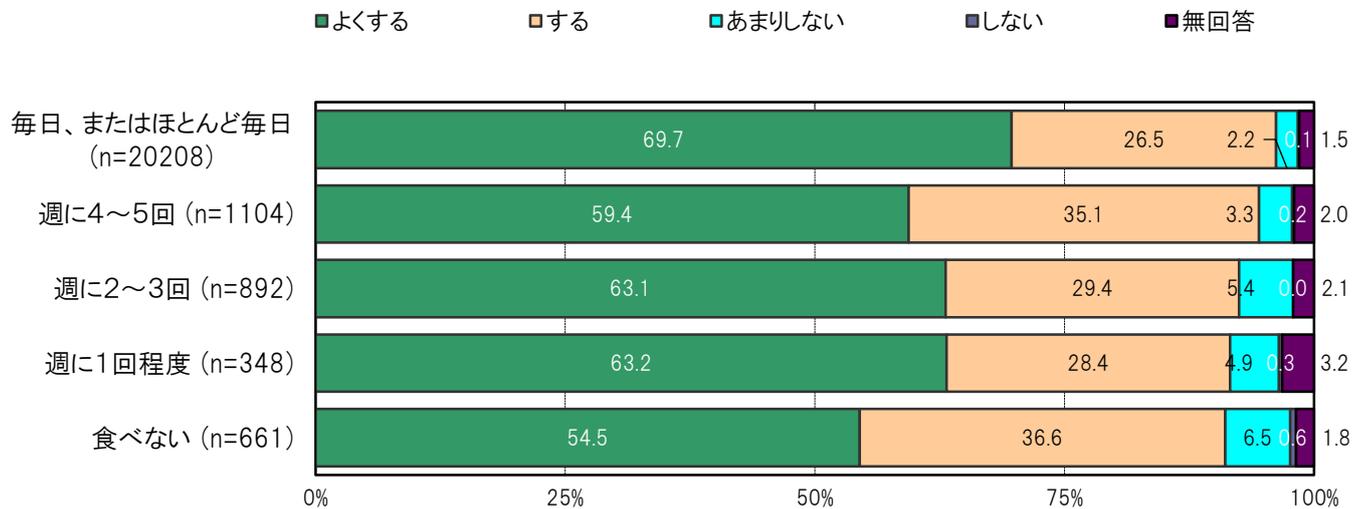
大阪市鶴見区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「よくする」70.3%、「する」26.1%、「あまりしない」2.2%、「しない」0.2%となっている。

大阪市鶴見区朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「よくする」57.6%、「する」37.3%、「あまりしない」3.4%、「しない」1.7%となっている。

〔大阪市鶴見区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

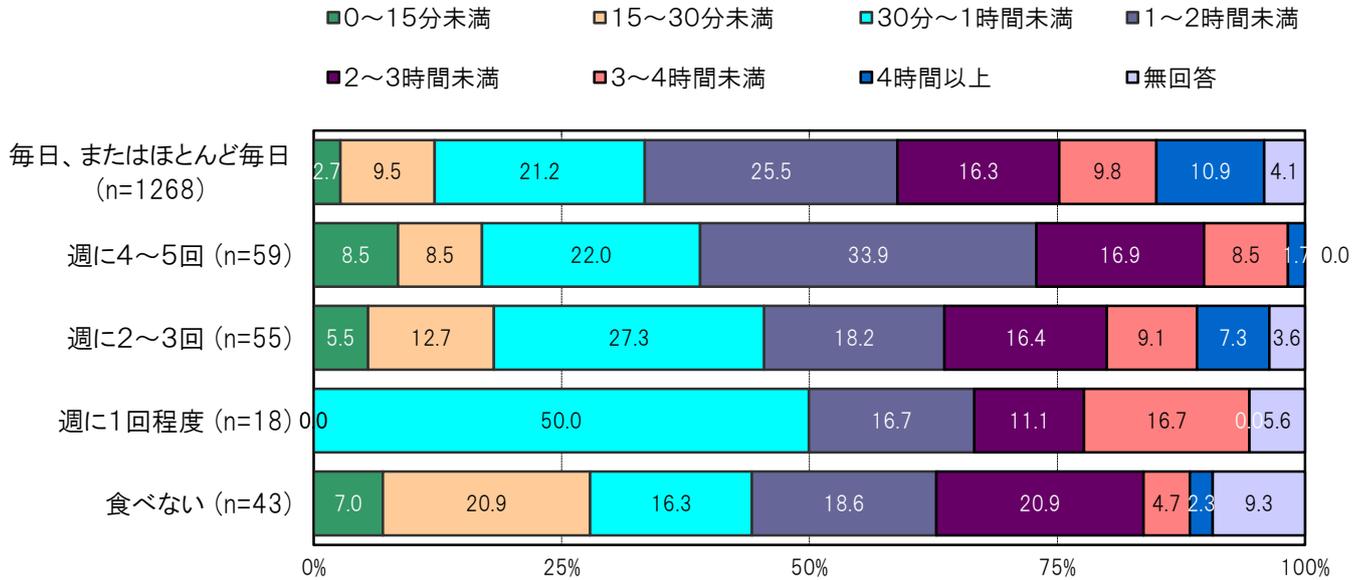


A-217.朝食を食べる頻度別 平日に子どもと過ごす時間【保護者 問14(3)】

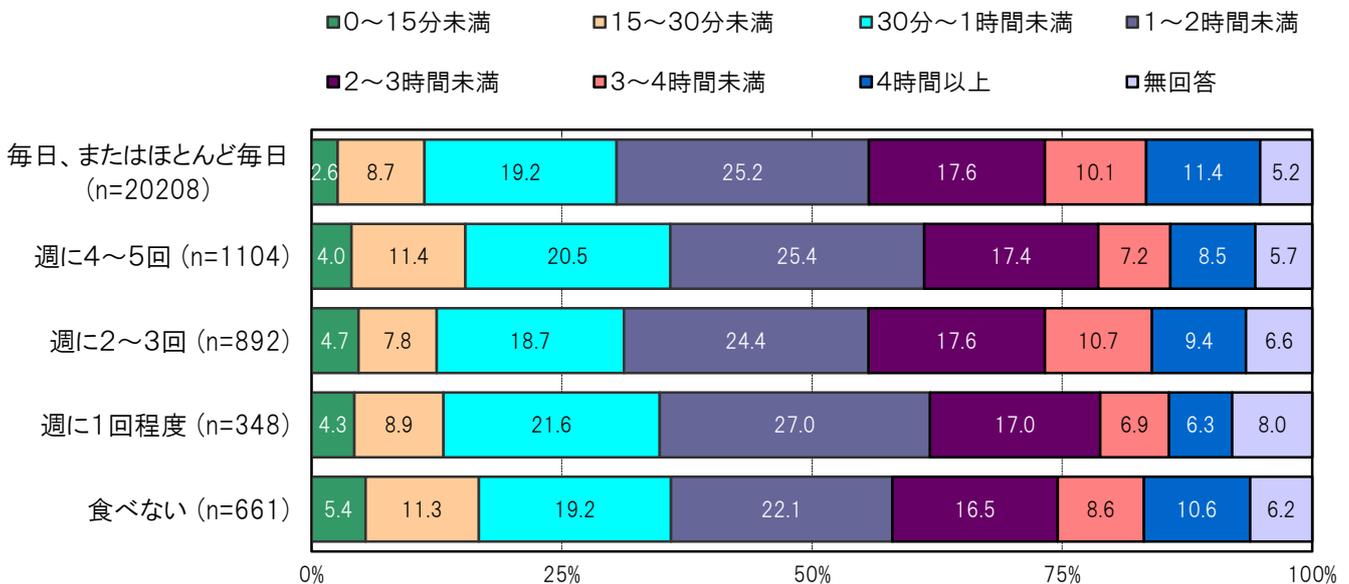
大阪市鶴見区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「0～15分未満」2.7%、「15～30分未満」9.5%、「30分～1時間未満」21.2%、「1～2時間未満」25.5%、「2～3時間未満」16.3%、「3～4時間未満」9.8%、「4時間以上」10.9%となっている。

大阪市鶴見区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「0～15分未満」8.5%、「15～30分未満」8.5%、「30分～1時間未満」22.0%、「1～2時間未満」33.9%、「2～3時間未満」16.9%、「3～4時間未満」8.5%、「4時間以上」1.7%となっている。

【大阪市鶴見区／朝食を食べる頻度別】



【大阪市24区／朝食を食べる頻度別】

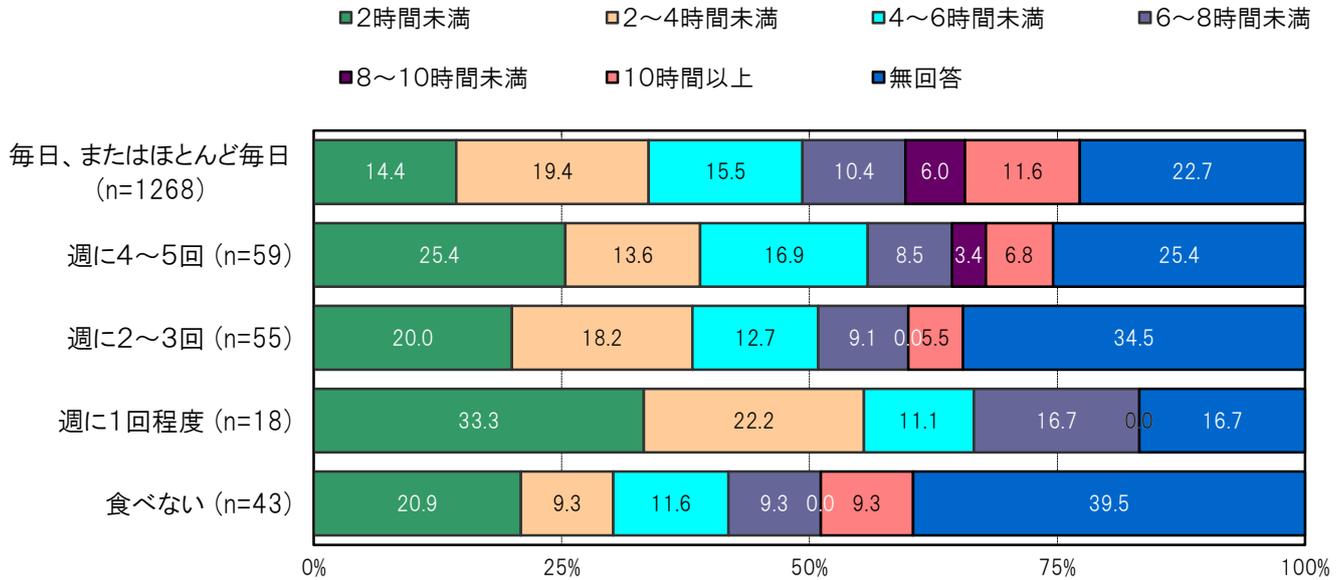


A-218.朝食を食べる頻度別 休日に子どもと過ごす時間【保護者 問14(3)】

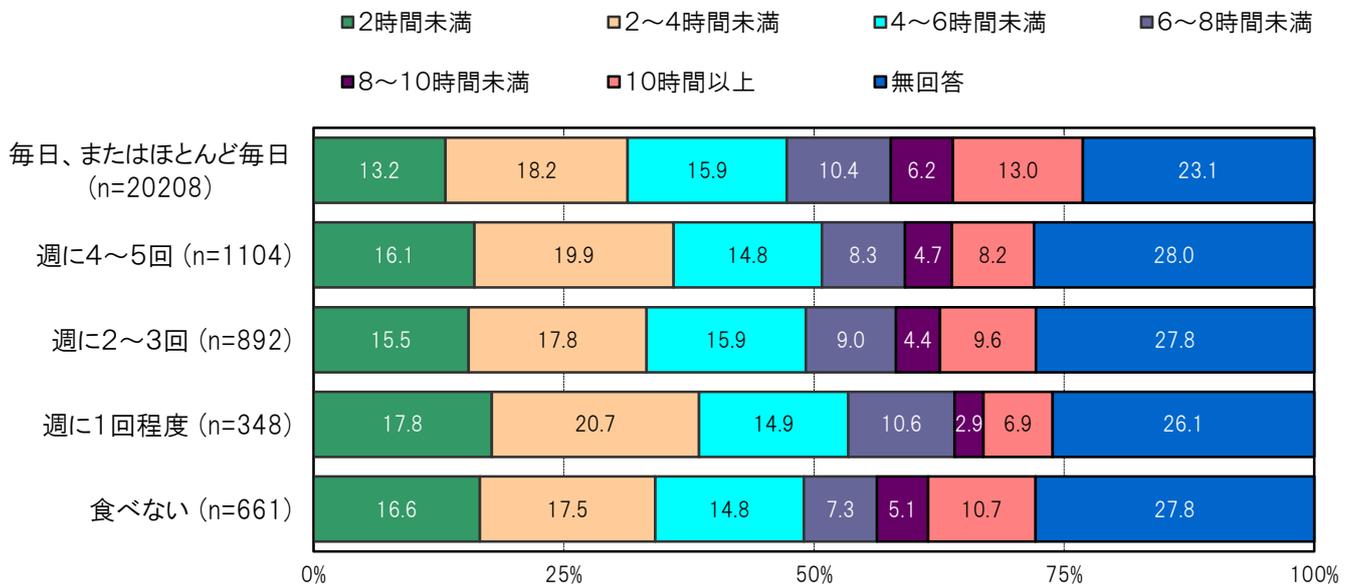
大阪市鶴見区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「2時間未満」14.4%、「2～4時間未満」19.4%、「4～6時間未満」15.5%、「6～8時間未満」10.4%、「8～10時間未満」6.0%、「10時間以上」11.6%となっている。

大阪市鶴見区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「2時間未満」25.4%、「2～4時間未満」13.6%、「4～6時間未満」16.9%、「6～8時間未満」8.5%、「8～10時間未満」3.4%、「10時間以上」6.8%となっている。

〔大阪市鶴見区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

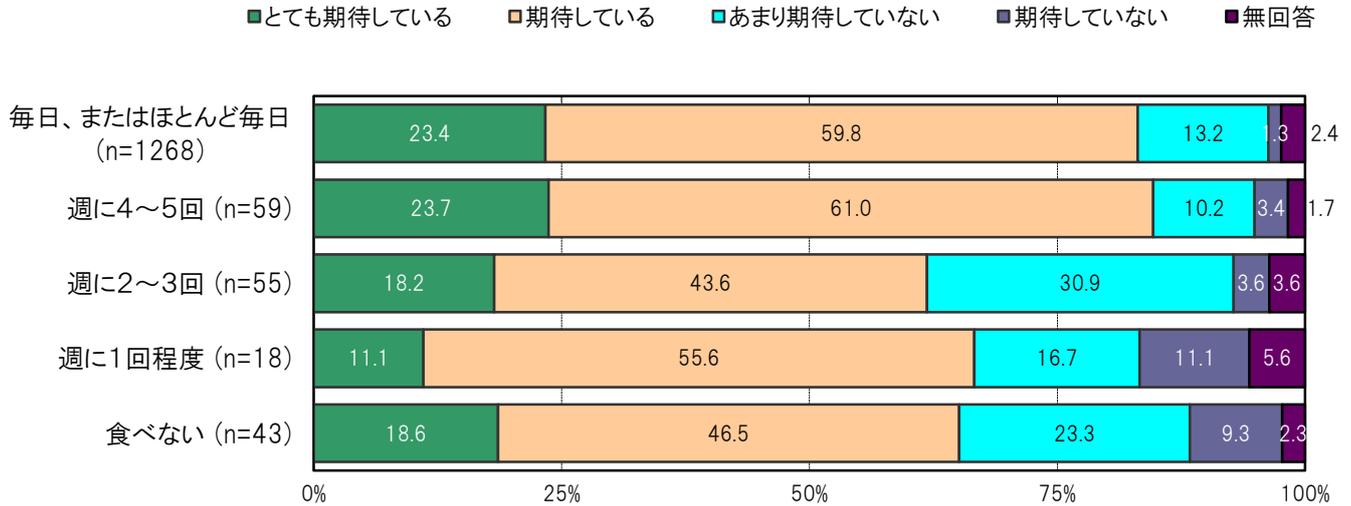


A-219.朝食を食べる頻度別 子どもの将来に期待しているか【保護者 問14(4)】

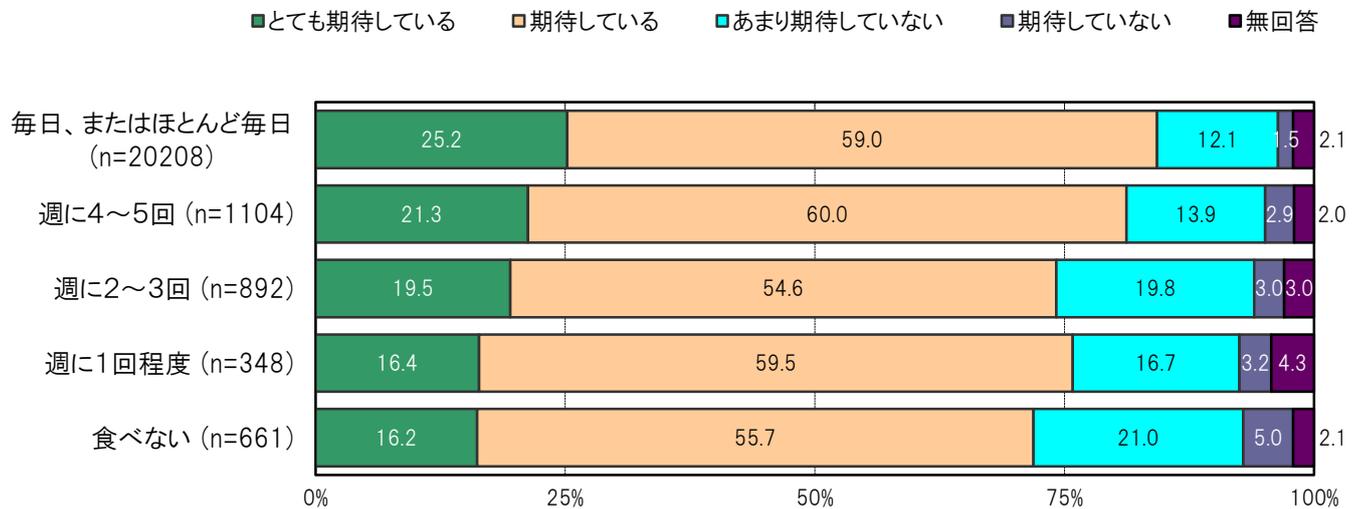
大阪市鶴見区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「とても期待している」23.4%、「期待している」59.8%、「あまり期待していない」13.2%、「期待していない」1.3%となっている。

大阪市鶴見区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「とても期待している」23.7%、「期待している」61.0%、「あまり期待していない」10.2%、「期待していない」3.4%となっている。

〔大阪市鶴見区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

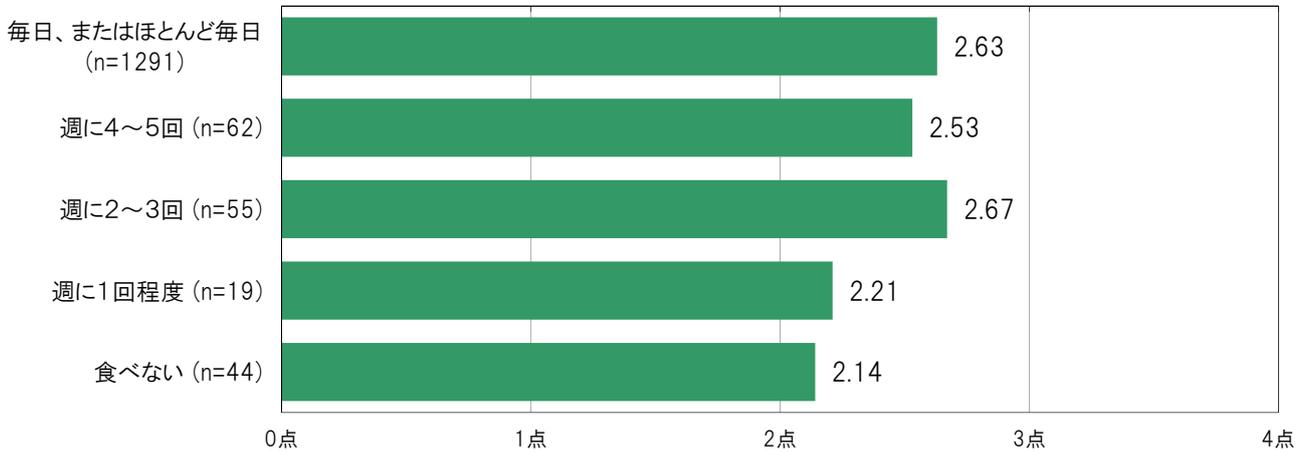


A-220.朝食を食べる頻度別 自分に自信がある【子ども 問26(1)】

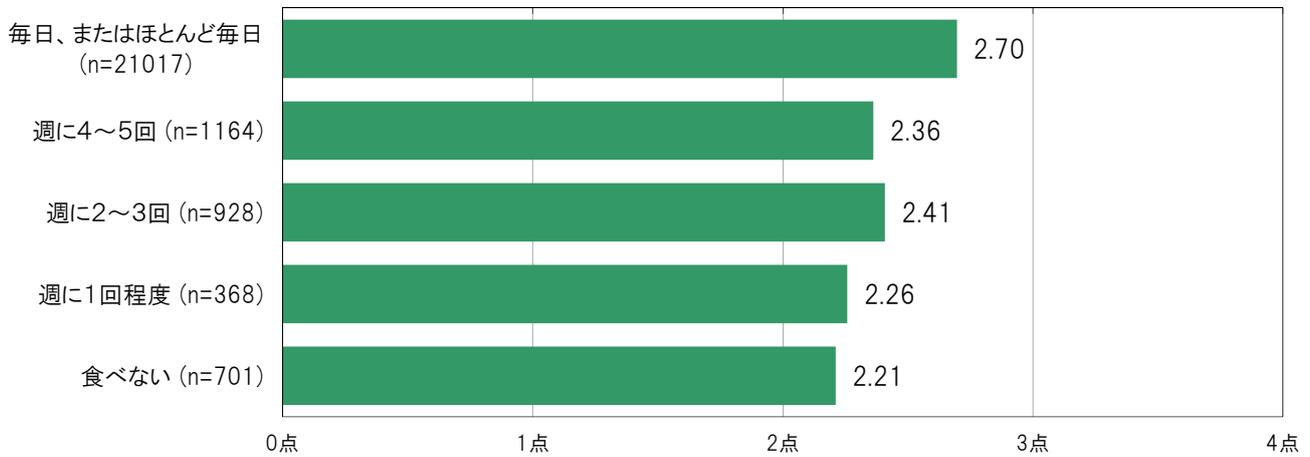
大阪市鶴見区の朝食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」2.63点、「週に4～5回」2.53点、「週に2～3回」2.67点、「週に1回程度」2.21点、「食べない」2.14点となっている。

※加重得点「ある」= 4点、「どちらかというところ」= 3点、「どちらかというところない」= 2点、「ない」= 1点

〔大阪市鶴見区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

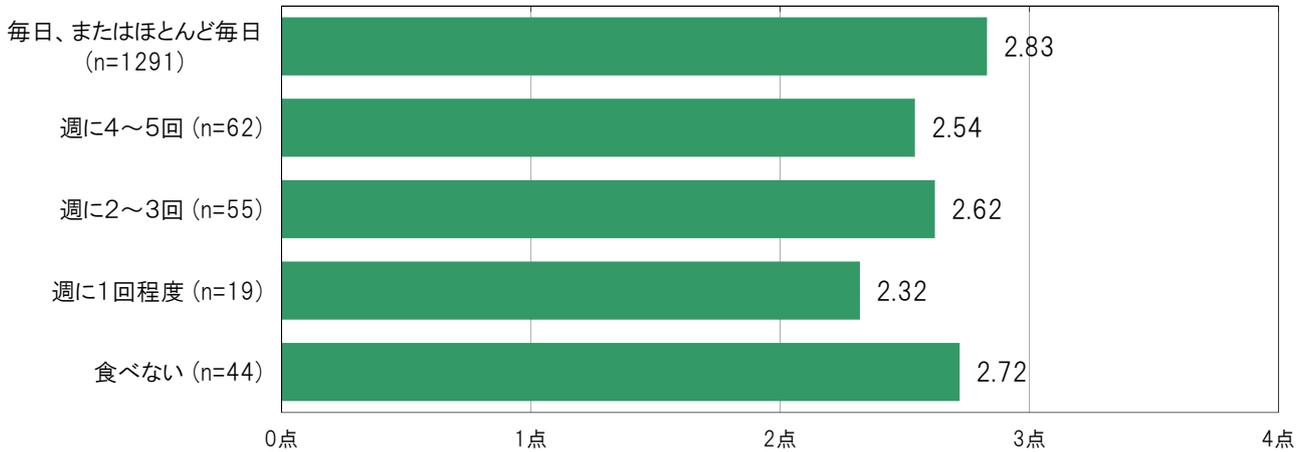


A-221.朝食を食べる頻度別 自分の考えをはっきり相手に伝えられる【子ども 問26(2)】

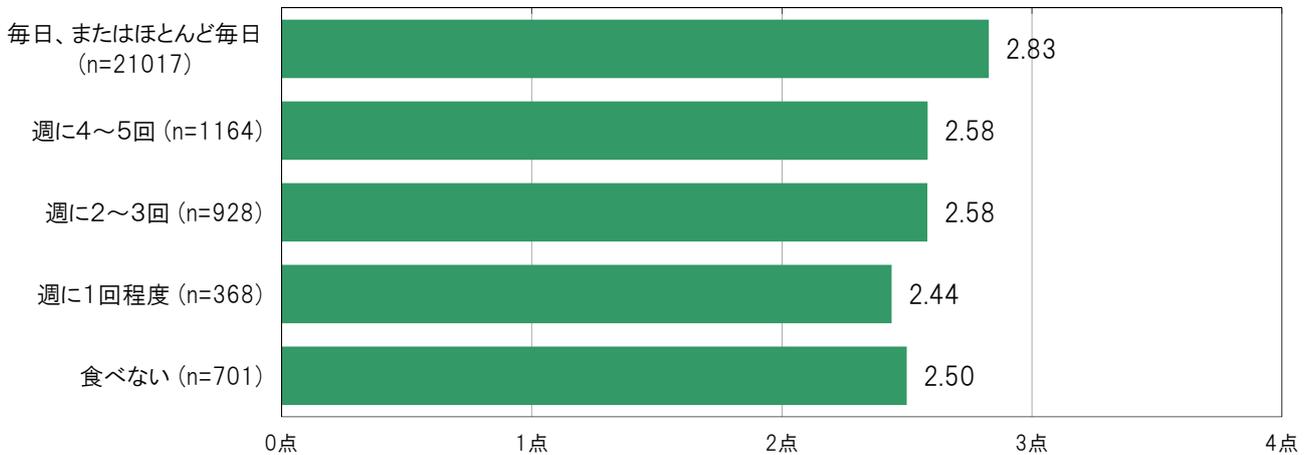
大阪市鶴見区の朝食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」2.83点、「週に4～5回」2.54点、「週に2～3回」2.62点、「週に1回程度」2.32点、「食べない」2.72点となっている。

※加重得点「できる」= 4点、「どちらかというところできる」= 3点、「どちらかというところできない」= 2点、「できない」= 1点

〔大阪市鶴見区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

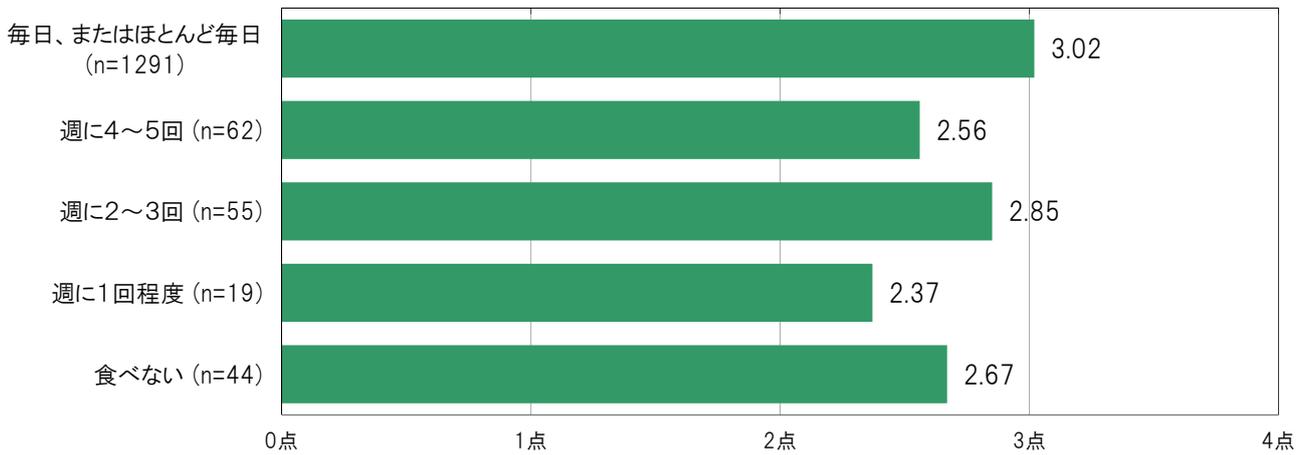


A-222.朝食を食べる頻度別 自分の将来の夢や目標を持っている【子ども 問26(3)】

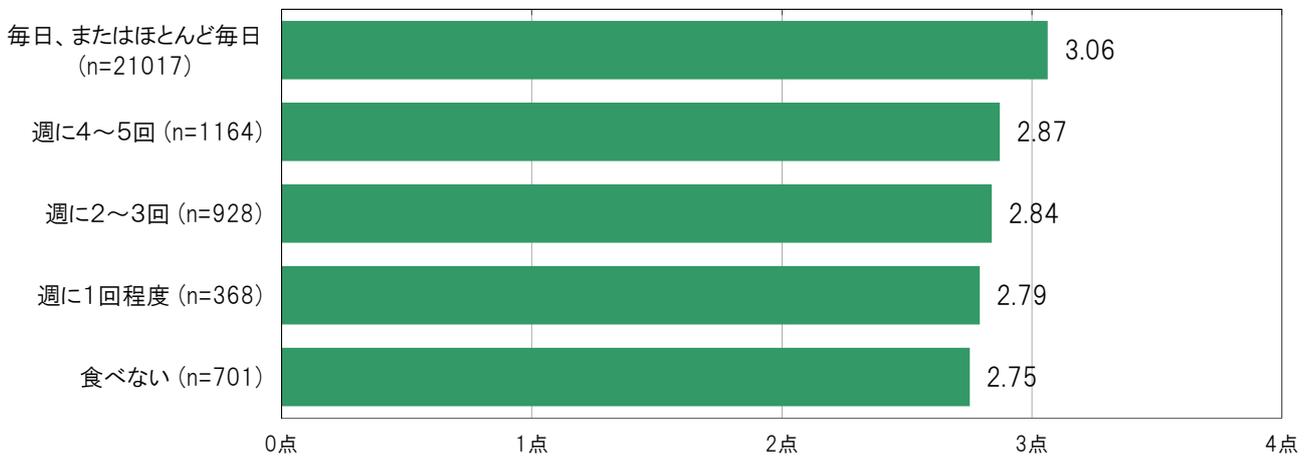
大阪市鶴見区の朝食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」3.02点、「週に4～5回」2.56点、「週に2～3回」2.85点、「週に1回程度」2.37点、「食べない」2.67点となっている。

※加重得点「持っている」= 4点、「どちらかというを持っている」= 3点、
「どちらかというを持っていない」= 2点、「持ってない」= 1点

〔大阪市鶴見区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

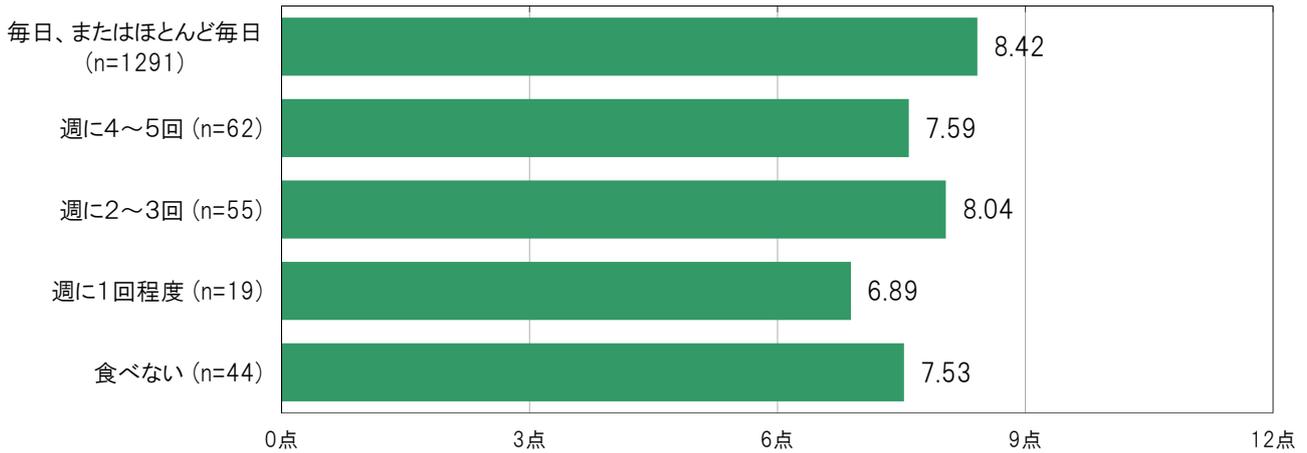


A-223.朝食を食べる頻度別 子どもの自己効力感の合計得点(最大12点)【子ども 問26(1)~(3)】

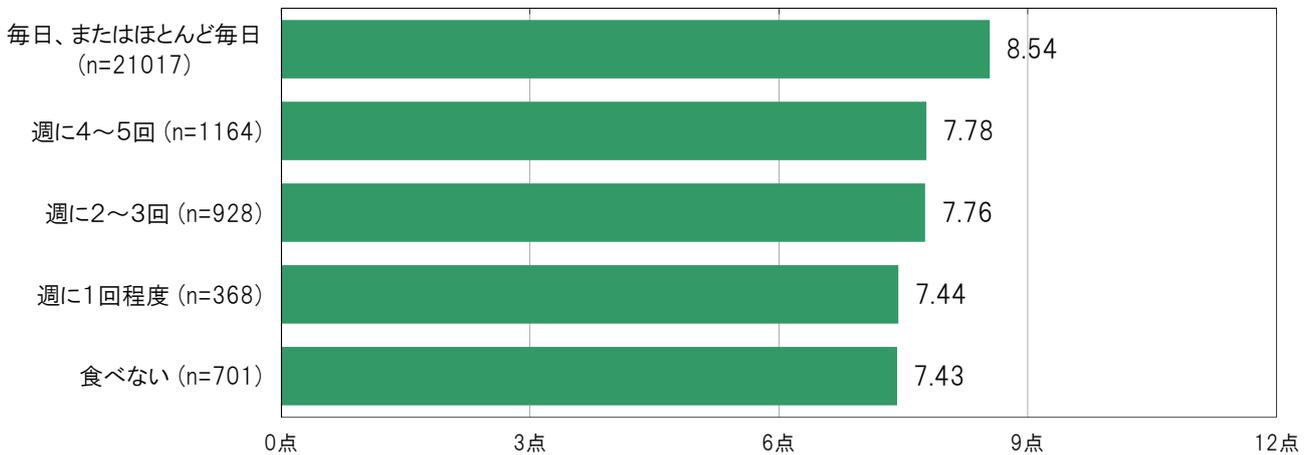
大阪市鶴見区の朝食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の合計得点は、「毎日、またはほとんど毎日」8.42点、「週に4~5回」7.59点、「週に2~3回」8.04点、「週に1回程度」6.89点、「食べない」7.53点となっている。

「自分に自信がある」、「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」、「大人は信用できる」、「自分の将来の夢や目標を持っている」の3項目について、それぞれ4段階で評価させ、その値を合計した得点を、セルフ・エフィカシー得点とした。得点が高いほど、自己効力感(セルフ・エフィカシー)が高いことを表す。

〔大阪市鶴見区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

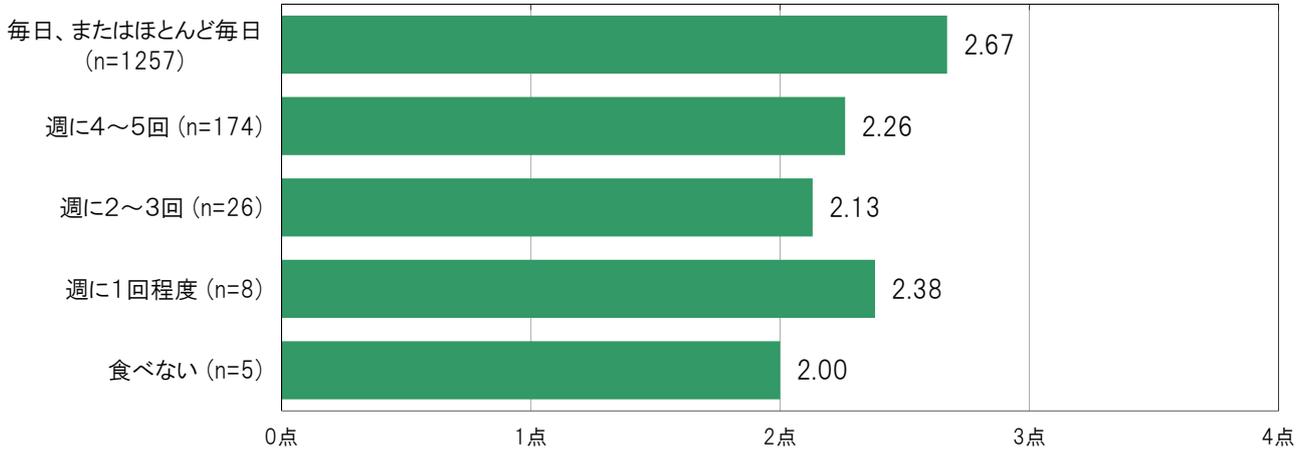


A-224. 休日に昼食を食べる頻度別 自分に自信がある【子ども 問26(1)】

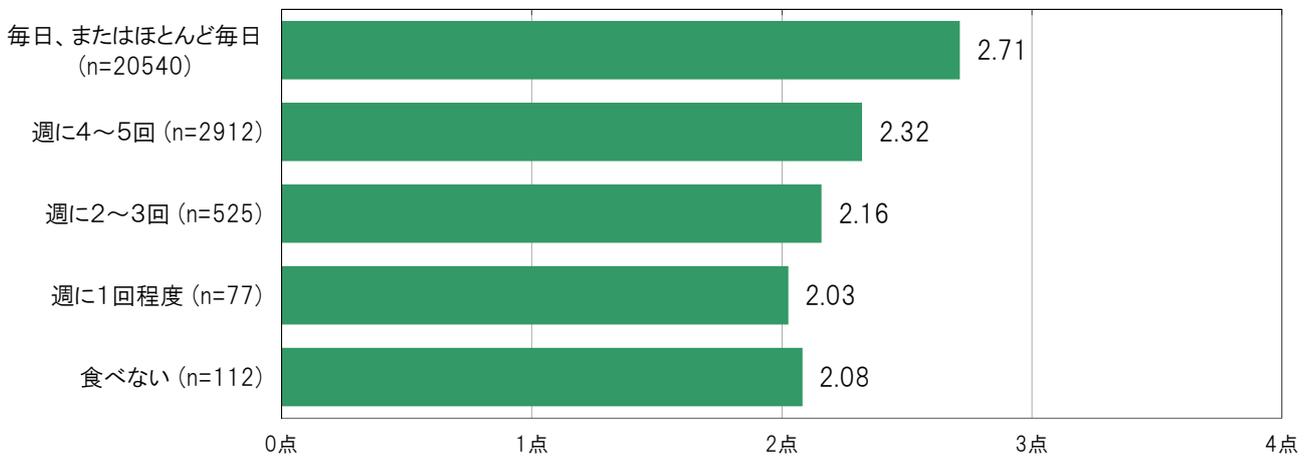
大阪市鶴見区の休日に昼食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」2.67点、「週に4～5回」2.26点、「週に2～3回」2.13点、「週に1回程度」2.38点、「食べない」2.00点となっている。

※加重得点「ある」= 4点、「どちらかというところ」= 3点、「どちらかというところない」= 2点、「ない」= 1点

〔大阪市鶴見区／休日に昼食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／休日に昼食を食べる頻度別〕

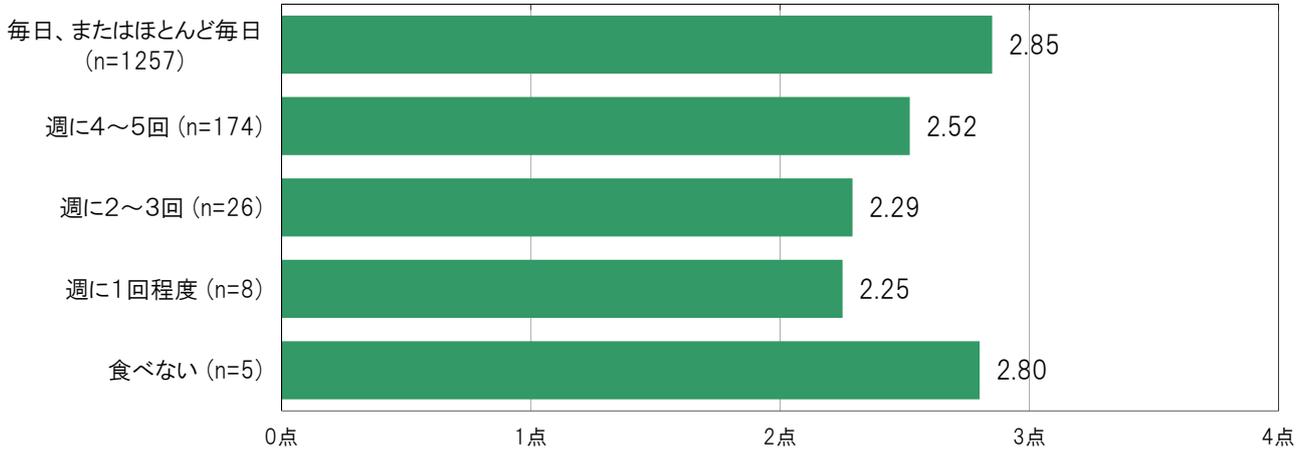


A-225.休日に昼食を食べる頻度別 自分の考えをはっきり相手に伝えられる【子ども 問26(2)】

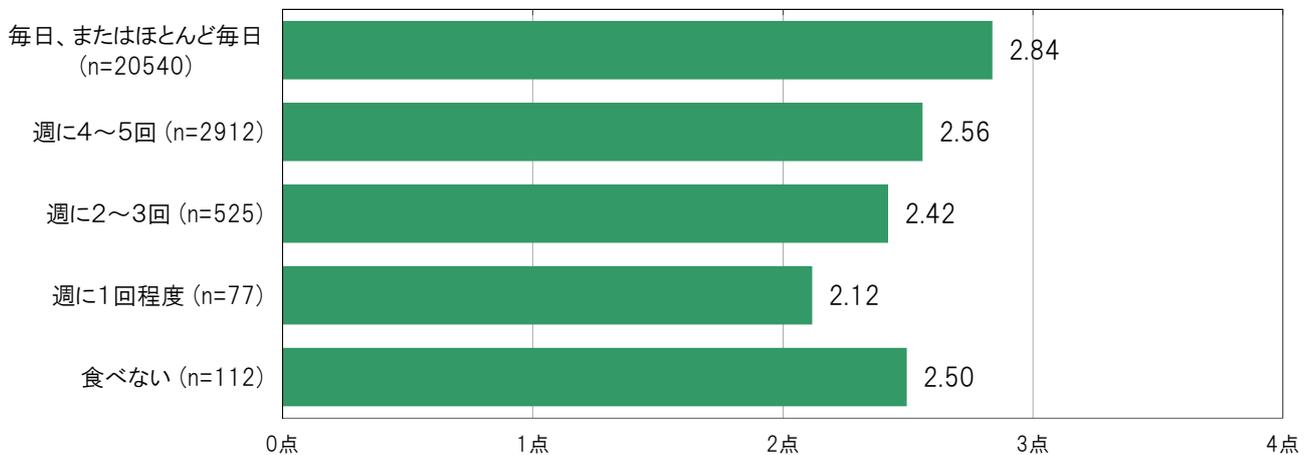
大阪市鶴見区の休日に昼食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」2.85点、「週に4～5回」2.52点、「週に2～3回」2.29点、「週に1回程度」2.25点、「食べない」2.80点となっている。

※加重得点「できる」= 4点、「どちらかというところできる」= 3点、「どちらかというところできない」= 2点、「できない」= 1点

〔大阪市鶴見区／休日に昼食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／休日に昼食を食べる頻度別〕

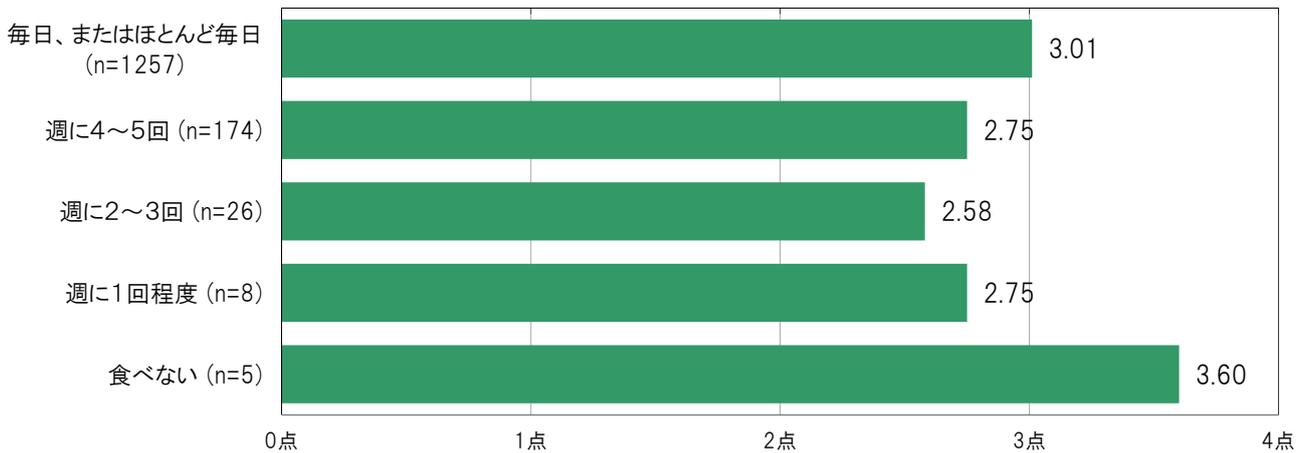


A-226. 休日に昼食を食べる頻度別 自分の将来の夢や目標を持っている【子ども 問26(3)】

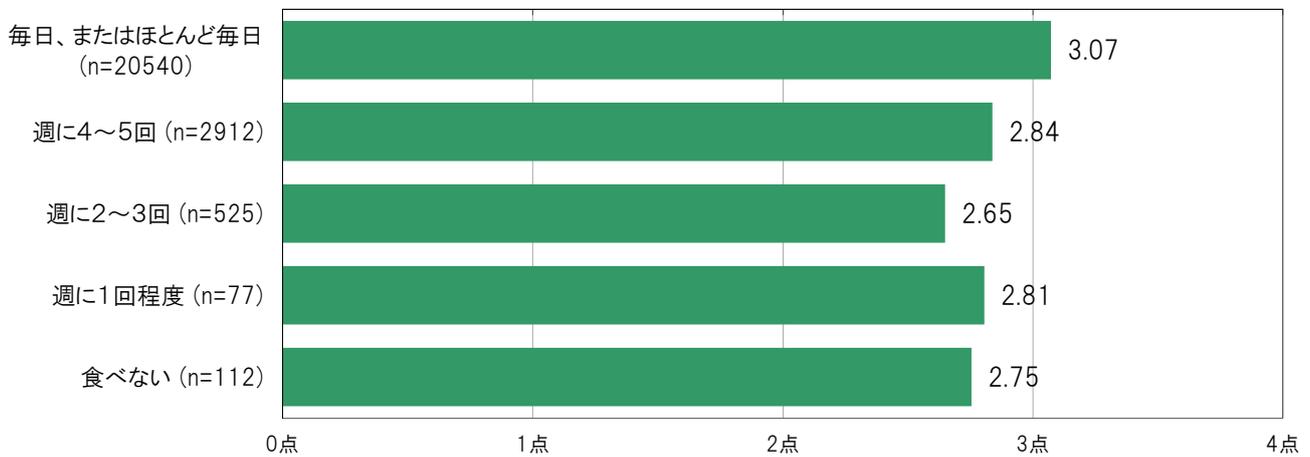
大阪市鶴見区の休日に昼食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」3.01点、「週に4～5回」2.75点、「週に2～3回」2.58点、「週に1回程度」2.75点、「食べない」3.60点となっている。

※加重得点「持っている」= 4点、「どちらかというを持っている」= 3点、
「どちらかという持っていない」= 2点、「持っていない」= 1点

〔大阪市鶴見区／休日に昼食を食べる頻度別〕



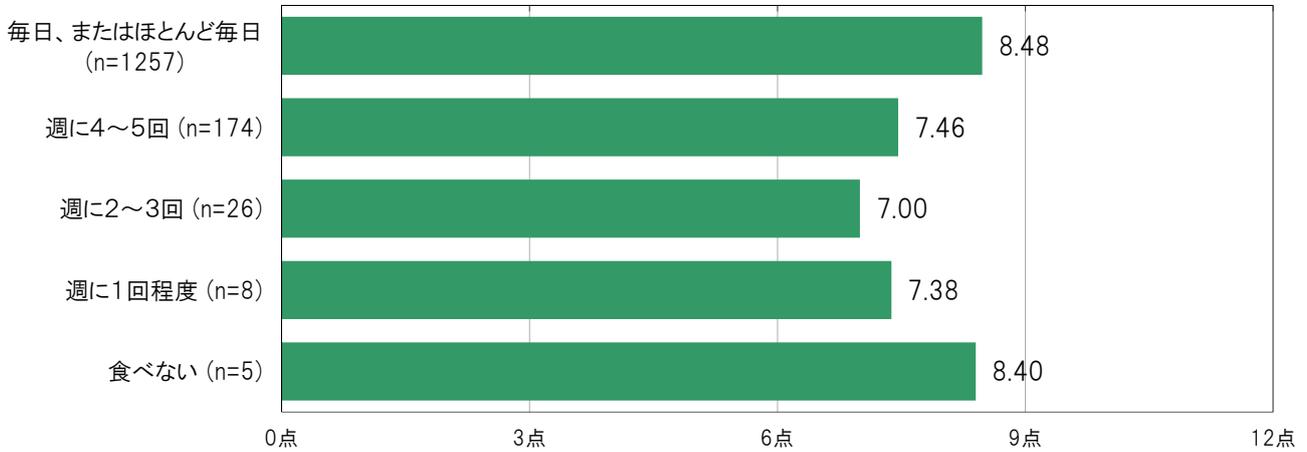
〔大阪市24区／休日に昼食を食べる頻度別〕



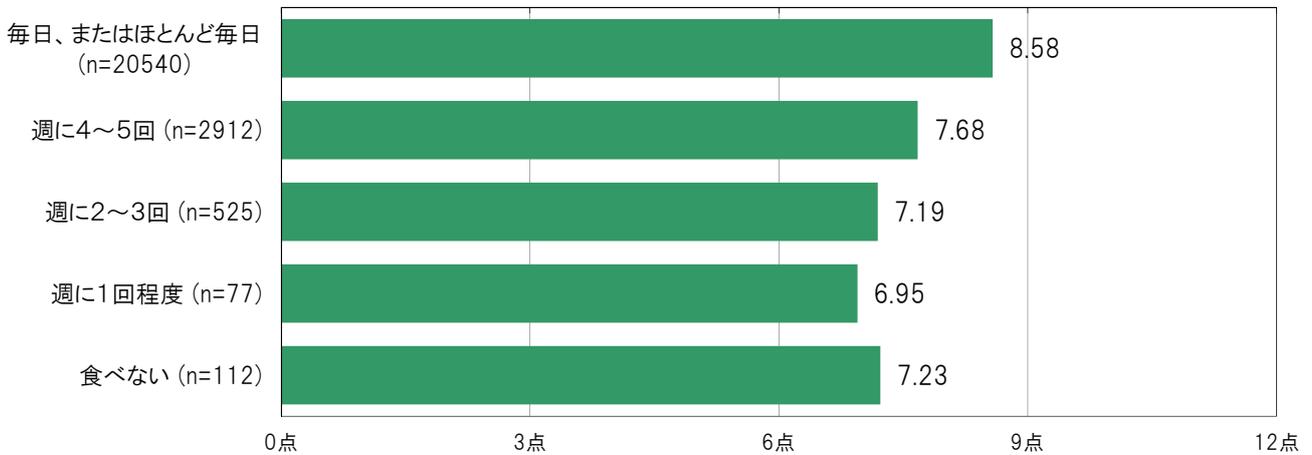
A-227.休日に昼食を食べる頻度別 子どもの自己効力感の合計得点(最大12点)【子ども 問26(1)~(3)】

大阪市鶴見区の休日に昼食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の合計得点は、「毎日、またはほとんど毎日」8.48点、「週に4~5回」7.46点、「週に2~3回」7.00点、「週に1回程度」7.38点、「食べない」8.40点となっている。

〔大阪市鶴見区／休日に昼食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／休日に昼食を食べる頻度別〕

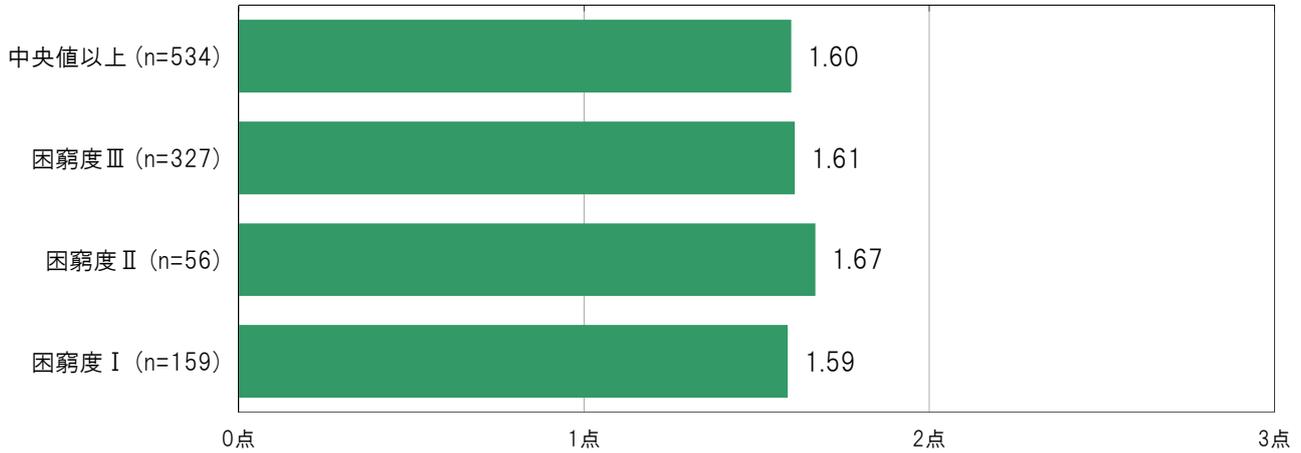


A-228.困窮度別 楽しみにしていることがたくさんある【子ども 問22①】

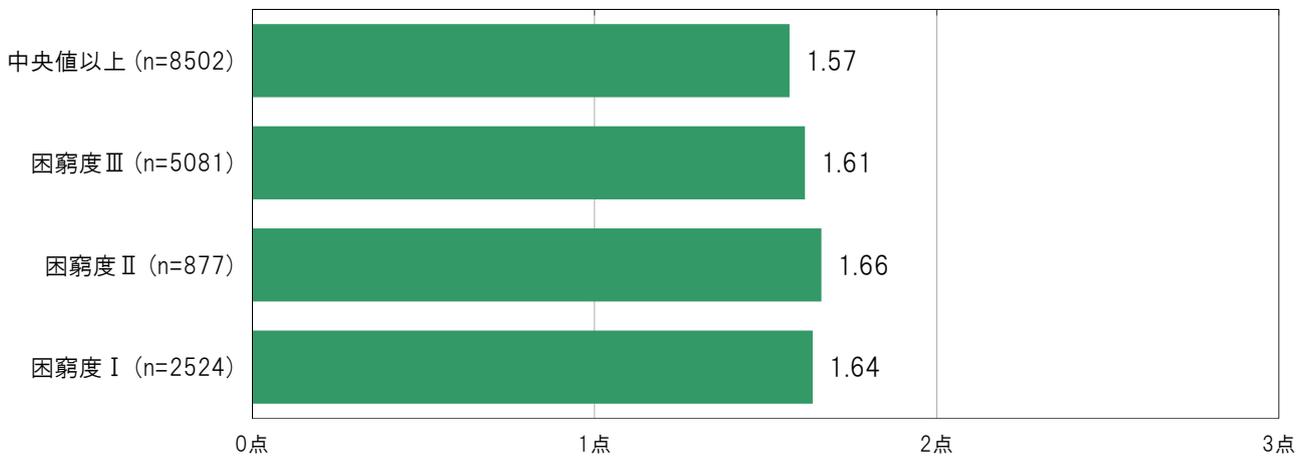
大阪市鶴見区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」1.60点、「困窮度Ⅲ」1.61点、「困窮度Ⅱ」1.67点、「困窮度Ⅰ」1.59点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

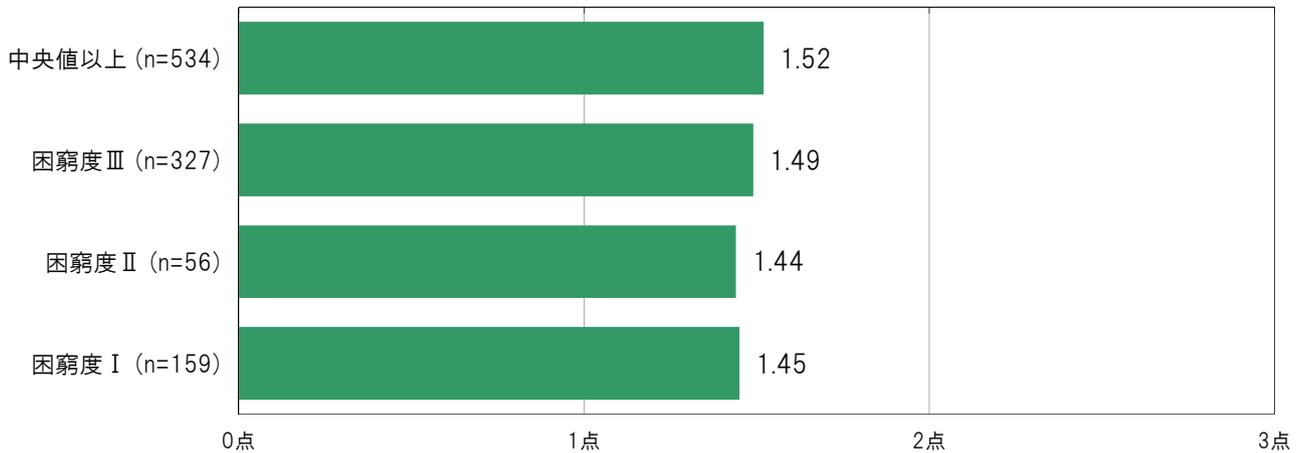


A-229.困窮度別 遊びにでかけるのが好きだ【子ども 問22②】

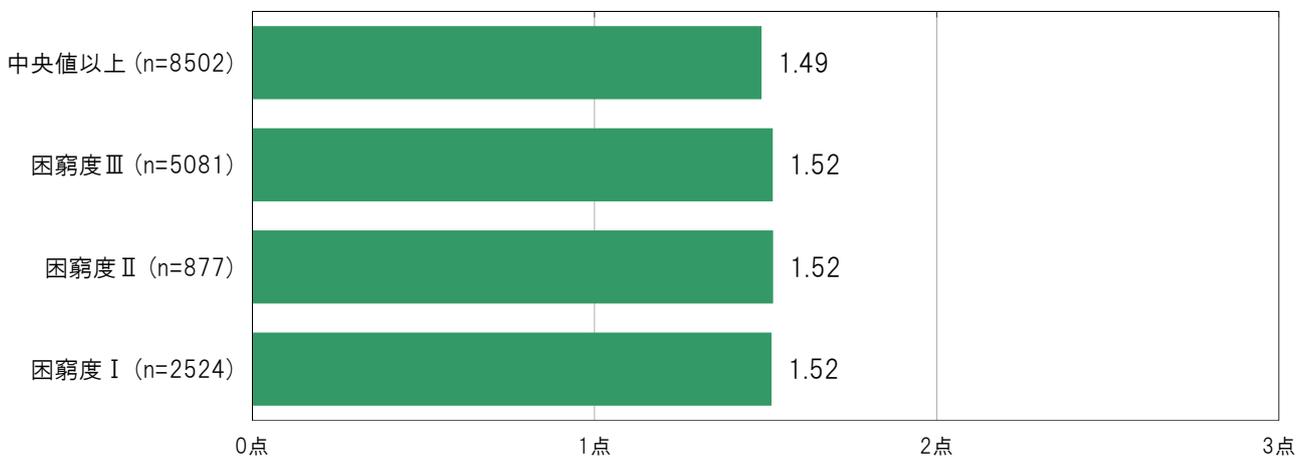
大阪市鶴見区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」1.52点、「困窮度Ⅲ」1.49点、「困窮度Ⅱ」1.44点、「困窮度Ⅰ」1.45点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

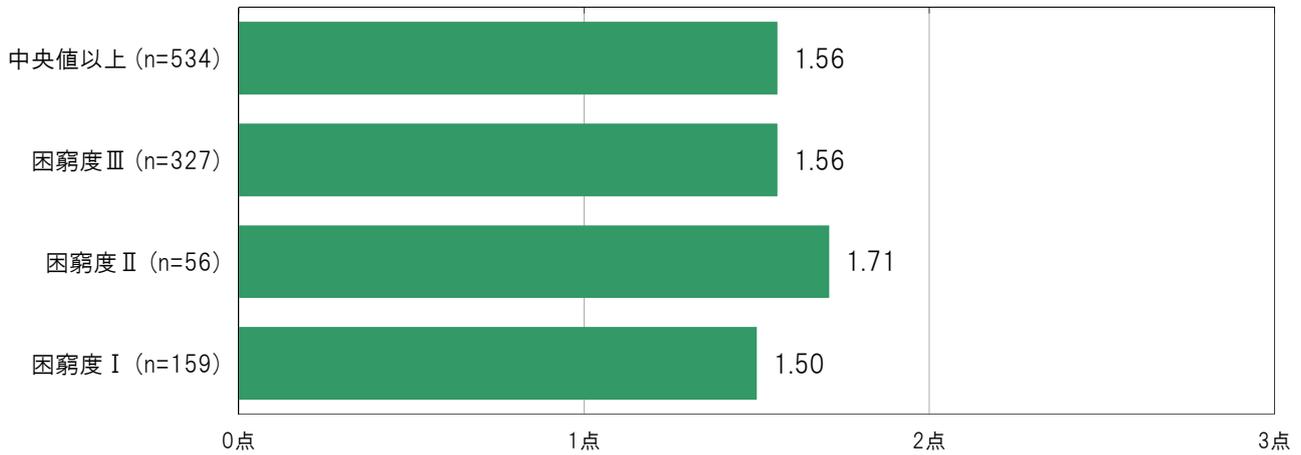


A-230.困窮度別 元気いっばいだ【子ども 問22③】

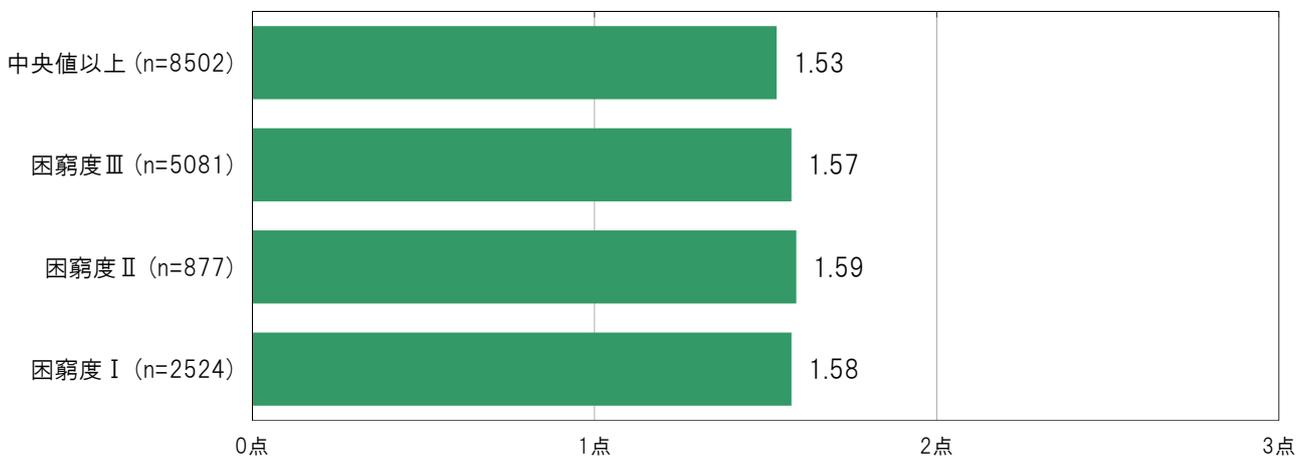
大阪市鶴見区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」1.56点、「困窮度Ⅲ」1.56点、「困窮度Ⅱ」1.71点、「困窮度Ⅰ」1.50点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

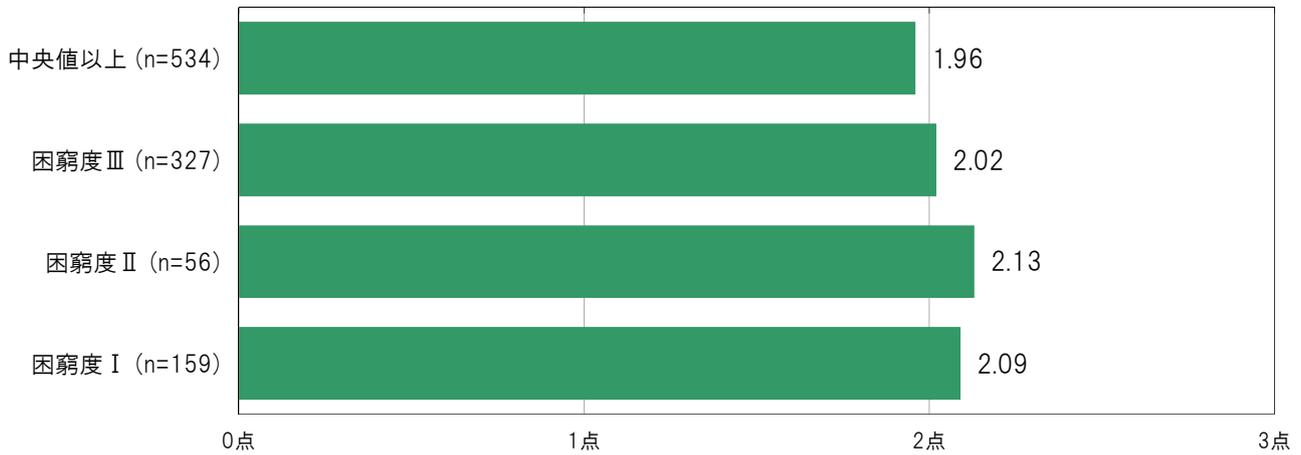


A-231.困窮度別 やろうと思ったことがうまくできる【子ども 問22④】

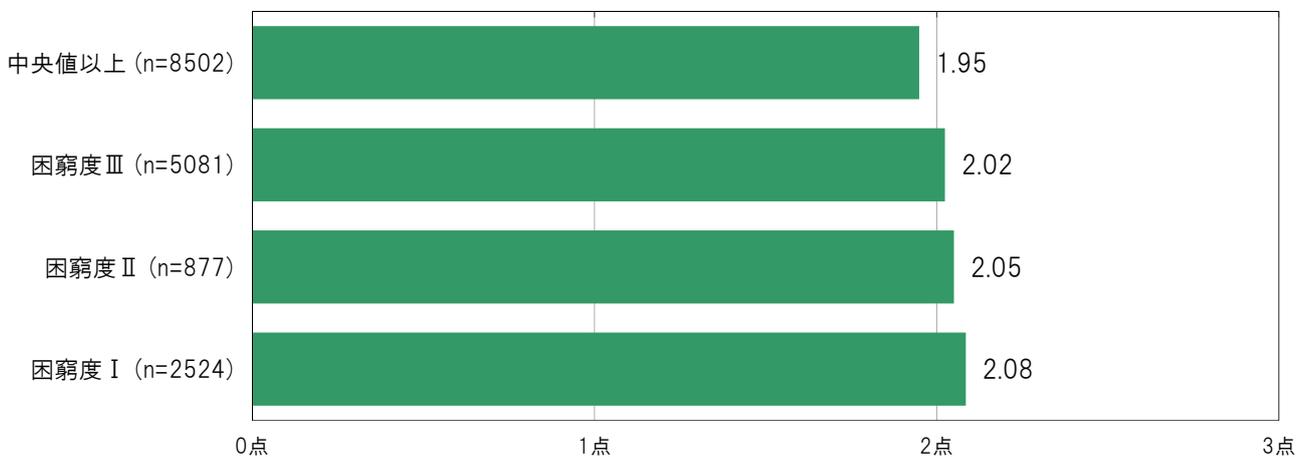
大阪市鶴見区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」1.96点、「困窮度Ⅲ」2.02点、「困窮度Ⅱ」2.13点、「困窮度Ⅰ」2.09点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

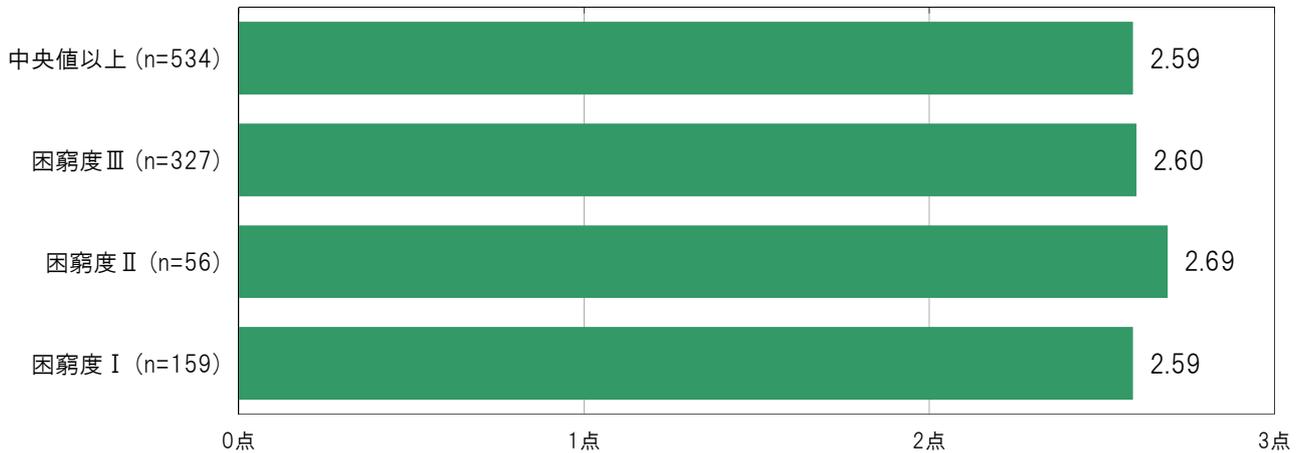


A-232.困窮度別 一人ぼっちのような気がする【子ども 問22⑤】

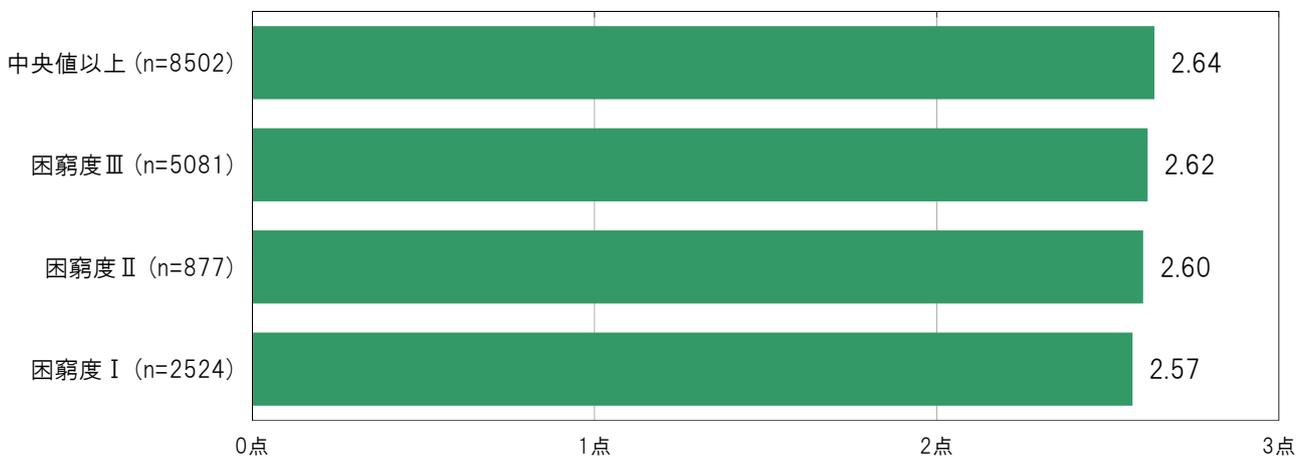
大阪市鶴見区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.59点、「困窮度Ⅲ」2.60点、「困窮度Ⅱ」2.69点、「困窮度Ⅰ」2.59点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

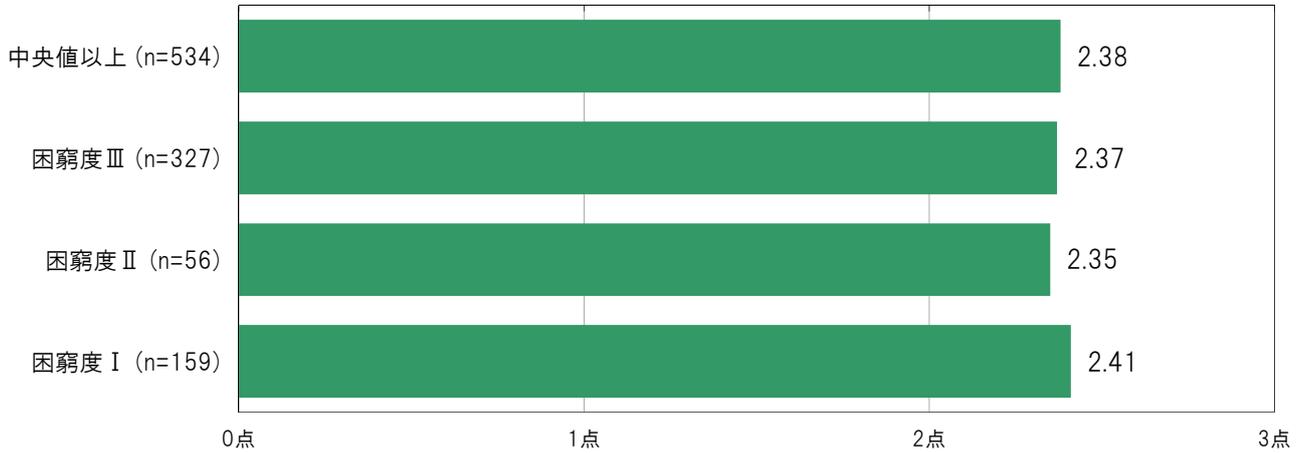


A-233.困窮度別 不安な気持ちになる【子ども 問22⑥】

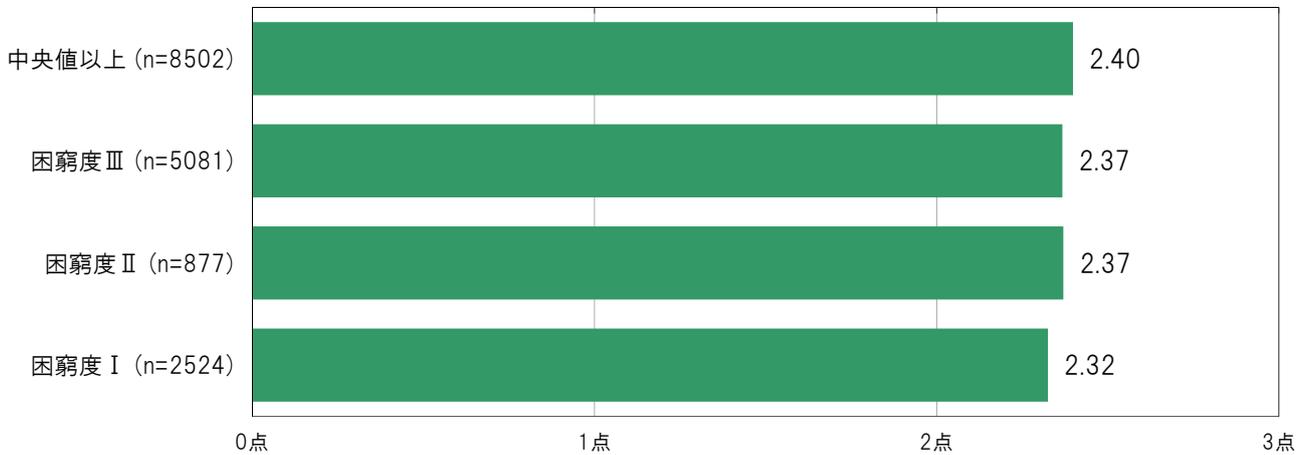
大阪市鶴見区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.38点、「困窮度Ⅲ」2.37点、「困窮度Ⅱ」2.35点、「困窮度Ⅰ」2.41点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

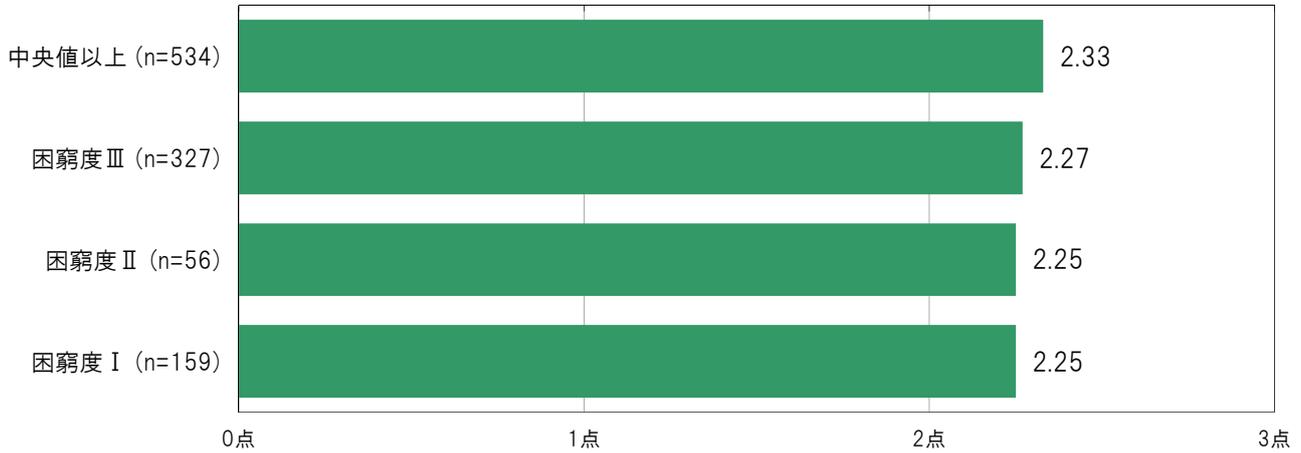


A-234.困窮度別 まわりが気になる【子ども 問22⑦】

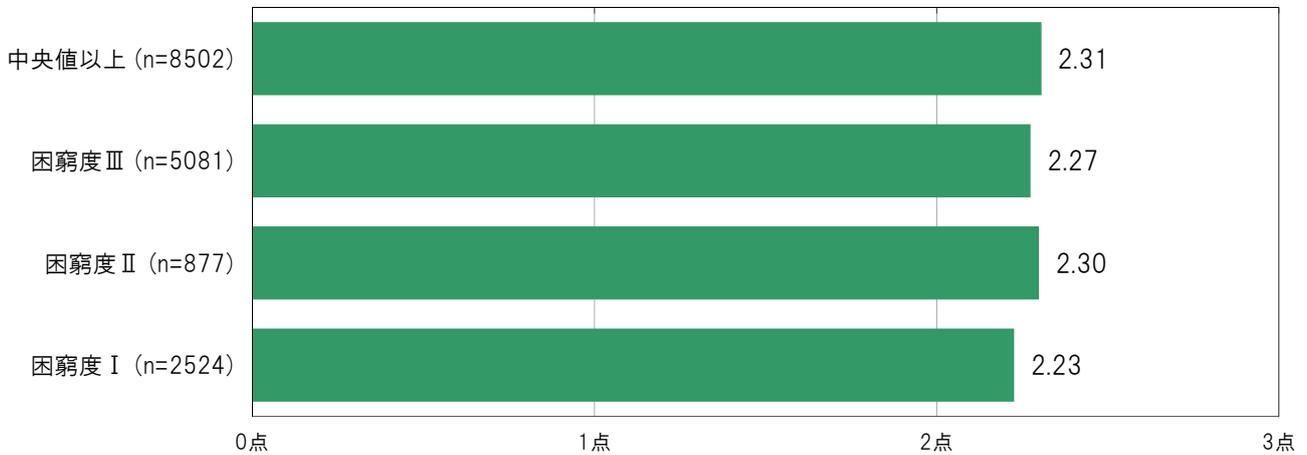
大阪市鶴見区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.33点、「困窮度Ⅲ」2.27点、「困窮度Ⅱ」2.25点、「困窮度Ⅰ」2.25点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

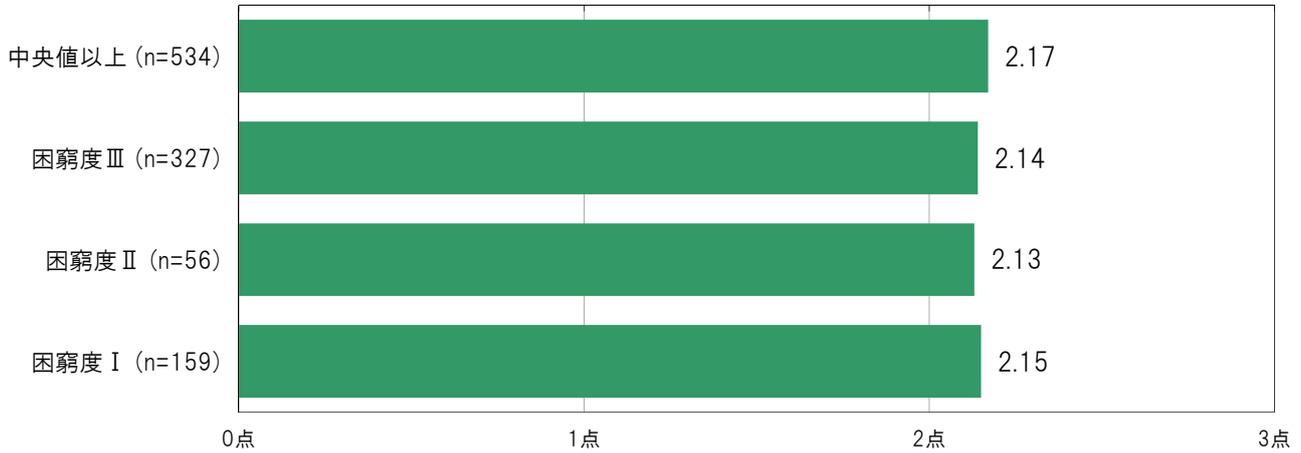


A-235.困窮度別 やる気が起きない〔子ども 問22⑧〕

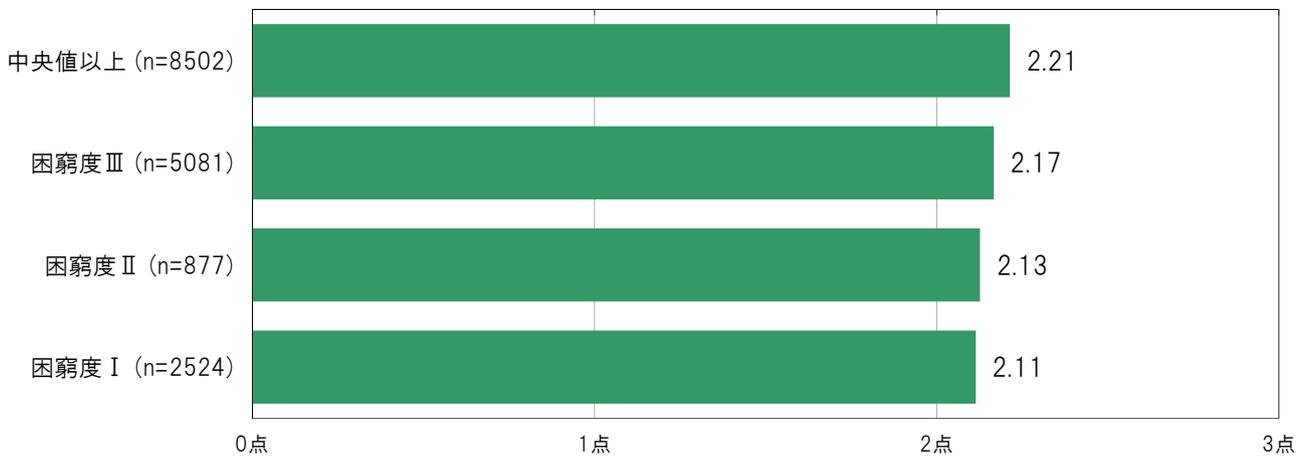
大阪市鶴見区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.17点、「困窮度Ⅲ」2.14点、「困窮度Ⅱ」2.13点、「困窮度Ⅰ」2.15点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

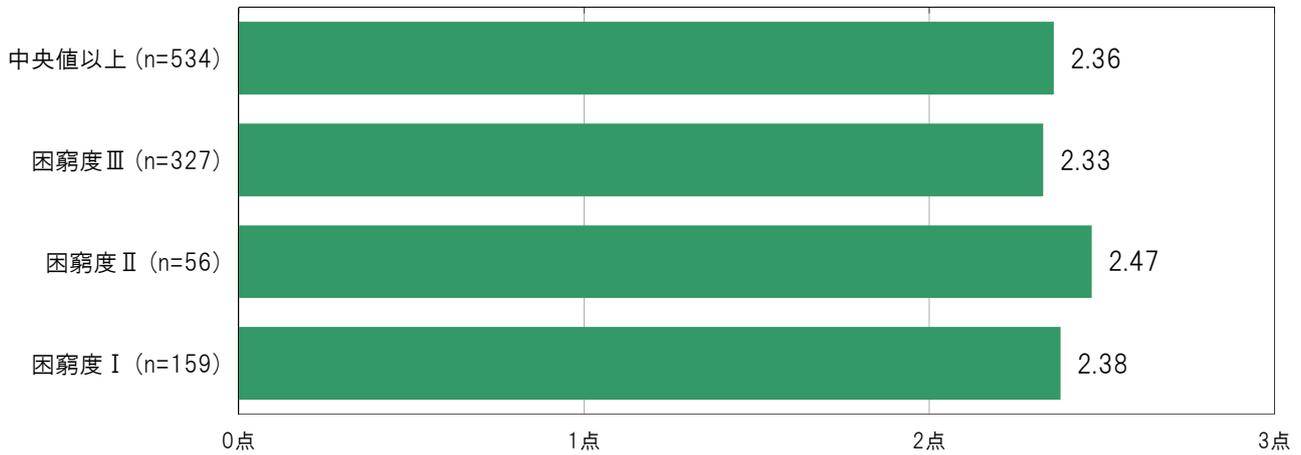


A-236.困窮度別 いろいろする【子ども 問22㊹】

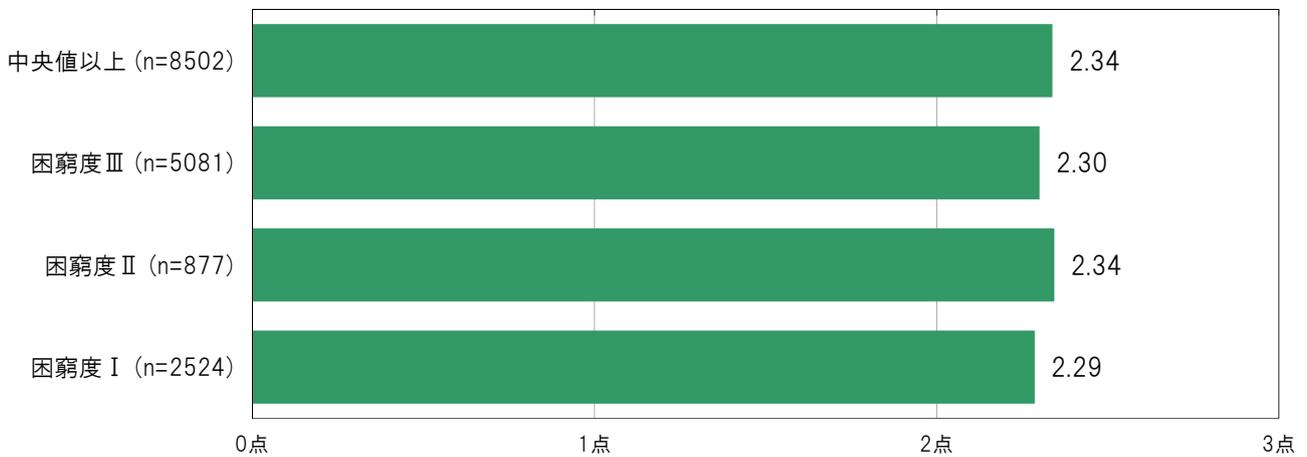
大阪市鶴見区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.36点、「困窮度Ⅲ」2.33点、「困窮度Ⅱ」2.47点、「困窮度Ⅰ」2.38点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

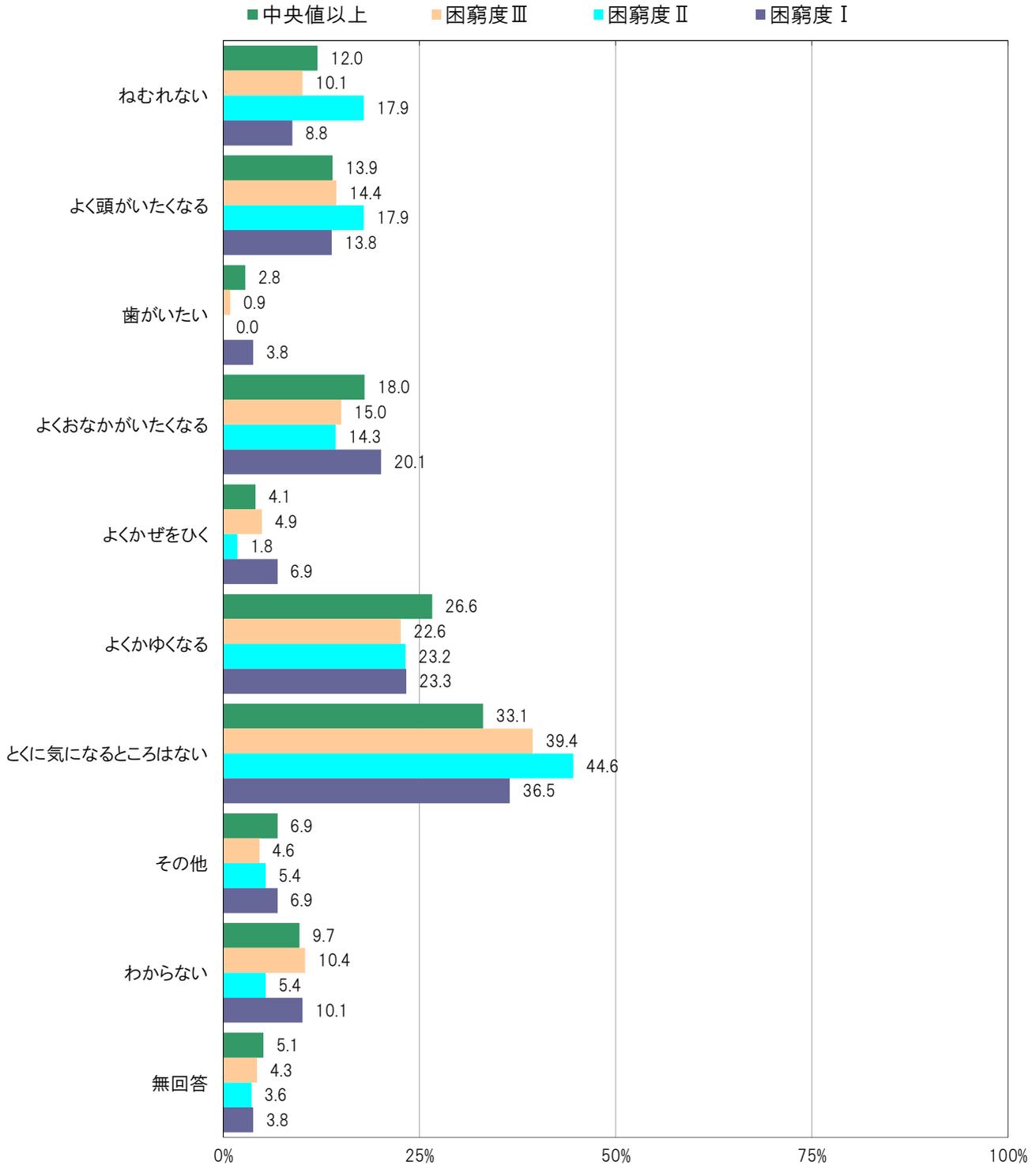


A-237.困窮度別 自分の体の状態で気になること【子ども 問23】

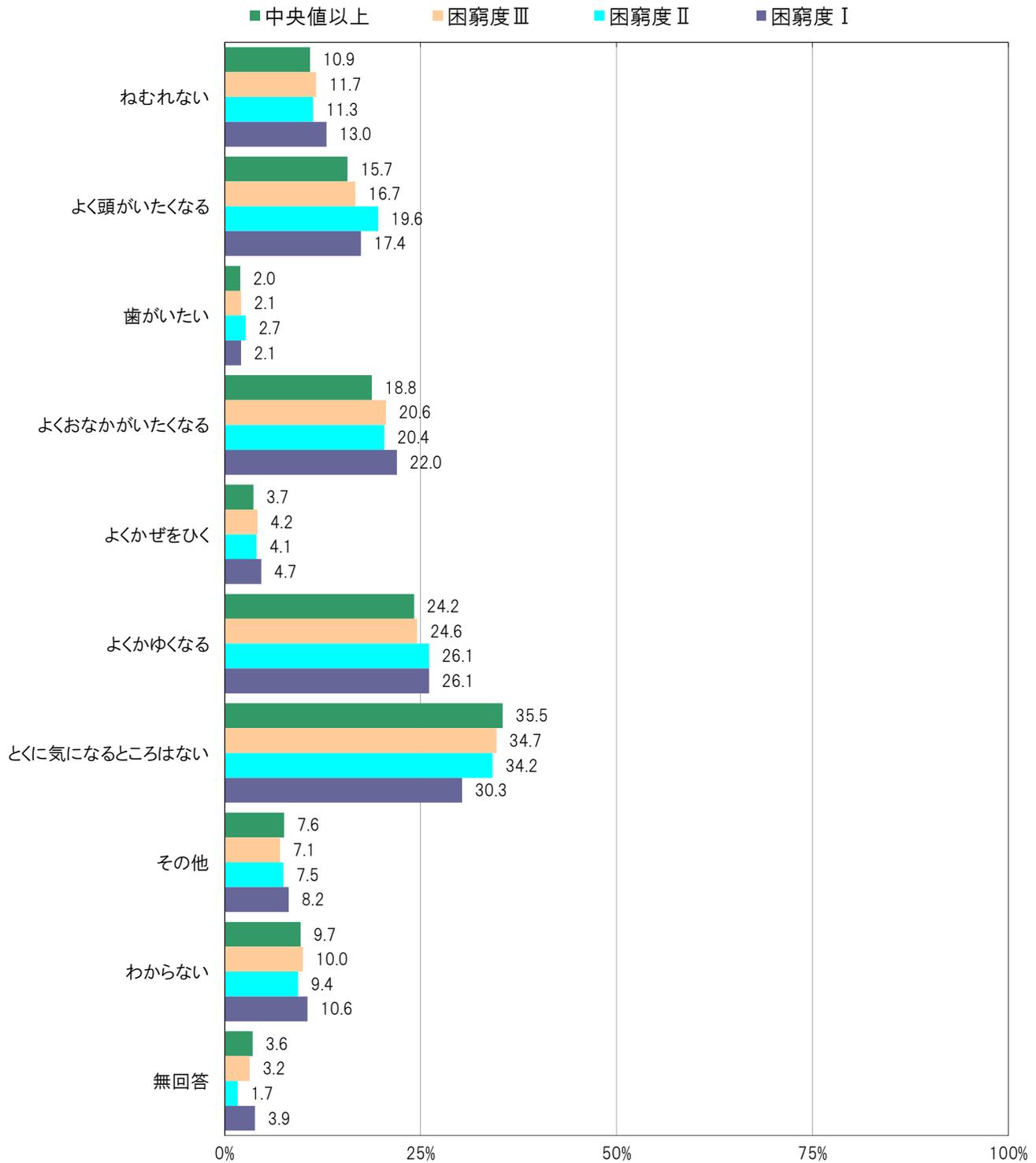
大阪市鶴見区の困窮度Ⅰ群においては、「とくに気になるところはない」36.5%、「よくかゆくなる」23.3%、「よくおなかがいたくなる」20.1%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区の中央値以上群においては、「とくに気になるところはない」33.1%、「よくかゆくなる」26.6%、「よくおなかがいたくなる」18.0%の順に高くなっている。

〔大阪市鶴見区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

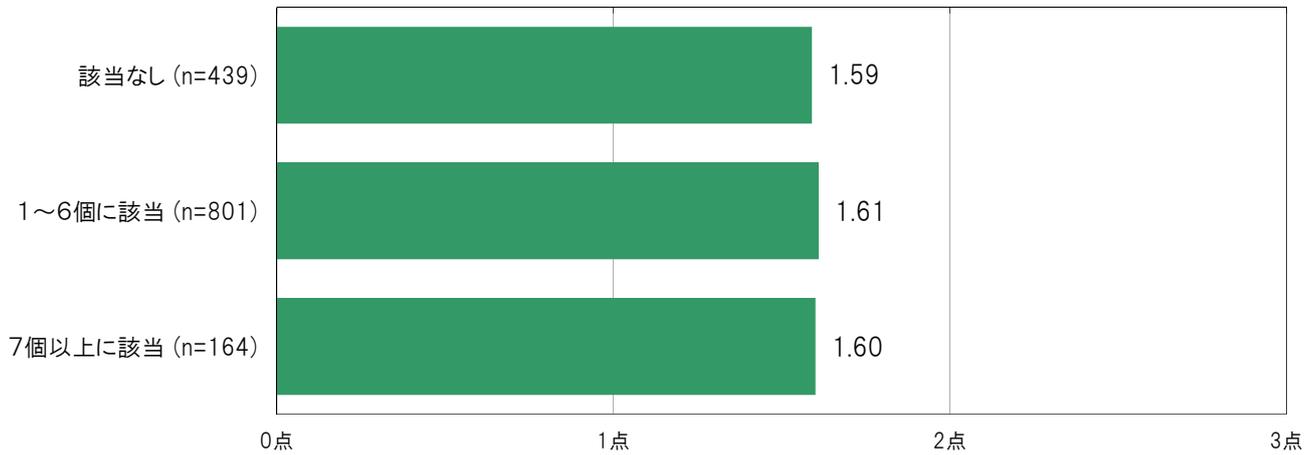


A-238.はく奪指標別 楽しみにしていることがたくさんある【子ども 問22①】

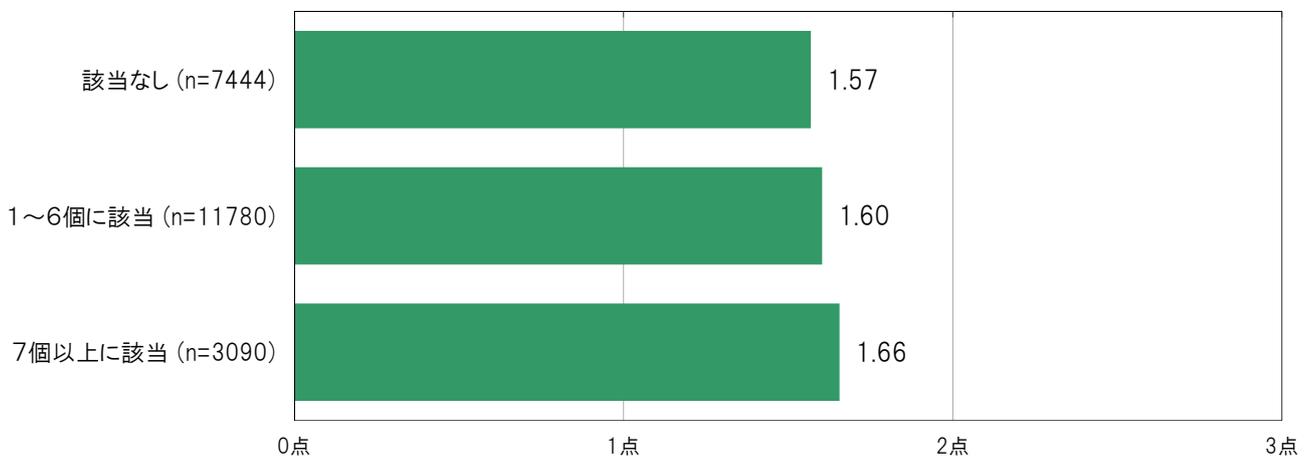
大阪市鶴見区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」1.59点、「1～6個に該当」1.61点、「7個以上に該当」1.60点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

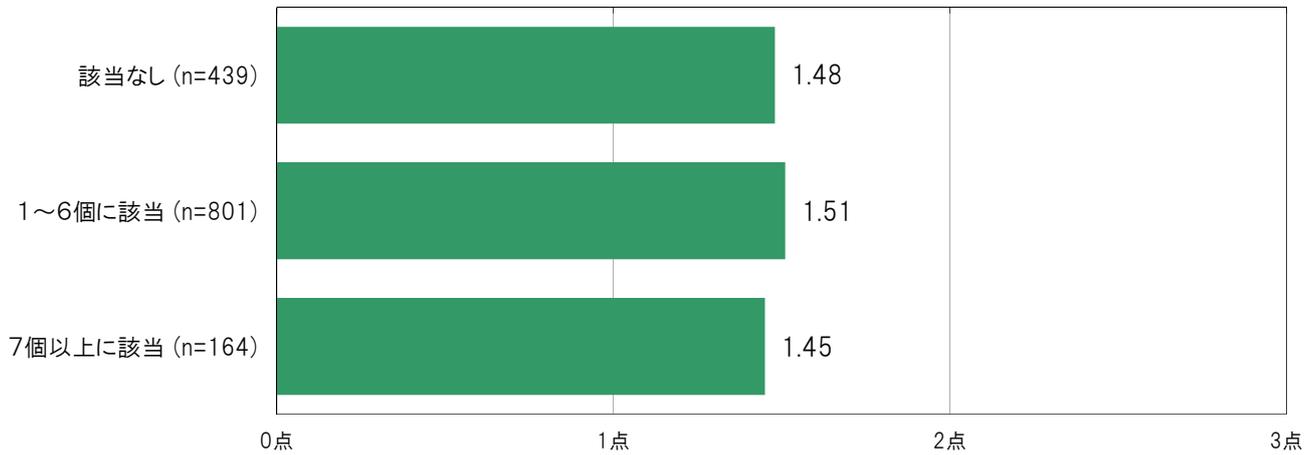


A-239.はく奪指標別 遊びにでかけるのが好きだ【子ども 問22②】

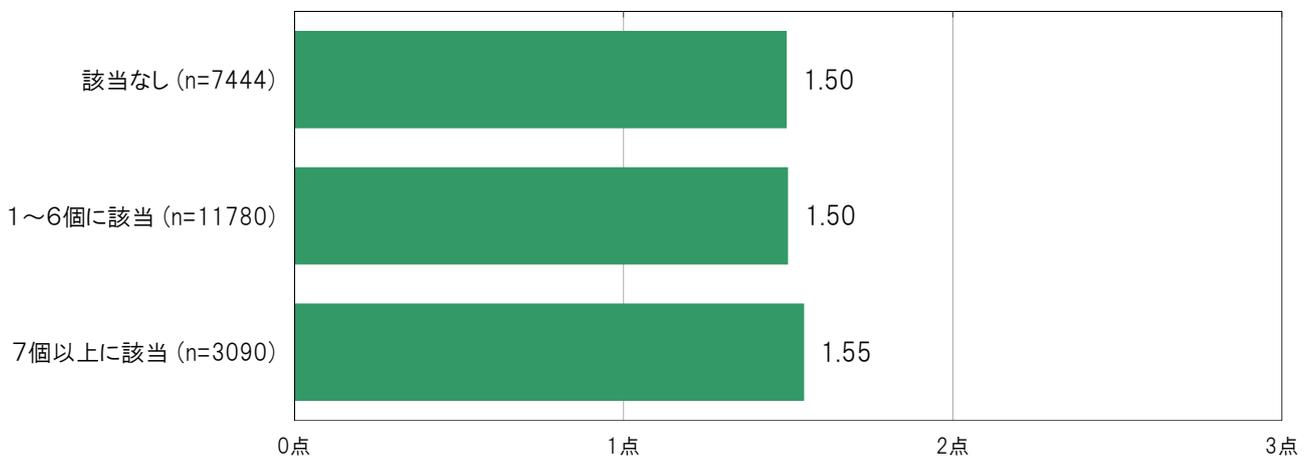
大阪市鶴見区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」1.48点、「1～6個に該当」1.51点、「7個以上に該当」1.45点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

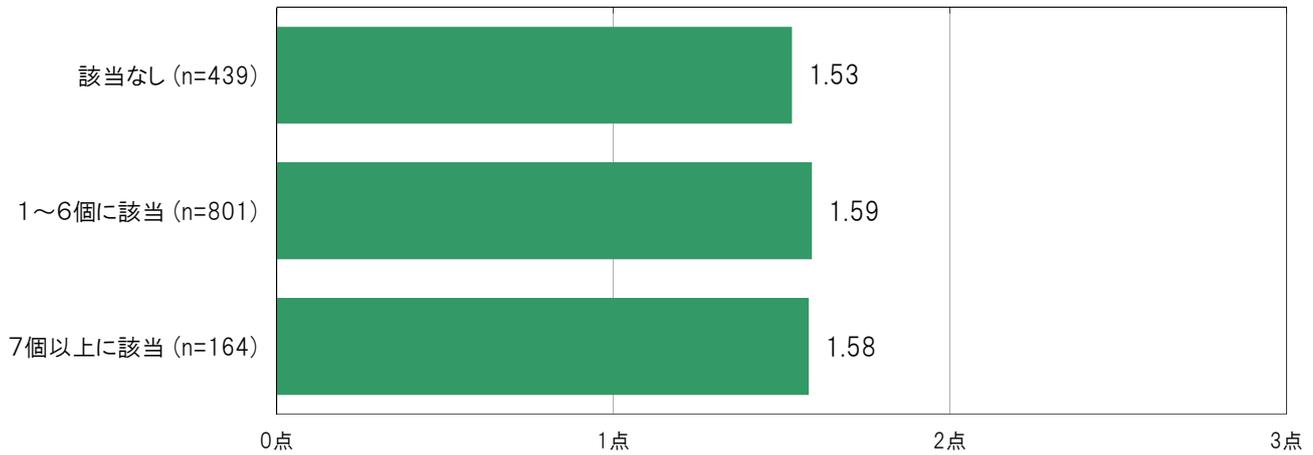


A-240.はく奪指標別 元気いっぱい【子ども 問22③】

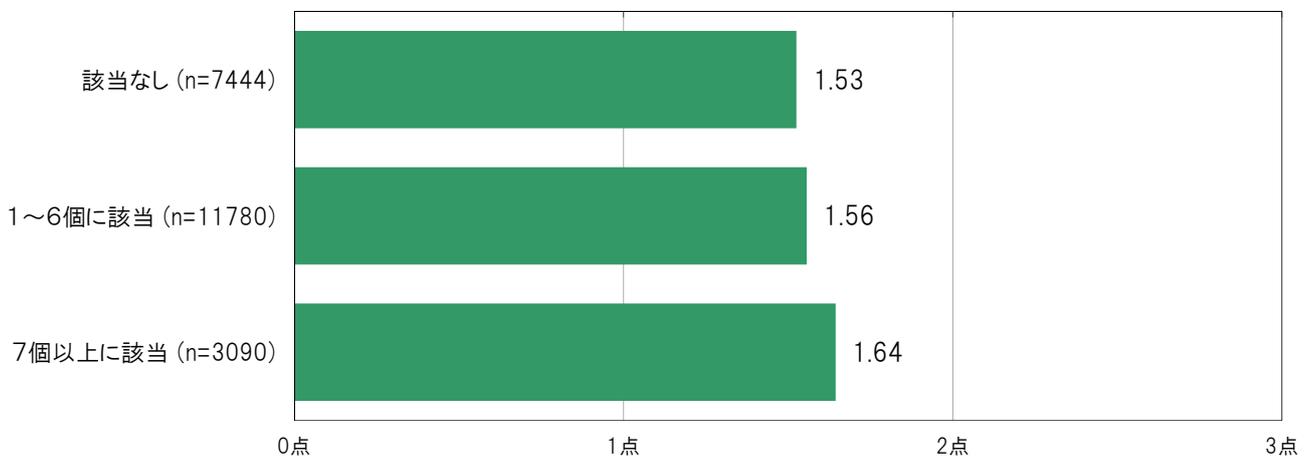
大阪市鶴見区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」1.53点、「1～6個に該当」1.59点、「7個以上に該当」1.58点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

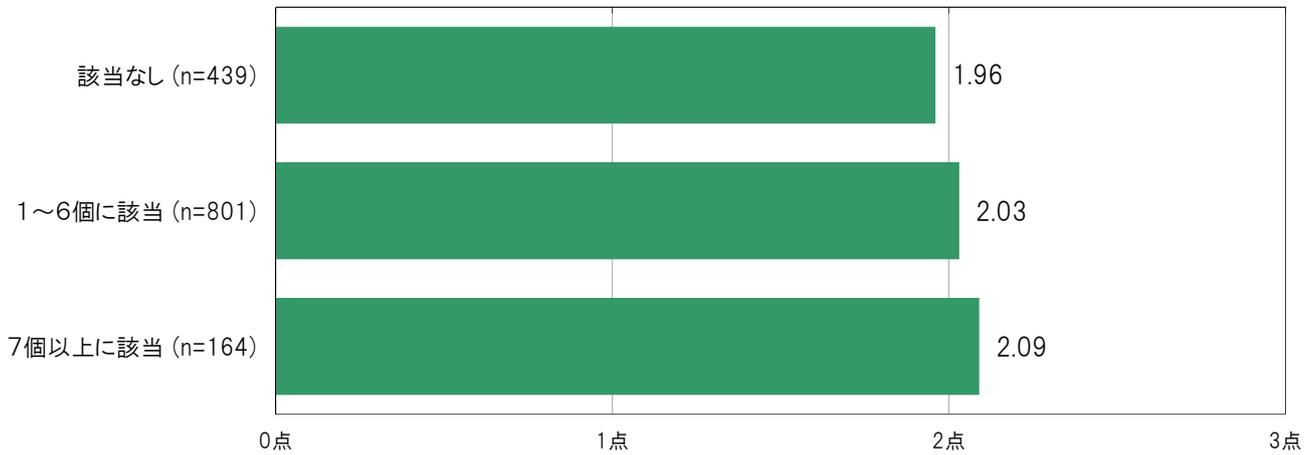


A-241.はく奪指標別 やろうと思ったことがうまくできる【子ども 問22④】

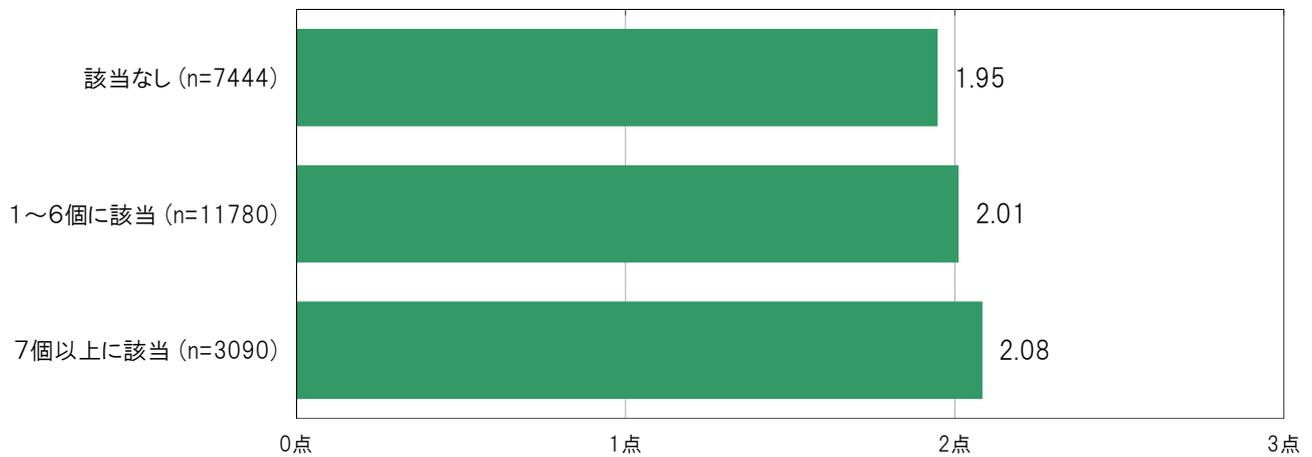
大阪市鶴見区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」1.96点、「1～6個に該当」2.03点、「7個以上に該当」2.09点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

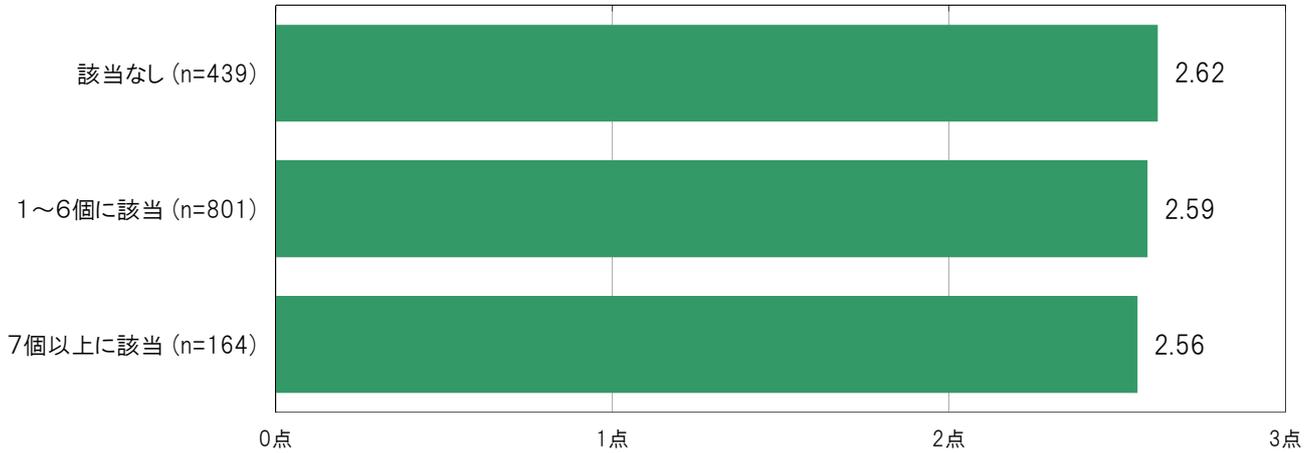


A-242.はく奪指標別 一人ぼっちのような気がする【子ども 問22⑤】

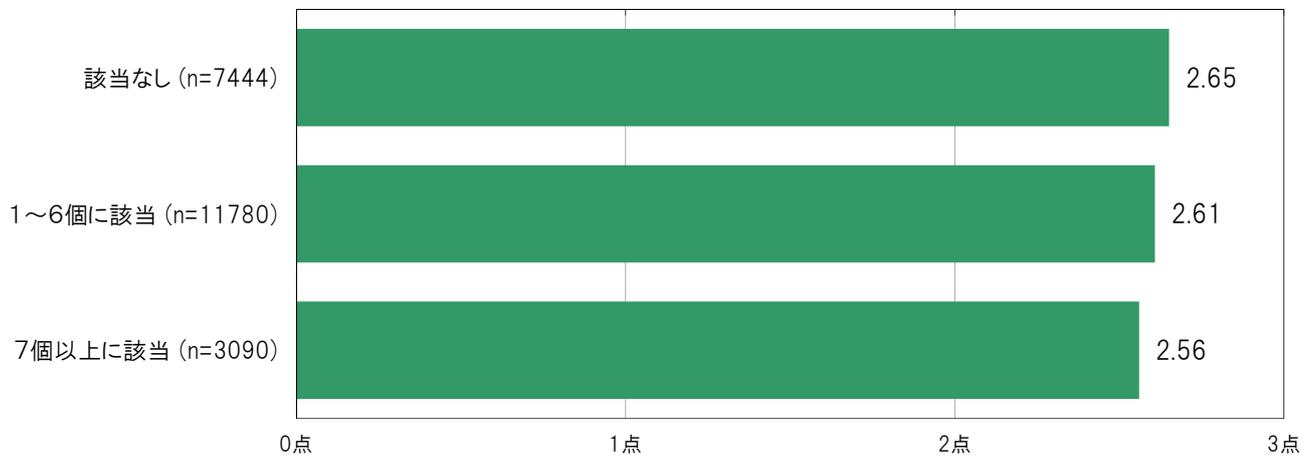
大阪市鶴見区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.62点、「1～6個に該当」2.59点、「7個以上に該当」2.56点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

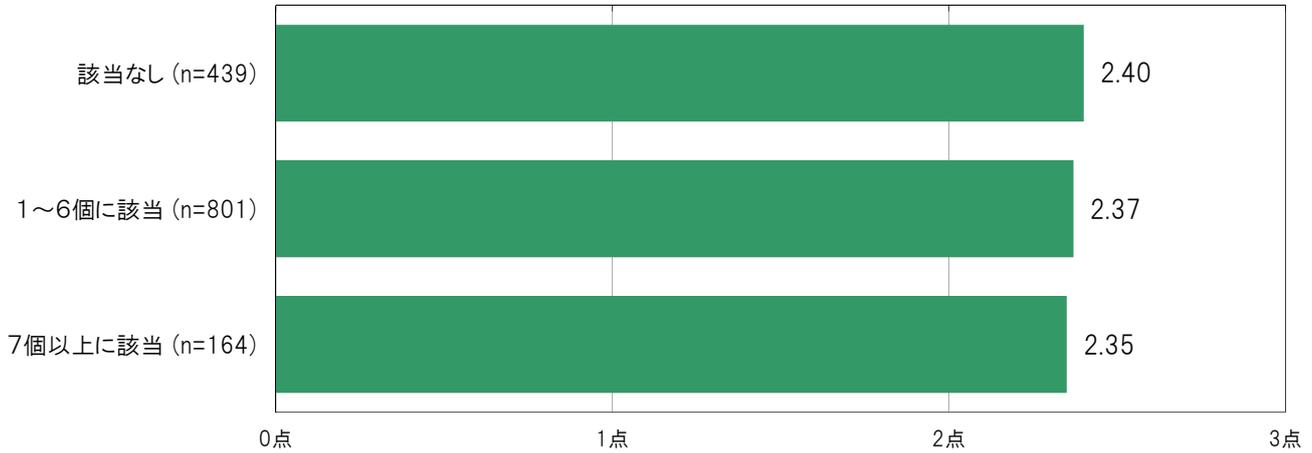


A-243.はく奪指標別 不安な気持ちになる【子ども 問22⑥】

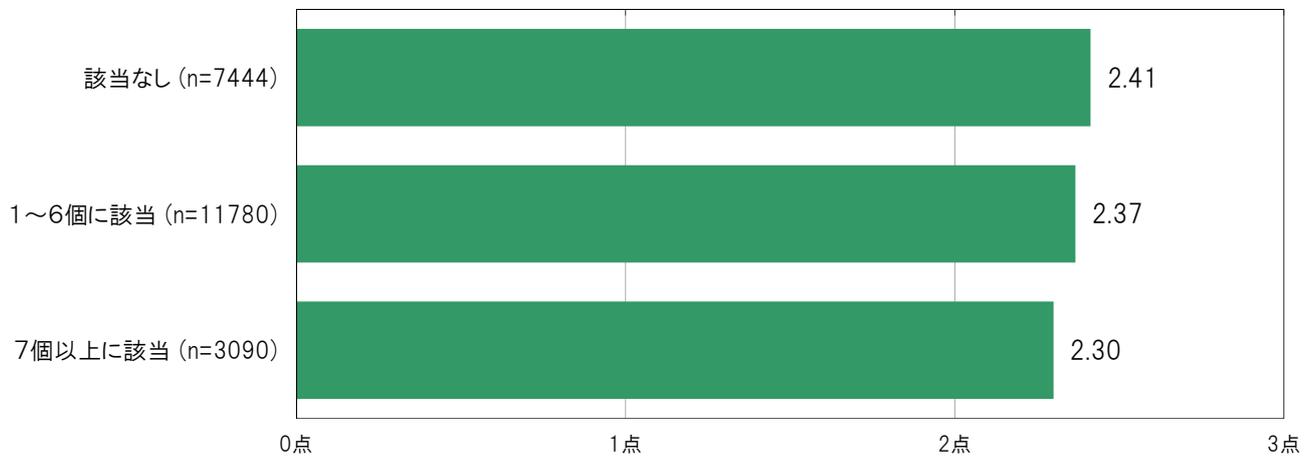
大阪市鶴見区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.40点、「1～6個に該当」2.37点、「7個以上に該当」2.35点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

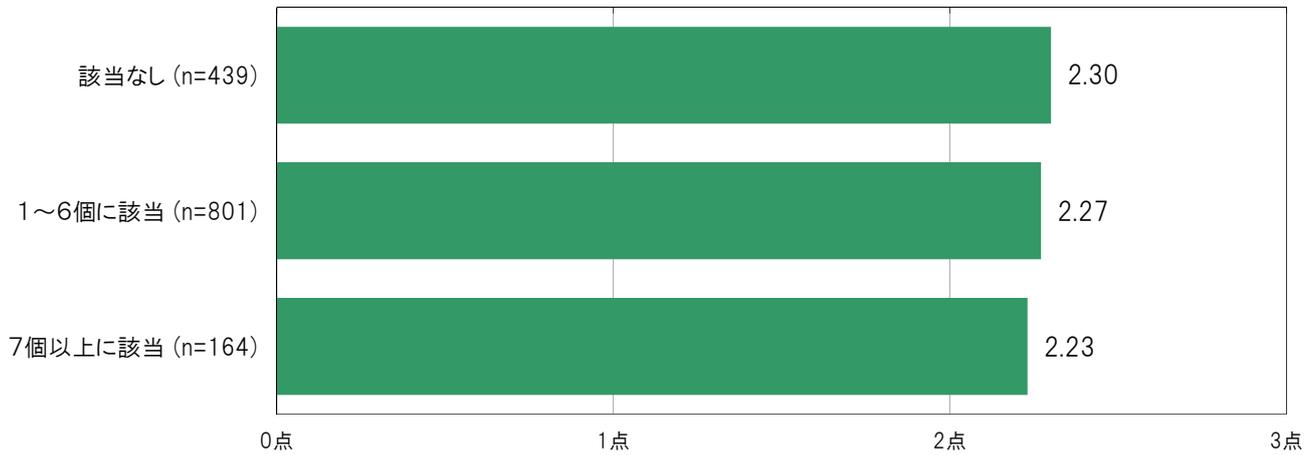


A-244.はく奪指標別 まわりが気になる【子ども 問22⑦】

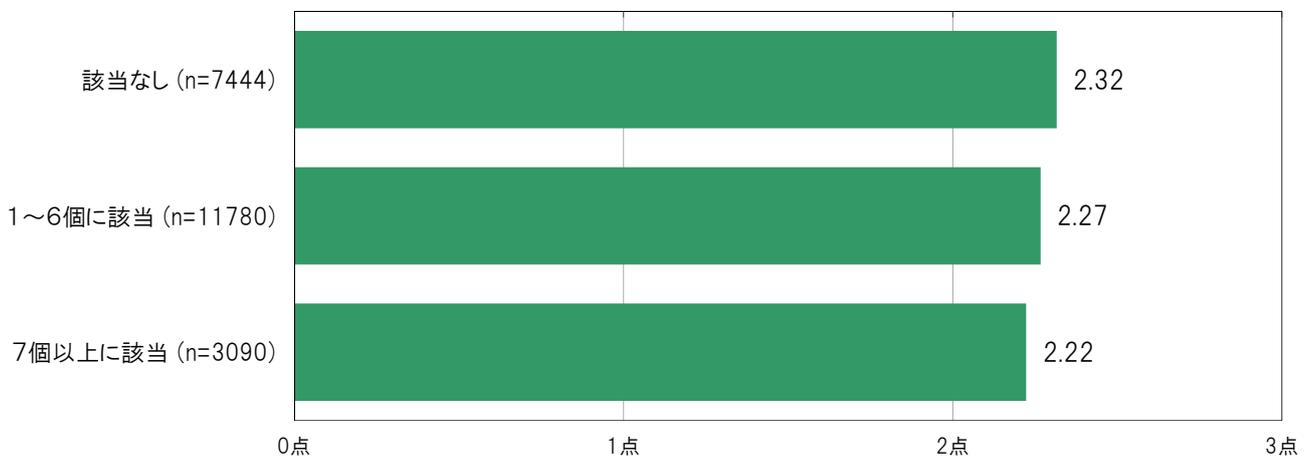
大阪市鶴見区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.30点、「1～6個に該当」2.27点、「7個以上に該当」2.23点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

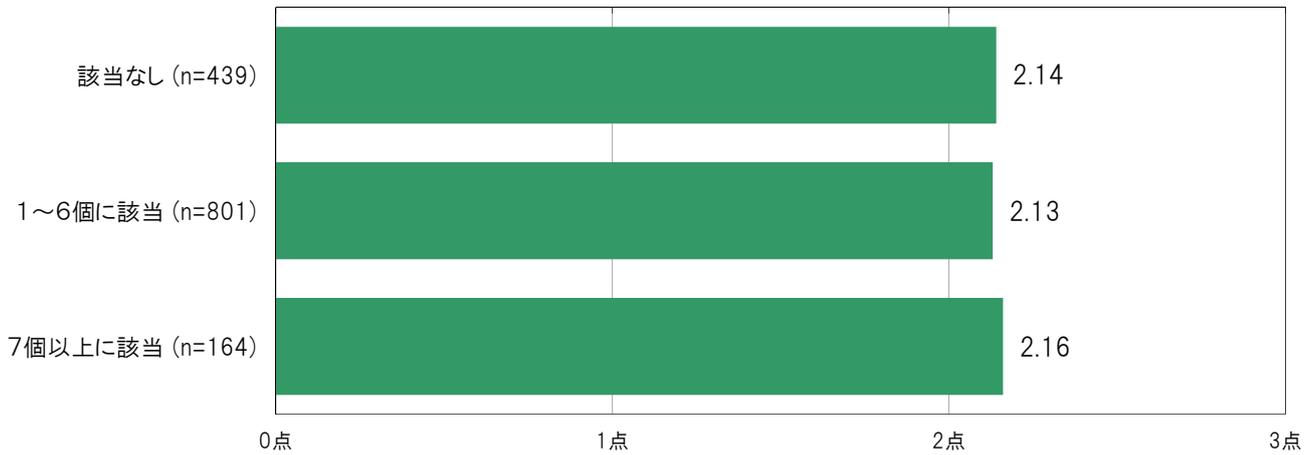


A-245.はく奪指標別 やる気が起きない【子ども 問22⑧】

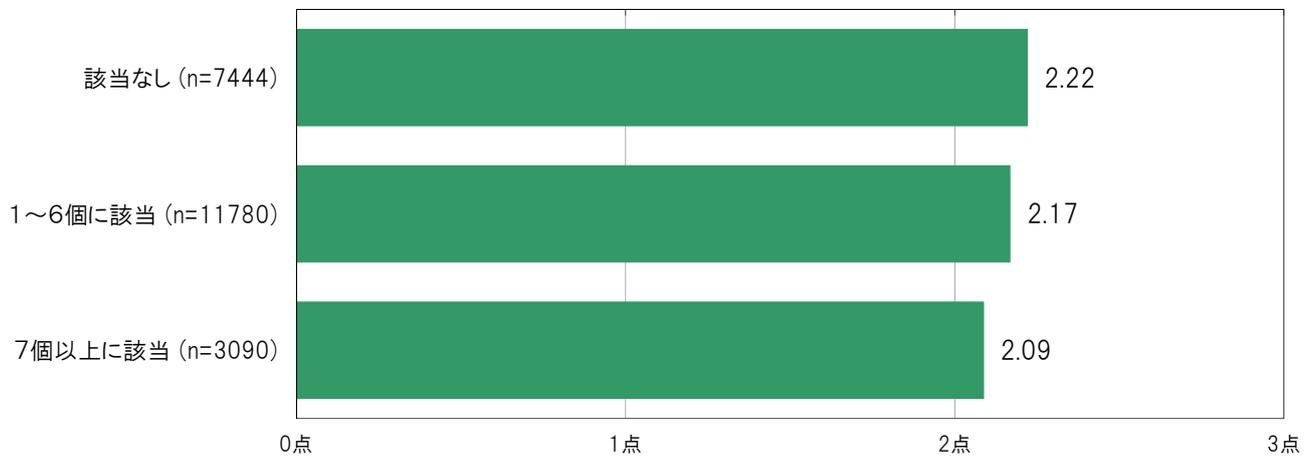
大阪市鶴見区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.14点、「1～6個に該当」2.13点、「7個以上に該当」2.16点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

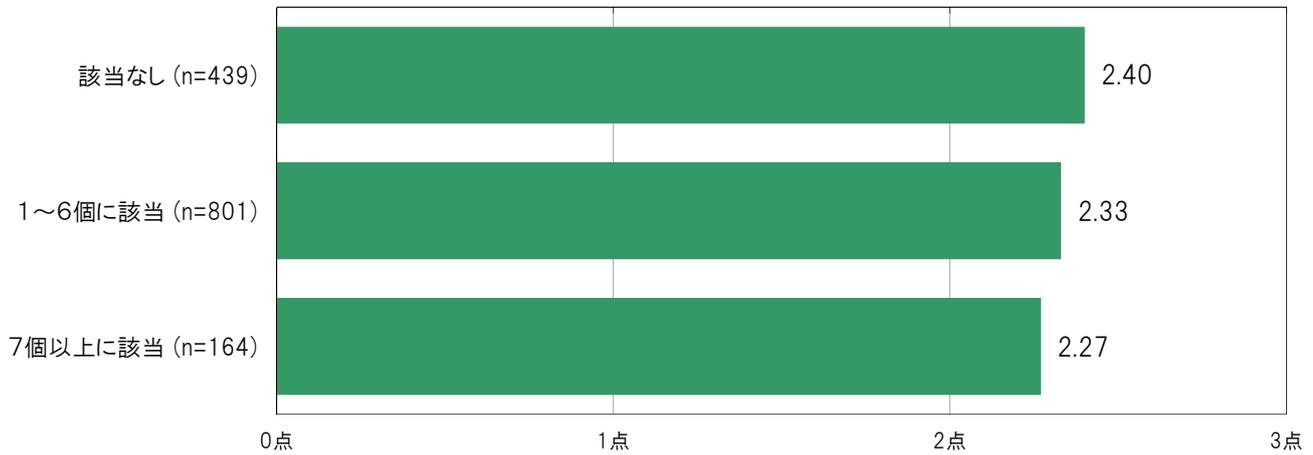


A-246.はく奪指標別 いろいろする【子ども 問22㉑】

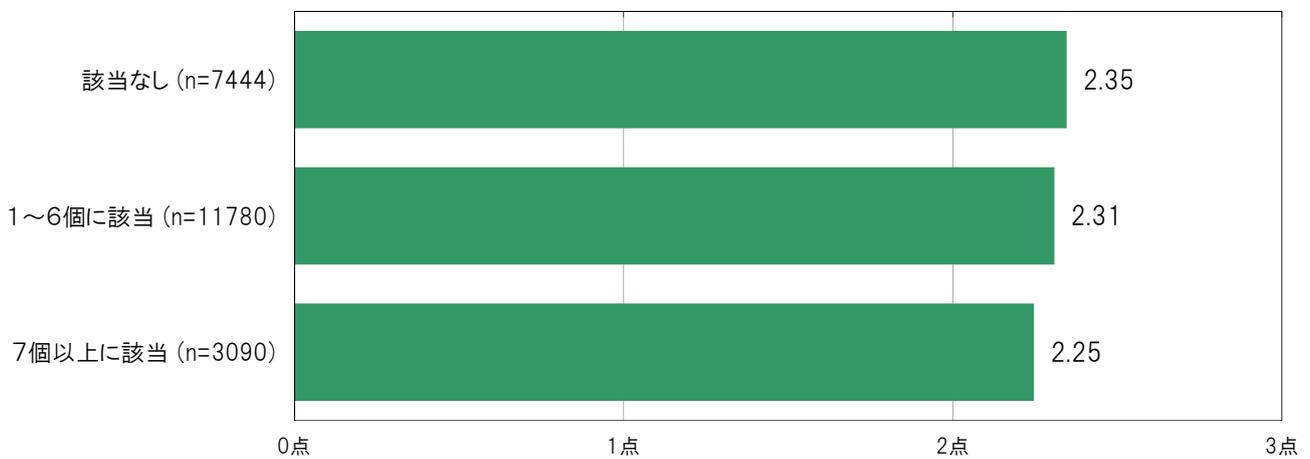
大阪市鶴見区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.40点、「1～6個に該当」2.33点、「7個以上に該当」2.27点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市鶴見区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

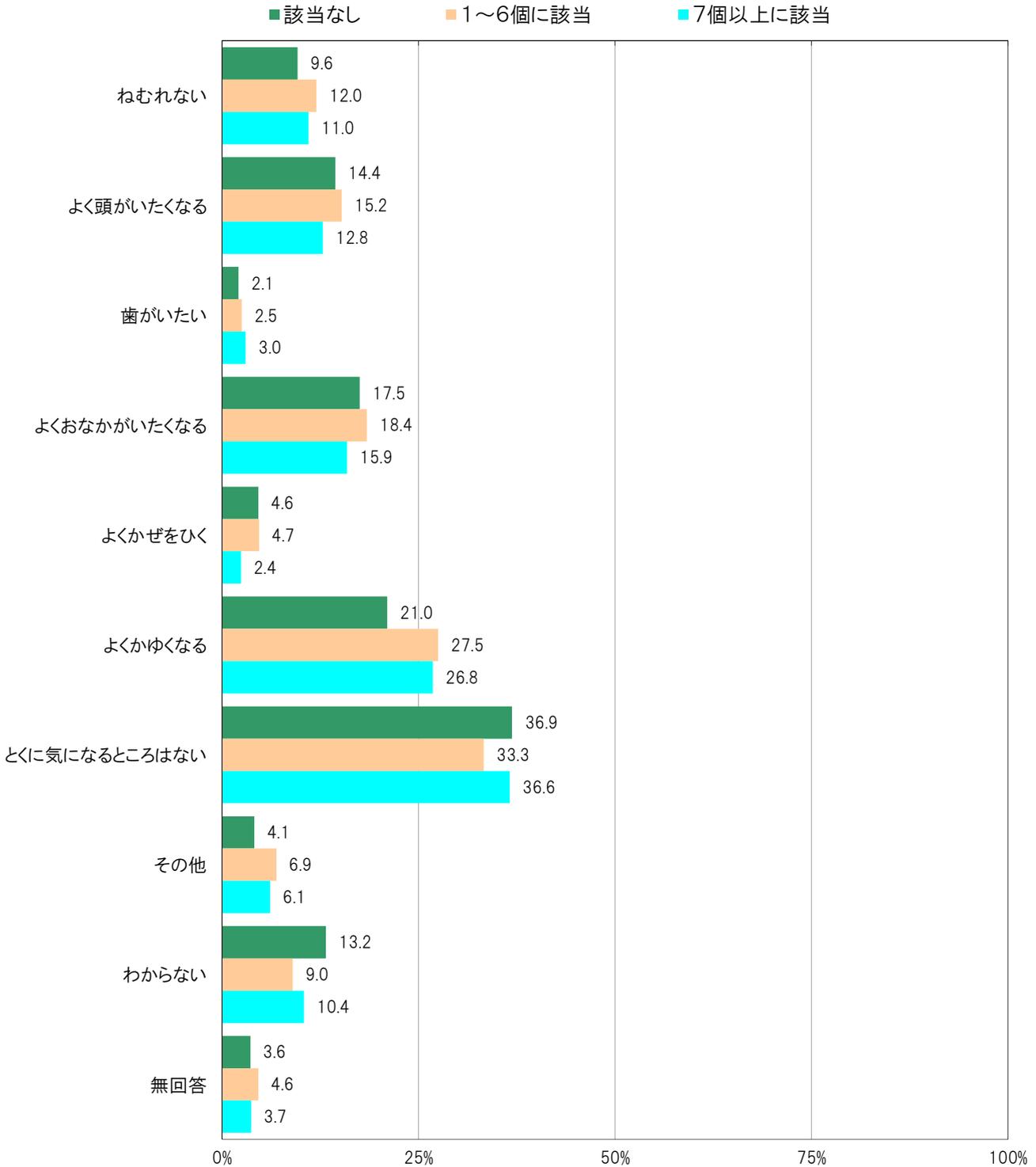


A-247.はく奪指標別 自分の体の状態で気になること〔子ども 問23〕

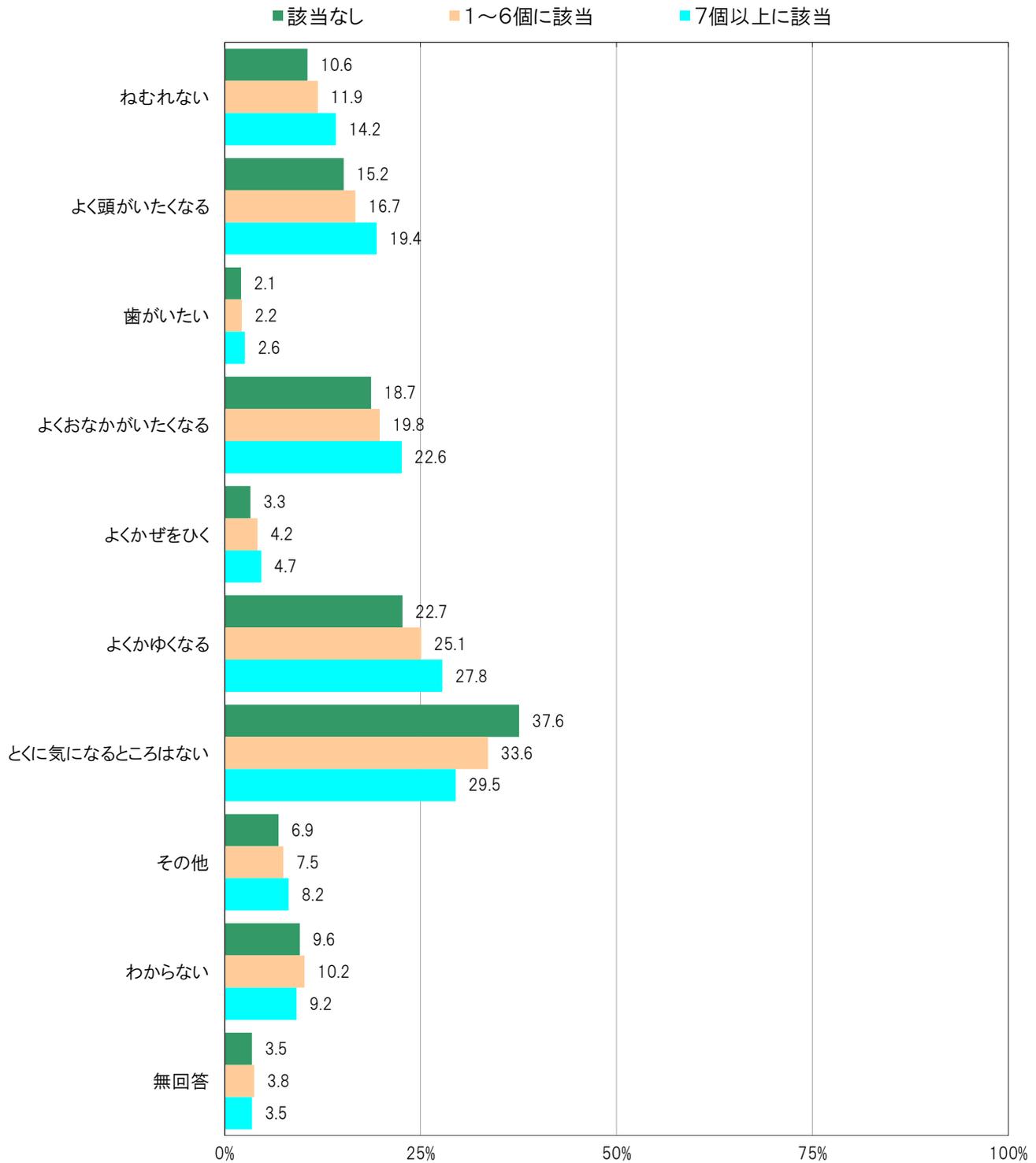
大阪市鶴見区のはく奪指標／1～6個に該当群においては、「とくに気になるところはない」33.3%、「よくかゆくなる」27.5%、「よくおなかがいたくなる」18.4%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区のはく奪指標／該当なし群においては、「とくに気になるところはない」36.9%、「よくかゆくなる」21.0%、「よくおなかがいたくなる」17.5%の順に高くなっている。

〔大阪市鶴見区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

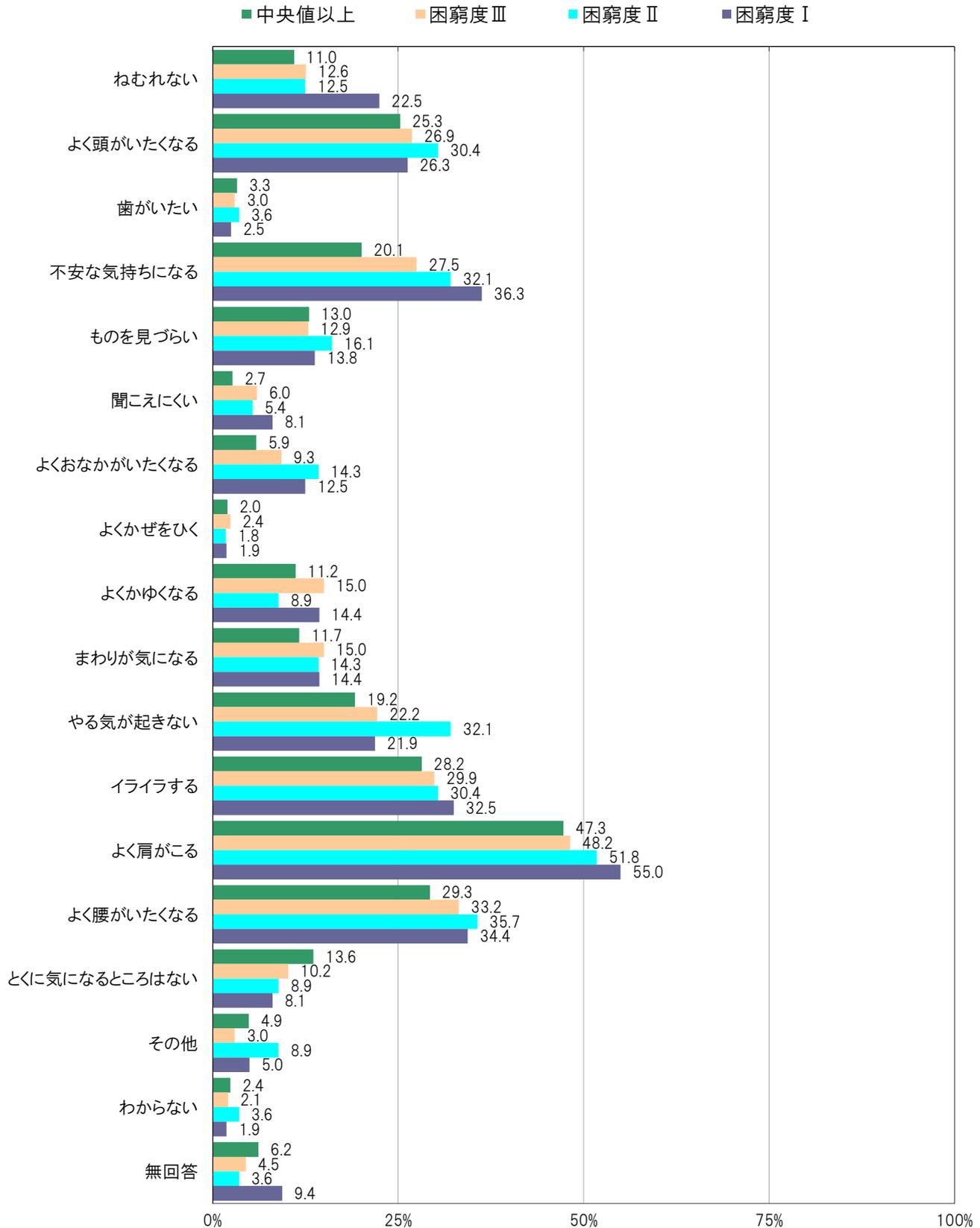


A-248.困窮度別にみた自分の体や気持ちについて気になること【保護者 問23】

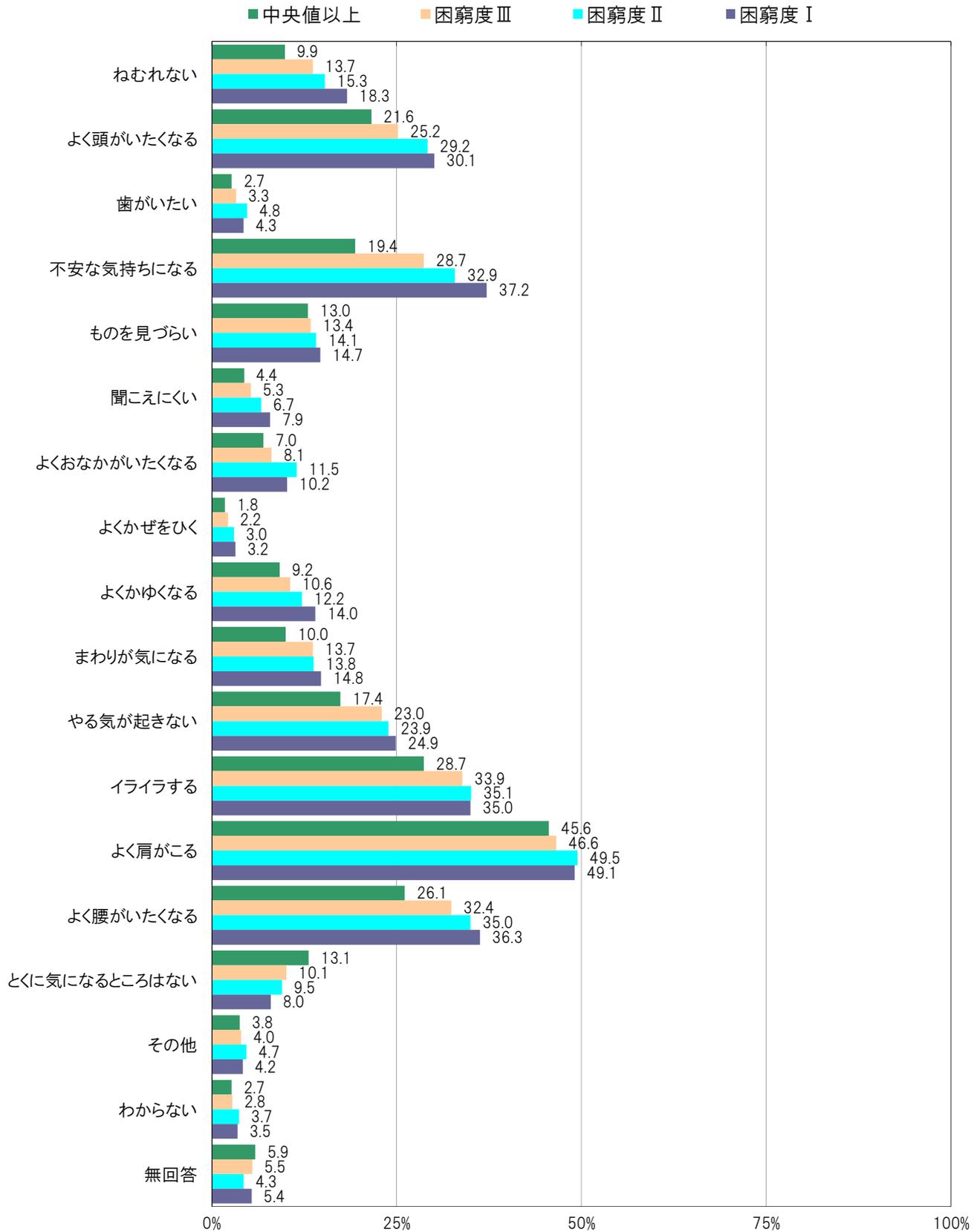
大阪市鶴見区の困窮度Ⅰ群においては、「よく肩がこる」55.0%、「不安な気持ちになる」36.3%、「よく腰がいたくなる」34.4%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区の中央値以上群においては、「よく肩がこる」47.3%、「よく腰がいたくなる」29.3%、「イライラする」28.2%の順に高くなっている。

〔大阪市鶴見区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

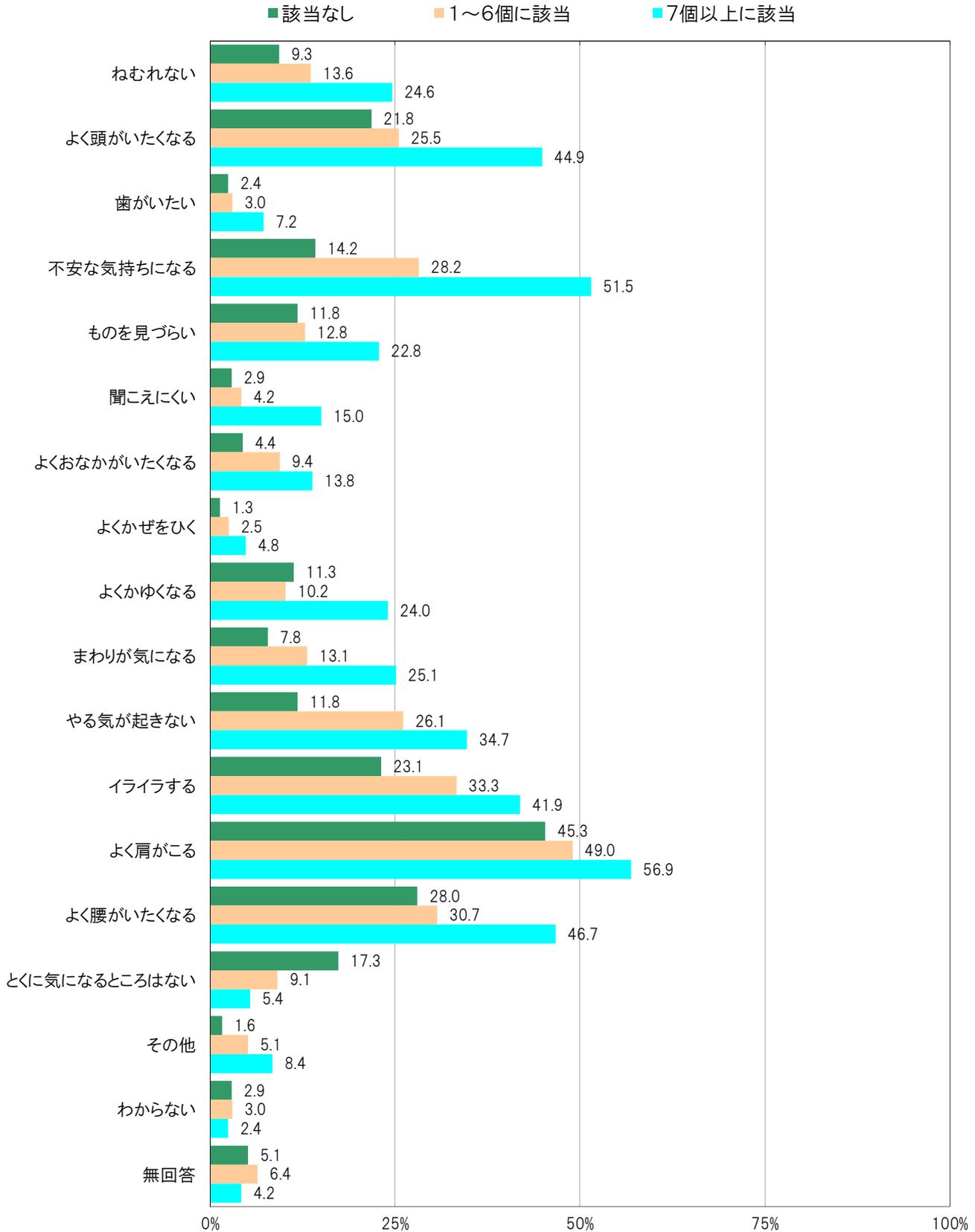


A-249.はく奪指標別にみた自分の体や気持ちについて気になること【保護者 問23】

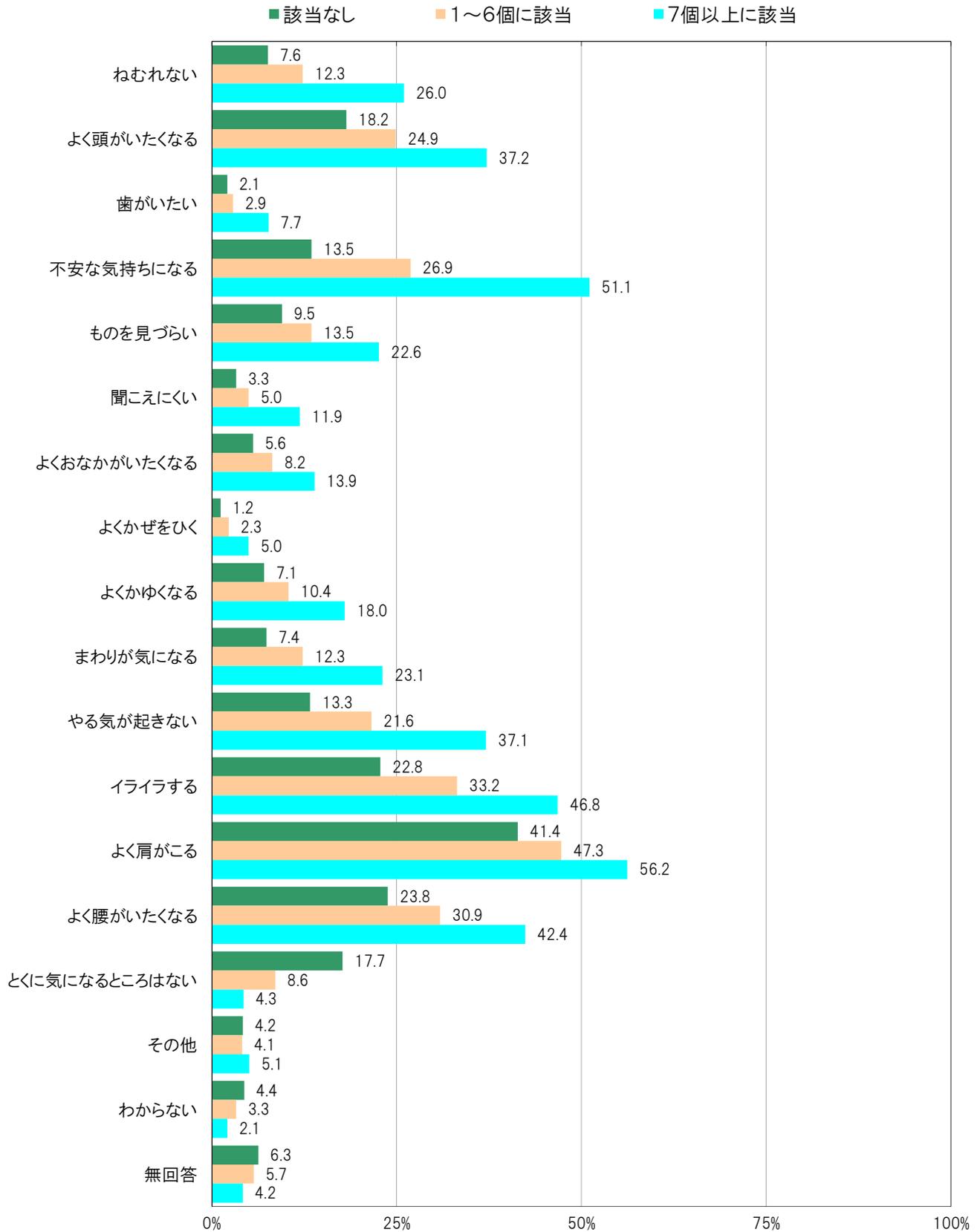
大阪市鶴見区のはく奪指標／1～6個に該当群においては、「よく肩がこる」49.0%、「イライラする」33.3%、「よく腰がいたくなる」30.7%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区のはく奪指標／該当なし群においては、「よく肩がこる」45.3%、「よく腰がいたくなる」28.0%、「イライラする」23.1%の順に高くなっている。

〔大阪市鶴見区／はく奪指標別〕



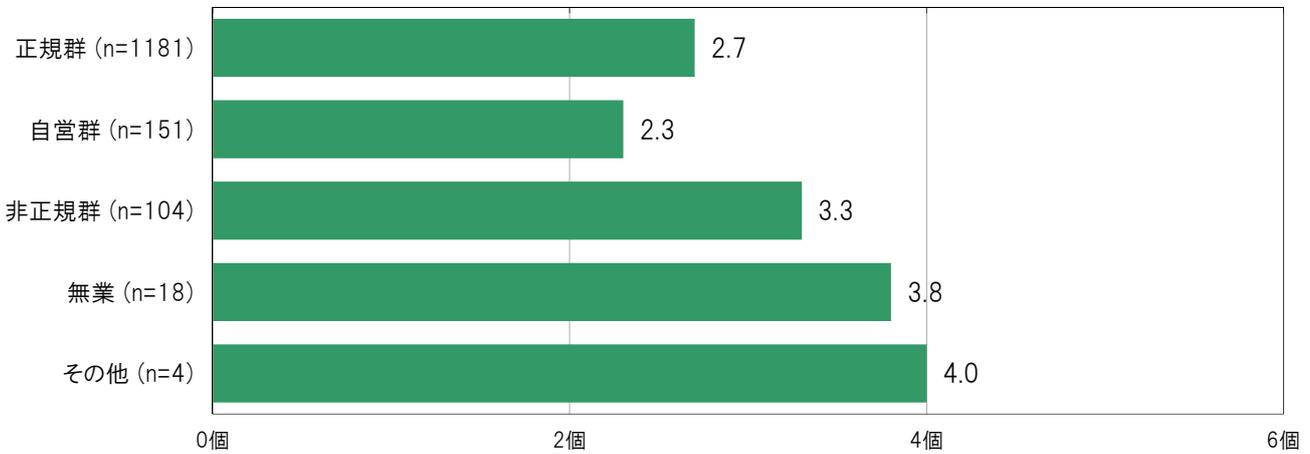
〔大阪市24区／はく奪指標別〕



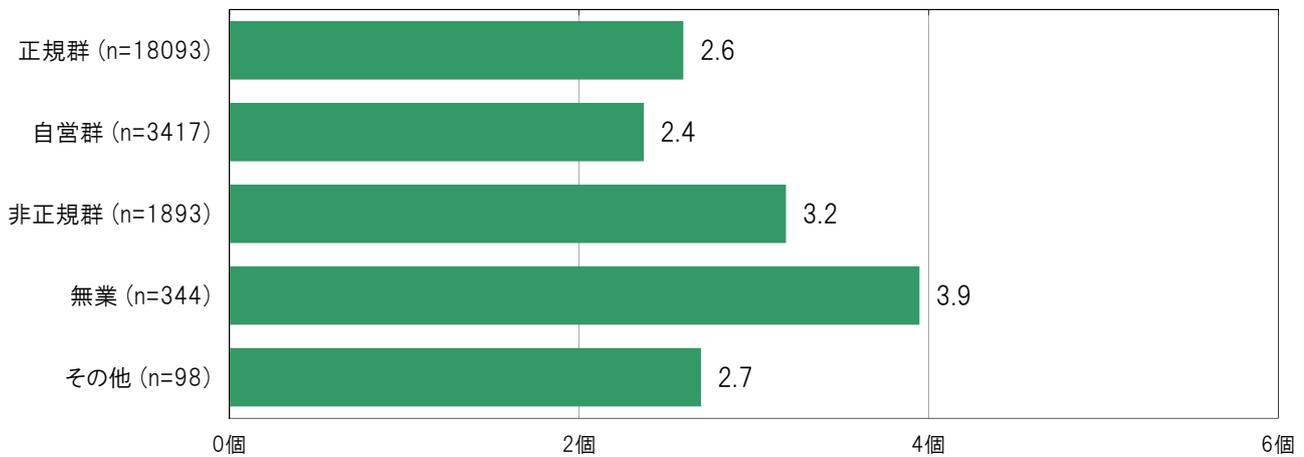
A-250.就労状況別にみた自分の体や気持ちについて気になること／該当数【保護者 問23】

大阪市鶴見区の就労状況別の該当数平均は、「正規群」2.7個、「自営群」2.3個、「非正規群」3.3個、「無業」3.8個、「その他」4.0個となっている。

〔大阪市鶴見区／就労状況別〕



〔大阪市24区／就労状況別〕

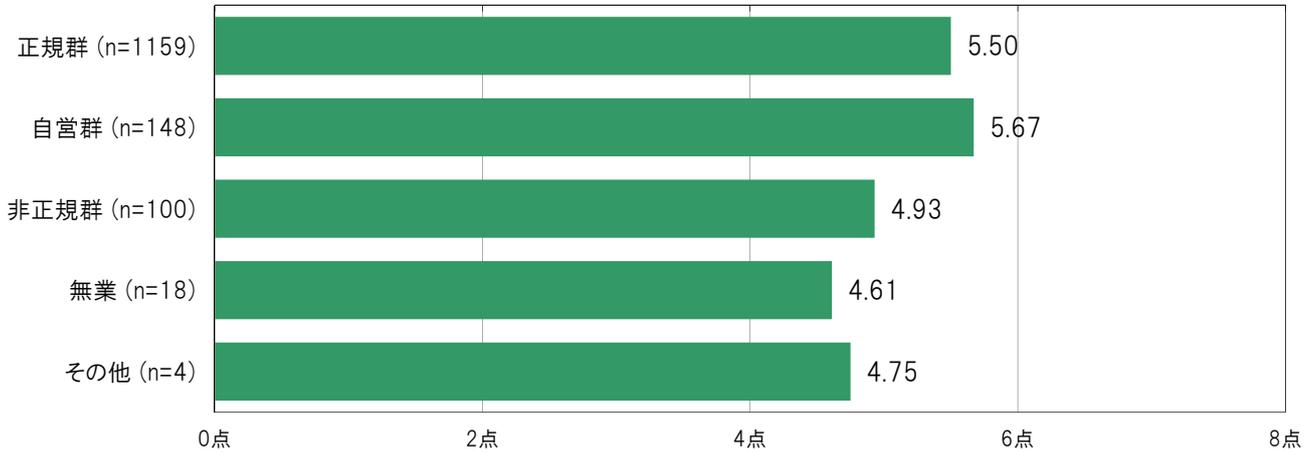


A-251.就労状況別 支えてくれる人／①～⑦の合計点【保護者 問19①～⑦】

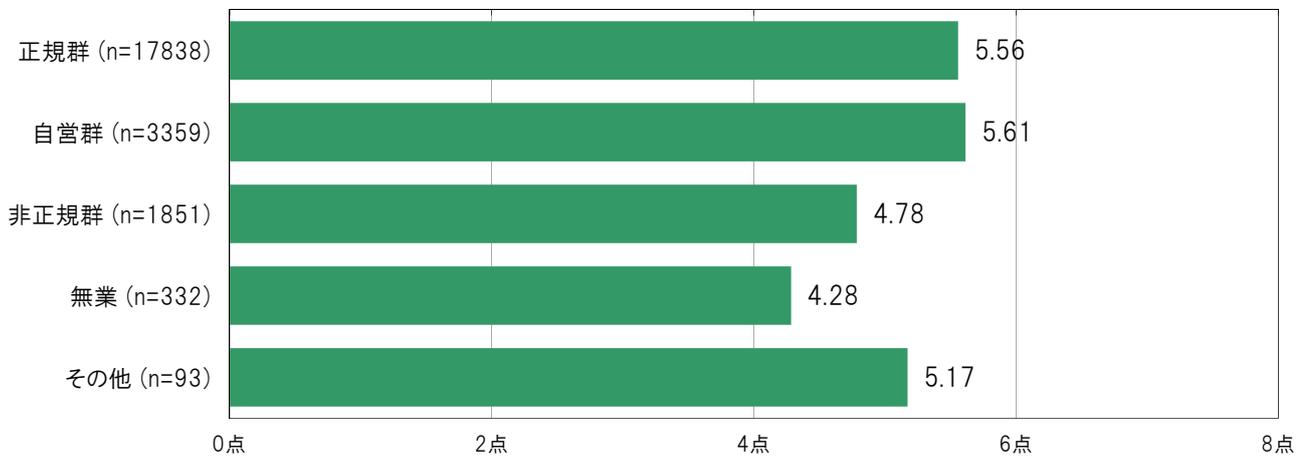
大阪市鶴見区の就労状況別の加重得点平均は、「正規群」5.50点、「自営群」5.67点、「非正規群」4.93点、「無業」4.61点、「その他」4.75点となっている。

※加重得点「いる」= 1点、「いない」= 0点

〔大阪市鶴見区／就労状況別〕



〔大阪市24区／就労状況別〕



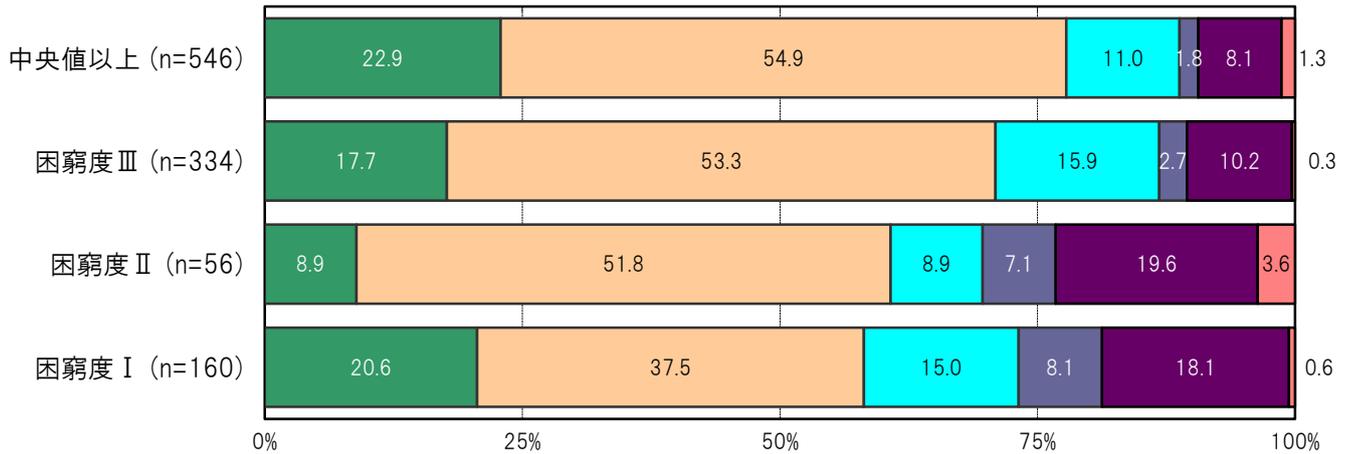
A-252.困窮度別 生活を楽しんでいるか【保護者 問22(1)】

大阪市鶴見区の困窮度Ⅰ群においては、「とても楽しんでいる」20.6%、「楽しんでいる」37.5%、「あまり楽しんでいない」15.0%、「楽しんでいない」8.1%、「わからない」18.1%となっている。

大阪市鶴見区の中央値以上群においては、「とても楽しんでいる」22.9%、「楽しんでいる」54.9%、「あまり楽しんでいない」11.0%、「楽しんでいない」1.8%、「わからない」8.1%となっている。

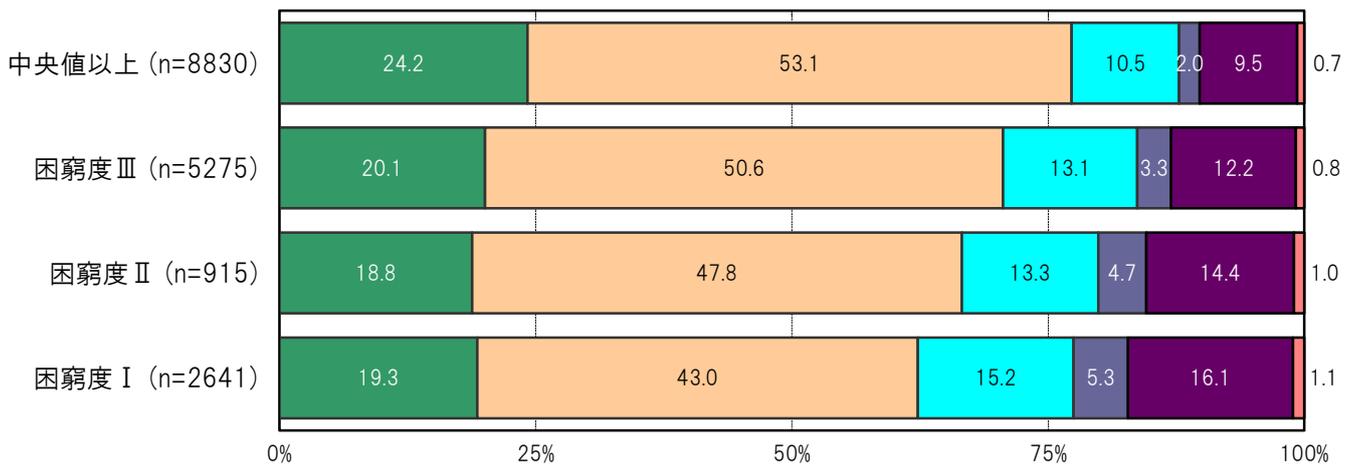
〔大阪市鶴見区／困窮度別〕

■とても楽しんでいる ■楽しんでいる ■あまり楽しんでいない ■楽しんでいない ■わからない ■無回答



〔大阪市24区／困窮度別〕

■とても楽しんでいる ■楽しんでいる ■あまり楽しんでいない ■楽しんでいない ■わからない ■無回答



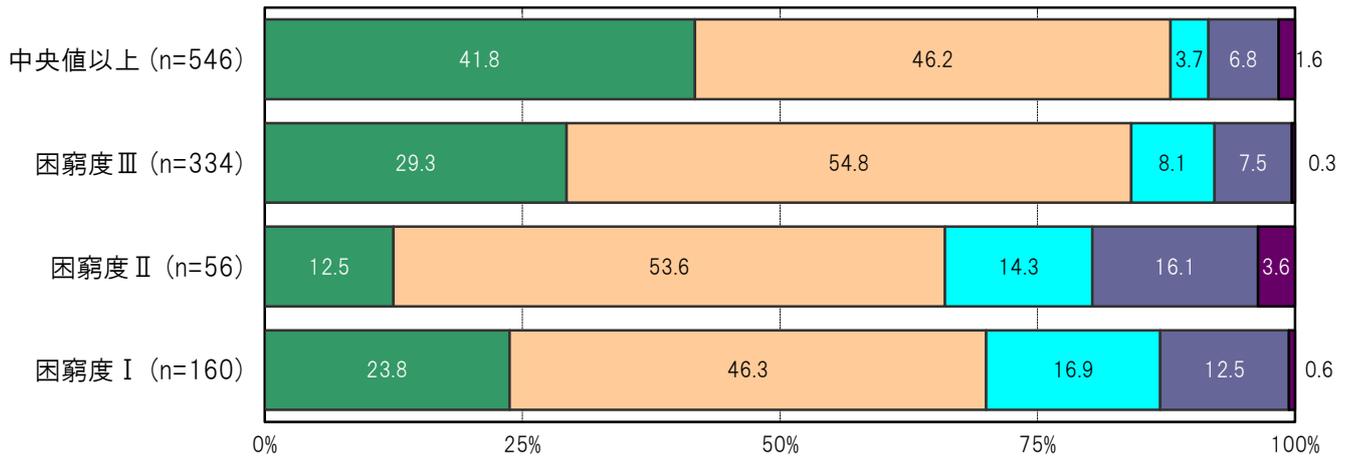
A-253. 困窮度別 将来に対する希望【保護者 問22(2)】

大阪市鶴見区の困窮度Ⅰ群においては、「希望が持てる」23.8%、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」46.3%、「希望が持てない」16.9%、「わからない」12.5%となっている。

大阪市鶴見区の中央値以上群においては、「希望が持てる」41.8%、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」46.2%、「希望が持てない」3.7%、「わからない」6.8%となっている。

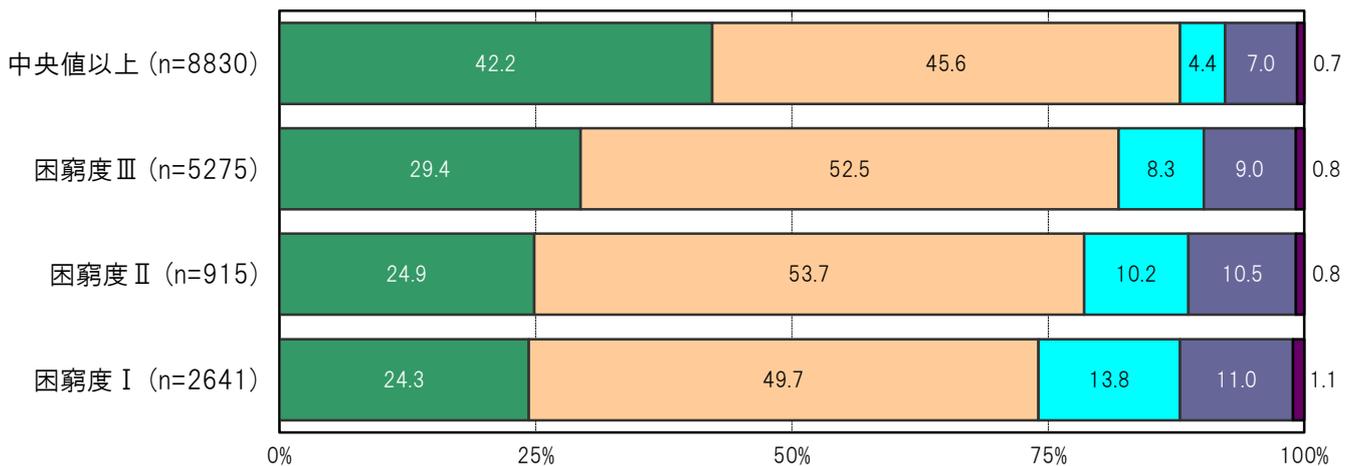
〔大阪市鶴見区／困窮度別〕

■希望が持てる ■希望が持てるときもあれば、持てないときもある ■希望が持てない ■わからない ■無回答



〔大阪市24区／困窮度別〕

■希望が持てる ■希望が持てるときもあれば、持てないときもある ■希望が持てない ■わからない ■無回答

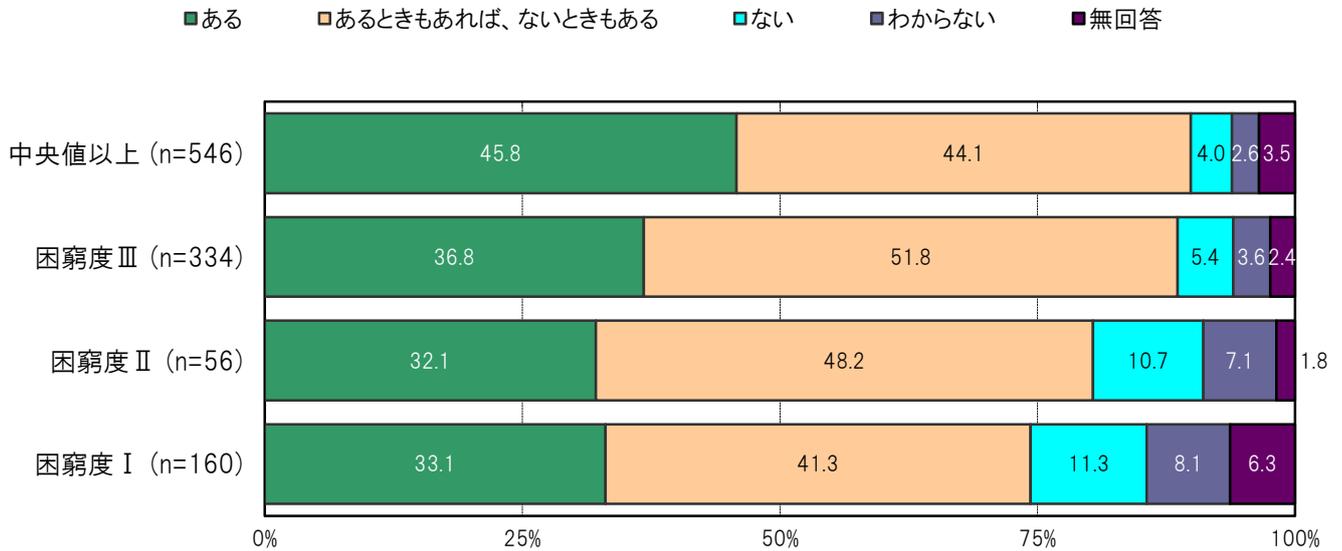


A-254.困窮度別 ストレスを発散できるもの【保護者 問22(3)】

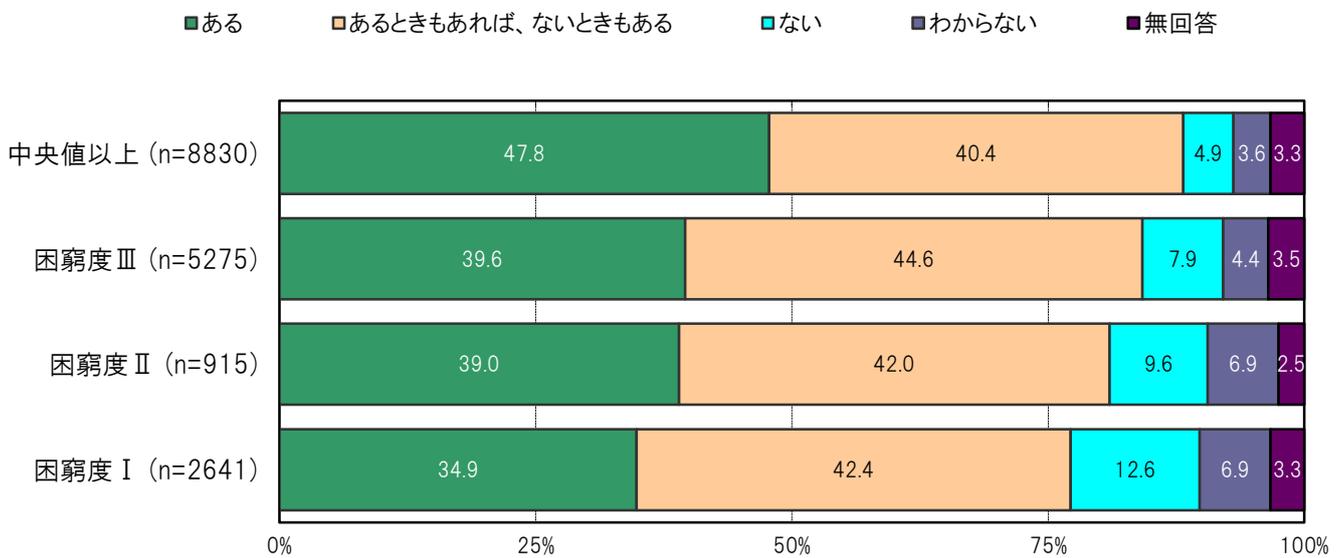
大阪市鶴見区の困窮度Ⅰ群においては、「ある」33.1%、「あるときもあれば、ないときもある」41.3%、「ない」11.3%、「わからない」8.1%、「わからない」8.1%となっている。

大阪市鶴見区の中央値以上群においては、「ある」45.8%、「あるときもあれば、ないときもある」44.1%、「ない」4.0%、「わからない」2.6%、「わからない」3.5%となっている。

〔大阪市鶴見区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕



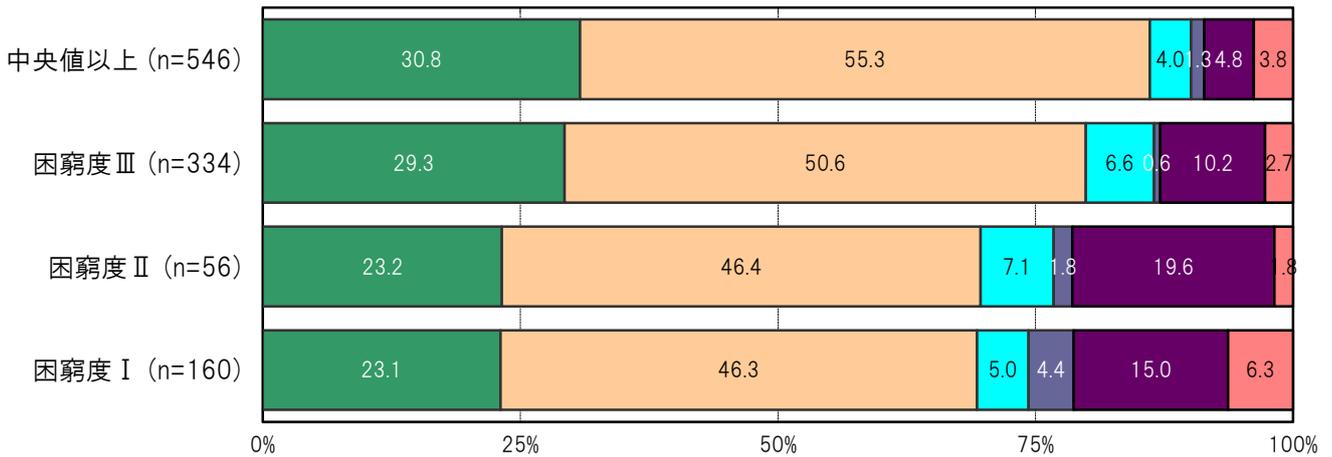
A-255.困窮度別 自分が幸せと思うか【保護者 問22(4)】

大阪市鶴見区の困窮度Ⅰ群においては、「とても幸せだと思う」23.1%、「幸せだと思う」46.3%、「あまり幸せだと思わない」5.0%、「幸せだと思わない」4.4%、「わからない」15.0%となっている。

大阪市鶴見区の中央値以上群においては、「とても幸せだと思う」30.8%、「幸せだと思う」55.3%、「あまり幸せだと思わない」4.0%、「幸せだと思わない」3.4%、「わからない」3.8%となっている。

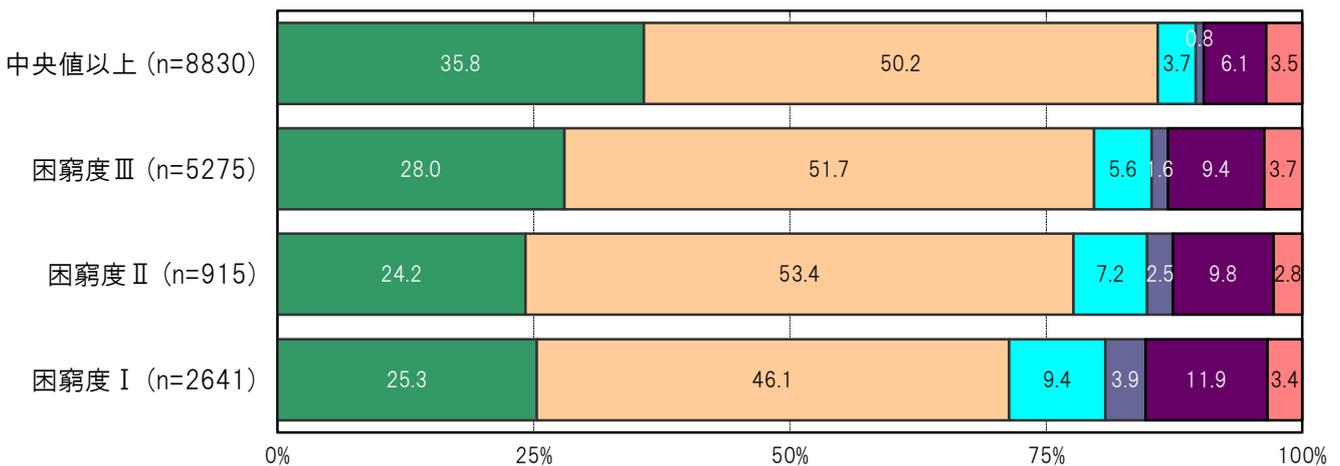
〔大阪市鶴見区／困窮度別〕

■とても幸せだと思う ■幸せだと思う ■あまり幸せだと思わない ■幸せだと思わない ■わからない ■無回答



〔大阪市24区／困窮度別〕

■とても幸せだと思う ■幸せだと思う ■あまり幸せだと思わない ■幸せだと思わない ■わからない ■無回答



【健康に関する考察】

まず、困窮度別に生活習慣と健康状態について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目して述べる。朝食の頻度では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「毎日またはほとんど毎日」（89.5%対79.9%）が9.6ポイント高くなっている。子どもの自覚症状では、困窮度による各症状の頻度に大きな差はないが、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「よくかぜをひく」（6.9%対4.1%）が高い傾向にある。また、困窮度Ⅱ群は他の群と比べ、「ねむれない」（17.9%）が高い。保護者の自覚症状では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「聞こえにくい」（8.1%対2.7%）、「よくおなかがいたくなる」（12.5%対5.9%）、「よく肩がこる」（55.0%対47.3%）、「よく腰がいたくなる」（34.4%対29.3%）が5ポイント以上、「ねむれない」（22.5%対11.0%）、「不安な気持ちになる」（36.3%対20.1%）が11.5ポイント高くなっている。さらに、一部の症状では困窮度Ⅱ群が最も高くなるものが認められる。例えば、困窮度Ⅱ群は他の群と比較して「やる気が起きない」（32.1%）が高くなっている。また、保護者の心の状態を見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、生活を「あまり楽しんでいない」および「楽しんでいない」（23.1%対12.8%）が10.3ポイント、将来に対して「希望が持てない」（16.9%対3.7%）が13.2ポイント、ストレスを発散できるものが「ない」（11.3%対4.0%）が7.3ポイント高くなっている。その一方で、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、将来に対して「希望が持てる」（41.8%対23.8%）が18.0ポイント、ストレスを発散できるものが「ある」（45.8%対33.1%）が12.7ポイント、自分が「とても幸せだと思う」（30.8%対23.1%）が7.7ポイント高くなっている。

次に、経済的な理由による経験の該当数を見ると、個数が増えるにしたがって、「やろうと思ったことがうまくできる」で「いつもそうだ」の割合が低くなる傾向があり、「いらいらする」で「いつもそうだ」の割合が高くなる傾向にある。自覚症状では、該当数による各症状の頻度に大きな差はないが、個数が増えるにしたがって子どもは「よくかゆくなる」の割合が高くなる傾向にある。また、保護者では、該当数が多いほど各症状の頻度が高くなる傾向にあり、「歯がいたい」「不安な気持ちになる」「聞こえにくい」「よくおなかがいたくなる」「よくかぜをひく」「まわりが気になる」において顕著である。これらの結果から、経済的に困難な世帯では、保護者では不安などのメンタルヘルスに影響が出ている可能性があり、心身の休養が不十分である可能性がうかがえる。また、経済的に困難な世帯では、親子ともに心身の休養が不十分であることが懸念される。一方で経済的に困難のない世帯の保護者は、ストレス発散ができていたり、幸福感を感じていたりするなど、望ましい状態で過ごすことができている。

続いて、保護者の就業状況別の生活習慣や健康状態を見てみる。親の就業状況別の朝食の頻度では、「正規群」および「自営群」において、「毎日またはほとんど毎日」朝食を摂っている割合が85%を超えており（88.0%、88.6%）、一方で「非正規群」では74.5%、「無業」では44.4%にとどまっている。また、保護者の就業状況別の支えてくれる人では、「正規群」「自営群」「非正規群」「無業」のいずれにおいても「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「気持ちを察して思いやってくれる人」「おこさんとの関わりについて適切な助言をくれる人」と回答した割合が85%を超えている。また、「おこさんの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」において、「正規群」「自営群」と「非正規群」「無業」との差が大きい。この結果から、就業状況が安定している世帯では、朝の時間に余裕があることがうかがえる一方、就業状況が安定していない世帯では親の多忙時に支えてくれる人が不足していることが示唆される。

また、食事習慣別の親子関係や健康状態に着目する。朝食の頻度別に見ると、朝食を「食べない」群は「毎日またはほとんど毎日」食べている群に比べ、子どもを「あまり信頼していない」（11.6%対3.7%）が7.9ポイント、子どもの将来を「あまり期待していない」および「期待していない」（32.6%対14.5%）が18.1ポイント高い。子供の自己効力感では、朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べている群では「食べない」群と比べて「自分に自信がある」が高い傾向にあり、学校が休みの日の昼食を「必ず食べる」群では「食べていない」に比べて「自分に自信がある」が高い傾向がある。これらの結果から、ほぼ毎日規則正しく朝食・昼食を摂ることは、保護者と子どもの関係をよりよくするとともに、子どもの自信を高める可能性が示唆された。